滿洲日報
十一月十九日發行
滿洲日報社

聯盟戰の我陣容整ふ

松岡代表晴の壽府入
我代表部の盛んな出迎

【ジユネーヴ十八日發】聯盟理事會並に臨時聯盟總會に出席、滿洲問題に關し帝國政府の公明正大なる主張を世界列國注視の裡に披瀝すべき重大使命を帶べる我松岡代表一行は十七日午後九時五十分パリ發十八日午前八時五十五分無事ジユネーヴに到着した、驛頭には杉村聯盟事務次長、佐藤大使等四十餘名の盛な出迎へあり、晴れの壽府入りを爲し、直に自動車を連ねてホテル、メトロポールに入つた、ホテルでは第六三、四兩室を松岡代表に第六五、六兩室を長岡大使に充てられ、これで一、二、三階の殆ど全部が我代表部の連中に占領されこゝに聯盟戰に對する我陣容は全く整備し終つた感がある

松岡代表聲明書發表
記者團との初會見に於て

【ジユネーヴ十八日發】松岡全權は午後五時よりメトロポール、ホテルに國際記者團を招き左の聲明書を發表したが、このジユネーヴ記者團との初會見は二時間餘に亘り新聞外交に非常な成功を收めた、松岡全權は聲明書配布後、自ら記者團の間に遊弋して率直且つ快刀亂麻を斷つ如き答辯を以て日本の立場を聲明した、此日ジユネーヴにある主要新聞通信記者は殆ど全部集りその數百數十名、支那記者も六名來て松岡全權の説明に耳を傾けた、上海事件當時此處で日本代表部と記者團との會見が行はれた際は僅三十名足らず會見時間も十分そこ〳〵であつたのに比し、今日は非常な盛況で、それはジユネーヴの空氣の好轉と松岡全權に對する異常の興味を物語るものである、聲明書内容左の如し

聲明書の要旨

世界の輿論はアジア問題に向けられて居り、從來不分明であつた點も、ある點は既に明かにされた、リツトン報告書は支那の事情を從來より良く一般的に諒解させることに貢獻した、しかしその中には**不適當に述べられた點あり之が誤解を生ぜしめてゐる**、日本は條約による國際的秩序及び滿洲の國内秩序の保護者であつた、或方面では我等は侵略者と目されてゐるが、事實は之と反對に我等は多年いろ〳〵の侵略に苦しまされて來た、**我等は侵略者として滿洲に行つたものではない**、我等の兵力は議論の餘地なき我等の權利を保護するため既に滿洲に在つたのである、此等の事實は報告書中にも否定されてゐないところで、總ての人に受入れられることを衷心より希望する、**我等の望むところは只經濟的繁榮及び平和の再建設のみで**、歐洲諸國は滿洲の混沌たる狀態が世界平和を脅かすものなることを諒解することが出來なかつた、我等は秩序ある支那が急速且つ鞏固に組織されることを希望するが、しかし我等の死活的權益については妥協せぬことに決定してゐる、我等は他の權利を尊重すると同時に我等の權利も亦尊重さるべきことを主張する、**滿洲の自治はその住民の福祉並に外國の權利保護に最善の保障を與へるものなるが故に、我等は滿洲の獨立を繼續せしめんとするもので**之は合理且つ自然であり、余は聯盟がこの外に策なきを諒解せんことを希望するものである

松岡代表ド總長會見

【ジユネーヴ十八日發】今朝到着した松岡代表は長岡大使と共に午前十一時半聯盟事務總長ドラモンド氏を訪問三十分餘に亘り挨拶懇談を交へた、會見後松岡代表は記者に對し語る

ド氏とは初會見であつたので長岡大使が余を紹介し「今回の理事會には松岡代表が主として關興する」旨を告げ、次いで主として手續きの問題、即ち「誰が先きに發言するか」「**報告書を如何に處理するか**」等につき意見を打合せた、この内容はいへぬが**二十一日には余が演説する**豫定である（寫眞、上松岡氏、下ドラモンド氏）

【ジユネーヴ十八日發】松岡全權は午前十一時四十分長岡全權を伴ひ聯盟事務局に赴き事務局全部に着任の挨拶を爲し、ドラモンド總長に今回の理事會では松岡全權が主として關興する旨告げ、松岡全權は初對面の挨拶後、意見書の取扱ひにつき聯盟理事會劈頭においてわが所信を強調する爲め三十分程演説したき旨を述べ、我國民の滿洲問題に關する異常な緊張にも言及し、聯盟と日本の間に不幸な事態を醸さぬため努力ありたき旨希望を述べ午後一時十分辭去した

わが和戰兩樣の態度
既定方針に毫も變化無し

【東京十九日發】目睫に迫つた聯盟理事會に對する我外務當局の對策は既に慎重な態度を以て萬善を期して樹てられた、愈々開幕となれば東京及びジユネーヴの間に緊密なる連絡を保ち全面的活動を展開するの準備完了し、霞ヶ關の外務省は戰前の靜けさを保つてゐる、而して今回の聯盟會議はリツトン報告書の滿洲國回顧に對する解決案と、我政府の正式承認とが全く相容れられざる關係にあるため、我國如何によつては我國と聯盟との正面衝突を激起し、惹いては我國の聯盟脱退といふ如き重大な事態に陷る危險絶無でないが、リツトン報告書發表以來列國殊に大國側の輿論は漸次事態を正解し來り、我國に有利に轉向しつゝあり、この情勢を以てすれば今回の聯盟會議も我國の要望する如き方向に導くこと必ずしも不可能にあらずとの觀察が成り立つので、外務當局も我聯盟對策としては

一、滿洲國問題については能ふ限り具體的事實に立脚して我主張を進め、抽象的論議を避けて聯盟會議の徒らな紛糾を避けること

一、小國側の主張にも能ふ限り敬意を拂ひ滿洲國の特殊性を説明して諒解に努むること

等の方針を以て進み、所謂和戰兩樣の態度を執る方針であるが、斯くして誠意を披瀝してもなほ聯盟にして日本に重壓を加へんとする時は斷乎として最後の決意を爲す一てゐる既定方針には寸毫も變化なしとしてゐる

日支論爭の重點
紛爭處理の手續問題

【ジユネーヴ十八日發】二十一日から世界の視聽を集めてリツトン報告書審議のための第六十七回聯盟理事會が開催されるが、この會議で最も活潑なる日支論爭の重點は紛爭處理の手續上の問題であると見られてゐる、即ち日本代表部は理事會乃至總會には小國側が聯盟規約を振り翳し紛爭處理すべき事を主張し、出來る限り理事會の範圍内に喰ひ止めんと努力するに對し、支那側は飽迄リツトン報告を盾に繼續委員會乃至特別聯盟總會召集を極力要求するものと見られる、これは十九ケ國委員會乃至總會には小國側が聯盟規約を振り翳し、理論的で空漠たる聯盟擁護論を振り翳し而も實際的に利と責任の無い此等小國代表は必然的に支那の主張を支持し、國際調査委員會を認めずとの立場を持し、日支問題は飽迄理事會で

AK壽府からの放送を必死でテスト

二十一日より壽府において聯盟理事會が開かれる、その模樣を中繼放送するためJOAKでは過般來より岩槻無電局と連絡をとり必死のテストを行つてゐるが、十六日朝も六時半から七時半までテストの結果、松内アナ君の日本語が手にとるやうにスピーカーから迸り出でこれなら安心と、AK技術部を喜ばした、寫眞は壽府からの日本語を聞くAK技術部員　雨になるか風になるかいよ〳〵來る

わが代表部早くも私的折衝開始
各國代表を訪問して

【ジユネーヴ十八日發】今朝壽府に到着した松岡代表は午後三時過ぎ長岡大使と共に英のサイモン外相を訪ひ一時間餘に亘り懇談を交へた、會談内容は秘せられてゐるが、松岡代表が到着早々早くも日支問題を中心とし各國代表との間に私的折衝が開始された事明かで、松岡代表はじめ長岡、松平、佐藤各代表は直に大車輪であらゆる機會を捉へ、列國代表と充分の接觸を行ふ豫定で、松平大使も十九日には當地着の筈で、氏は特にサイモン外相と出來る限り屢々會見を

ド總長に意見書手交

【ジユネーヴ十八日發】松岡、長岡、佐藤の三全權は午前九時半より約二時間に亘り帝國政府の意見書につき最後的審議をなしたる後澤田帝國事務局長を聯盟事務局に派しドラモンド總長に午後零時半手交せしめた

報告書審議開始期

【ジユネーヴ十八日發】聯盟筋の觀測によれば理事會のリツトン報告書審議開始は廿一日午後か廿二日午前となる模樣である

我意見書明夜發表

【ジユネーヴ十八日發】リツトン報告書に對するわが意見書は代表部と聯盟事務局と打合せの結果、政府では二十日午後四時日本では二十一日午前零時（滿洲時間廿日午後十一時）に發表する事となり、

餘り性急過ぎる

丸山、鈴木兩氏中心の「時局座談會」(8)

▲我社主催、十一日午後三時より、大連ヤマトホテルにて▲出席者、貴族院議員丸山鶴吉氏▲元代議士鈴木梅四郎氏▲高田友吉氏、上島慶篤氏、千葉豐治氏▲入江正太郎氏▲實性大連新聞社長、西片滿洲報社長、伊藤滿鮮社長、高橋滿蒙評論社長、石谷滿洲公論主幹、篠崎奉天新聞支局長、由井ヶ濱滿洲タイムス社長、杉山奉毎副社長、名村大毎支局長▲石村ジヤパンタイムス支局長▲高見成氏▲松山本社長、細野編輯局長その他本社員（順序不同）

丸山氏　大禁鈴木さんのお答への通りで何もありませぬが、今實性さんのお話はよく滿洲を歩いてゐる時に聽くのですが、これもせつかち過ぎるのぢやないかと思ふ、統制經濟などゝいふことは言ふは容易だが實行は却々むつかしい。一國内で行ふ統制經濟なんぞでも非常にこれはむつかしいことである、況んや滿洲は共存共榮で立つて行かうといふのだから兩者の統制經濟といふことは一層難しい、滿洲炭が安く出る、この安いやつたドン〳〵送つてやれば日本の産業は發達する、これは理論としてはその通りだが、事實は却々困難が伴ふ、故に餘りにせつかちではいけない、根本方針さへ決つてゐればジワリ〳〵解決して行くことが出來る、斯くて一年なり二年なりの中には石炭は滿洲の石炭を使ふんだ、かう言つた工合の空氣さへ作れば總て統制經濟の形は自然出來て來やう、といつて問題の解決がさう三年や五年でわけなく出來やう筈がない、だから目標はそこに決めて、順次研究し日滿兩國の共存共榮策を定め眞に國家の基礎といふものが成立つ根本の肚を決めて置かなければならぬ、繰り返していふがそれが直ぐ理論の通り實現するものだと期待されるのは餘りせつかちな考へである

西片氏　私が伺つて見たいのは、實業に不案內で考へてゐることで、內地の有力なるお方の考へとどう違ふものであらうか、さういふことを伺つて見たい、その前に鈴木さんからお話の日本內地の實業家も滿洲國に對する熱誠なる考へを有つて居らるゝといふことは私は必ずさうであらうと斯樣に考へてゐるが、又丸山さんのお話のやうに餘りせつかちにしないで、まあ〳〵順序を踏んで行つたらよからうといふお話も私は全然同感であります

◇

ついでに此處で私が常に考へますのは日本の滿洲國に對して進むべき道が本筋に今入つてゐるかどうか、願はくば本筋に入つてゐて貰ひたい、或は今日どういふことを日本が爲すべき時代であるか、先程丸山さんのお話の中に治安維持といふことがある、お言葉尻を捉へる譯ぢやありませんが、これは內地にお歸りになつてお話になると日本は申上げるまでもなく六七十年の間平穩に馴れた國民でありますから、治安維持といふ言辭をお使ひ下さるといふと直に日本內地におけるやうなものとの誤解が國民に起きはしないか

◇

私は考へまするのに、滿洲は昨年九月十八日から治安が全然無かつた、維持も何もあるものぢやない、寧ろこれは滿洲は平定すべき時代だと斯樣に考へてをる、この一日平定して而して後に初めて治安維持或は文化施設を行ふべきだと思ふ、未だ十分平定しないで治安維持の方法又は文化施設の方法と直ぐいふのは早い、これも平定に要するその程度ならばこれは宜しい、これがその兩立して同じ程度で進んで行くといふやうなことであると、これは時代を錯誤してをる、平定時の治安維持の時代を錯誤して了ふ、そのためにいろ〳〵な故障が起きて來る

◇

故に私が考へますには先づ何を措いても平定してしまひたい、その意味において日本の豫算なども矢張軍事費などは陸軍が要求する以上に出して貰ふやうにして早くこの滿洲を平定する、そしてその後に武裝移民もやらう又半官半民の仕事もやるがよい、而も武裝移民とか或はその外の文化的の施設といふやうなもので現在平定といふことに關係のあるものが澤山ある、まあ私の考へでは今日はどうしても平定時代、古の亂國の時代、大政治家なり大武力家なりが出て一つ平定して了ふ、その後でだん〳〵必要なことをやるんだ……だから今日の文化施設などは只平定するに必要なものだけならばやつても宜しい、といふ程度位にして貰つたらどうかといふものだらうか、かういつも考へて居りますが、しかしこれは滿洲の片隅なる私の意見に過ぎませんから、又之にいろ〳〵な間違ひあるものと思ひます、如何なものでせうか

大連奉天で中繼放送
我代表の演説を

【關東軍司令部發表】ジユネーヴより松岡代表以下の放送を二十一日より數日間毎日滿洲時間午前五時三十分より同六時に亘り奉天及び大連にて中繼することゝなつた試驗の結果甚だ良好である【新京電話】

事務局では直に意見書のフランス語への翻譯に着手した

リ卿明朝放送

【ジユネーヴ十八日發】リツトン卿は十九日午後十一時（滿洲時間廿日午前六時）聯盟放送局から全世界に放送する又午後十一時四十五分から支那代表が放送する

國民黨と學良を問責
國家主義青年黨

【大連特電十九日發】滿洲、上海兩事件後、俄に勢力を擡頭せる國家主義青年黨は最近次の如き通電を發し國民黨と學良を徹底的にこき卸してゐる

中國の現狀を見るに民衆は着るに衣なく喰ふに食なしこれ全く國民黨の罪にして東北の失地後一年餘にして未だ回復ならざるは、これ學良の無爲無能の致すところなり、國民黨の外交方針は徒らに聯盟乃至アメリカに賴つてゐるが、斯くの如きは現在の中國の取るべき策にあらず、先づ國內の統一を爲し自力を以つて失地を回復せざるべからず故に吾々同志は起つて國民黨を打破し軍閥を打倒して中國建設に邁進せざるべからず

不可侵條約締結要望
勞農機關紙論評

【モスクワ十八日發】蘇聯邦中央委員會機關紙イズヴエスチヤは本日の社説において日滿兩國との不侵條約に關しソウエートは滿洲國との不侵略條約締結には反對でない、しかし同時に日本とも同樣締結されなければ無益なりと論じてゐる

滿洲人の決意を國際聯盟に打電
滿洲國生計會から

滿洲國民衆生計會はジユネーヴの國際聯盟理事會長、同國際聯盟事務總長、同國際聯盟リツトン委員會、同國際聯盟總會議長宛に十一月十八日の午後左の聲明書を發電した

我等滿洲人民は多年軍閥の壓迫によつて自由を奪はれ、奴隸に等しき束縛をうけ、人類としての幸福を惠まれず、前途暗黑常に恐怖と不安に襲はれつゝありしも、昨年九月十八日事變を轉機に全國民衆の希望に基き滿洲獨立國を作れり、立國日尙淺く舊軍閥の殘黨各地に蟠居し治安未だ充分に回復するに至らざるも、それは大改革の餘波にして一時的現象に過ぎず、立國既に八ケ月を經て國家の基礎漸く鞏固を加へ來り全土樂土を建設し得べき多大の光明を認むるに至れり、我等民衆は自己の產したる國家の成育に甚大の希望を有しその發達に努力を致しつゝあり、如何なることあるも再び舊軍閥落流の支配下に服せんとする如き非を絕對に有せざることを世界に聲明す【新京電話】

練習艦隊が旅大兩港に廻航
來月十日に仁川から

練習艦隊旗艦八雲は磐手と共に八日仁川發、十日午前八時大連に入港十四日午前五時大連拔錨、旅順に向ひ同日午前八時三十分旅順發青島に向け廻航するがその間乘組員は旅大を見學し、また艦內の拜觀を許可する

なほ幹部は司令官百武源吾中將、艦長永野國大佐、森主計大佐、高城軍醫中佐、龍崎參謀中佐、八雲艦長新見大佐、磐手艦長鈴木大佐等である

社會主事會議

滿鐵地方部では十九日午前十時から社員俱樂部で社會主事會議を開いたが要塞地方課長以下沿線各社會主事出席した

八田副總裁等動靜

新京に赴いてゐた八田副總裁は二十日午前八時着列車にて山崎理事

首相園公訪問

【東京十九日發】齋藤首相は十九日午前九時東京驛發燕號で出發同十一時五十五分靜岡驛着、驛から自動車で興津坐漁莊に西園寺公を訪問、明年度豫算案、滿洲問題に關する聯盟諸會合對策、對議會策その他時局問題を報告し、公の意見を徵したが、午後四時五十分東京驛着歸京の豫定である

市川經理部次長帶同赴任の筈、又村上滿鐵理事は十八日夜七時五十分着列車で新京より歸連の筈

今井田總監上京

【京城特電十八日發】農林省において來る廿六日頃開催の米穀統制調查會は朝鮮米問題として死活を決する重大問題なる爲め朝鮮側委員たる今井田政務總監は宇垣總督の歸鮮を待たず廿二日急遽東上す

はるびん丸

二十日午前八時三十分大連港外着豫定

人事

▲前田豐氏（新京線區司令部附步兵少佐）十九日午前八時着列車にて新京より來連
▲工藤忠氏（執政府侍從武官陸軍中將）十九日午前八時大連驛着來連ヤマトホテル投宿
▲滿洲國日本留學生一行　同上
▲門野重九郞氏（大倉組重役）同日午前九時大連驛發北行

蛇角

◇人を恐れず天を恐ろ、と在ジユネーヴの松岡代表、その氣槪まさに聯盟を呑む、賴母し。

◇しかも、小國側の無責任な街談、いよ〳〵露骨、緣なき衆生は度し難し、か。

◇九億の赤字債、百億の公債額。敢て悲觀するには當らず、と高橋藏相。相變らず大きい。

◇その度胸は買ふべし、放漫は買ふべからず。

◇滿鐵高昇給何處へ、出來したり滿洲國邦人官吏。

◇「女を見ずに女を買へ」といふか」と永井新民政署長（大連紙）。

◇比喩當を得ないがこの人率直な人らしい、永い目で見ること。

「滿蒙の戰慄」休載

山崎領事の手記來る

銃を突きつけて殺氣立つ會見

警察隊武裝解除まで

滿洲里事件經過日誌

マツエフスカヤ大谷副領事より全權府に達した山崎領事手記の滿洲里事件の經過日誌左の如し

十月廿七日 午前十時ごろ當地護路軍副司令吳德林より本官（山崎領事）小原大尉等に對し要談のため司令部へ參集ありたしと電話ありたるを以つて本官は福間書記生を帶同し同二十分小原大尉を訪ひこれと馬車に同乘福間書記生は宇野隊長の馬車に同乘約十分遲れて司令部に到着本官、小原大尉は司令部の門內より二階の應接室に進まんとするや **六名が拔き身の拳銃を携へ その他完全に武裝せる將卒は小銃を差しつけるもの約十四名にて矢庭に本官及び小原大尉二人の兩手を摑み嚴重身體檢査を行ひ拳銃を携帶せざることを確むるや直ちに細繩をもつて本官の兩足を縛りこれを詰問するや本官の左の頰を毆打す依つて吳副司令に面會を要求し漸くにして縛を解き應接室に入る、**小原大尉は室の入口にて數名より背後手をとられたるによりこれを離さしめ兩名椅子につく間もなく**福間書記生、宇野隊長の兩名も數名**の從卒より後手に掴され本官と同樣廊下にて武器携帶の强行檢査を受け**福間を詰問の際顏面を平手にて毆りたる趣きなり** 他方本官等も廊下にて武器檢査を受くる際**營內及び市內にて同時に銃聲聞こえ一時は凄愴の殺氣みなぎる**中に獰猛なる士卒のため弄ぜられたが程經て吳副司令の應接室に來り漸く談判に入**るやその際本官は拔き身の拳銃、騎銃をもつて二重三重に取り圍まれ外部には引き續き銃聲轟き殺氣立ち恰かも戰場の光景なり** その時十一時半ごろプロペラの音勇ましく**チチハル滿洲里の定期飛行機一臺飛來、殺氣立ちたる支那兵はさかんにこれに猛射を加へたるが** 同飛行機は形勢の惡化を察知し五分間許り着陸同飛行場に出迎たる飛行會社佐山滿洲里駐在員を同乘せしめ直に離陸チチハルに引返したり當初吳副司令は護路兵士の警察に對する反感より兵戰を起さんとし最早や抑壓の方法なし、これの解決手段としては至急警察隊の武裝解除を行ひ鎭撫する外なしと申出でたるをもつて本官等は沈思默考應ぜざれば居留民の安全が到底期すべからず且つ既に充分準備を整へたる千四五百名の護路軍に對する少數警察隊の反抗は結局効を收むることを得ざる實情に鑑み善後處置に出づべく宇野隊長の決意を促したるところ**宇野隊長も在留民一般の安全を考慮し潔く武裝解除に應ずる**ことを約せらるゝと共に**交換條件として爾後の隊員及び居留民の生命財產の完全なる保護につき吳副司令の約束を要求したり、**依つて本官は宇野隊長の命令を隊員に對する武裝解除の命令を福間書記生に携行せしめ第一回の使者となしたるが同書記生は數人の兵士よりなる拳銃隊に守られ司令部を出でたり（つゞく）【新京電話】

渡日の途來連した滿洲國最初の日本留學生

我等が正義を世界に呼びかける

明日協和會館で開く 全滿日本人時局大會

世界の平和と人類幸福のため東亞時局に對し正義に基く在滿邦人の確乎不拔な所信と態度とを國際聯盟に示すべき全滿日本人時局大會は二十日午後一時より市民熱狂裡に大連滿鐵協和會館で開催されることとなつたが、大會の順序は十九日左の通り決定した

一、開會の辭
二、座長推薦
三、本會開催の趣旨
四、宣言及び決議（發送先、政府要路、關東軍司令官、ジュネーヴ國際聯盟理事會事務局、在ジュネーヴ松岡全權）
五、演說會
六、閉會の辭

なほ團體運動としてその後の參加團體は左の通りである

▲各中等學校 二十一日校長より時局に關する講演の催しあり、且つ各校長連名で在ジュネーヴ松岡代表宛激勵電を發する事
▲關東婦人會 佛教青年會、佛教女子青年會と合同で二十日、二十一日兩日午後二時より本願寺に於て時局講演
▲聖德區 に於ては區主催で聖德殿に於て軍警追悼會を催す
▲基督教團體 は合同にて二十一日午後七時より青年會館で祈願祭を執行
▲霞小學校 二十日講演および沙河口神社で祈願祭
▲大連聖愛醫院 二十一日午前八時半より從業員一同講堂に參集大會に對する祈願を爲し後土井院長事務取扱の講演がある筈
▲明照寺 二十一日祈願祭執行

下九臺の被害

匪賊に襲撃された吉長線下九臺の判明した被害は賊のため全燒された家屋特產商二戶（何れも滿洲國人）日本人家屋で破壞されたもの四戶、公安第十一分局は步兵銃十五挺、縣公安局は步兵銃十五挺馬二十頭を掠奪され公安隊、騎馬隊一名戰死、賊は死體二十四を遺棄し捕虜三名で日本人の死傷なしその他の損害は引續き調査中【新京電話】

日本留學の滿洲國學生來る

廿日うらる丸で出發

滿洲國最初の日本留學生として日本陸軍士官學校に入學する滿洲國執政府近侍の隨衞武官、金智元、鄒繼忠、張廷、趙國圻、馬驥良、陳崚、裕坤日の七名は見送りの家族その他と共に執政府侍從武官陸軍中將工藤忠氏に引率されて十九日午前八時大連着列車で來連、ヤマトホテルに入つた一行は十九日午後旅順を見學し二十日午前十時出帆うらる丸にて內地へ向ふが何れも相當に日本語を解し得る迄に勉强を續けてゐる、引率者工藤忠氏は語る

今度留學するものは執政と最も近い隨衞武官中から選ばれた人々で二十二から二十五までの若い青年將校です、何れも教養ある子弟で明年四月溥傑、潤麒兩氏と共に士官學校へ入學するがそれまで勉强や入學準備をやる筈です、この青年將校は將來日本と同樣の滿洲國軍隊の養成に盡力する人々で中には陸軍大學へ入る事を考へてゐる者もあるが何分滿洲國最初の日本留學生で人選に充分愼重に考慮されてゐます、武官のみならず文官の留學生に就いても目下計畫されてゐるので近く實現するものと思ひます

蘇炳文が海拉爾で貴福氏令息を虐殺

蒙古人憤慨して飛檄

【關東軍司令部發表】海拉爾方面より洮南に來た蒙古人の談によれば最近蘇炳文は呼倫貝爾方面の蒙古人に對して慘忍行爲を敢てしその第一手段として在海拉爾の現興安警北分署長兼滿洲國參議の要職にある貴福氏の子息福善をその都統衙門に監禁し無殘にも虐殺した、また同地滯在中の現從衛官凌陞衛隊長郭文霖も虐殺されたため蒙古人は極度に激昂しこれを聞いた同地方の蒙古人七十萬人も極度に憤慨し四方に檄を飛ばして一致團結蘇炳文に當らんとし殊にこのため重大を加へつゝある【新京電話】

小唄大連シャンソンを華やかにレヴウ化

來る二十二、三日兩夜大劇で 大檢秋の踊

大檢女紅場主催に本社主催で來る二十二、三日の兩夜大連劇場にて開催する「大檢秋の踊り」大連シャンソン發表會は本社が大連市民の愛唱小唄として懸賞募集した當選歌の振付發表が最も興味ある演し物として期待され、既に發賣中の作品として發表するもので、北村席の秘藏弟子を總動員し連日にわたる猛練習を終へ、十九日午後一時から大連劇場にて舞臺稽古をなし演出効果に全力をあげてゐる、「大連行進曲」は美智子、てまり、宇女丶、百々若、タンゴ、宇女千代の踊り達者な新進よりすぐつて斬新な衣裳を新調し全體の調子を全くモダン化しレヴユウ樣式によつたものであり「大連シャンソン」は清新な和裝で美智子、宇女子、百々春、てまり、歌作、宇女千代、百々丸、宇女春、百々若、タンゴ、百々子、宇女太郎、宇女丶、たからの美妓十四名の總踊りで華麗な舞臺を以て觀衆を魅惑すべく、舞臺裝置も亦、苦心を重ねた優秀なもので照明効果と相俟つて大連舞踊界未曾有の素晴らしい演出効果を示すべく大いに期待されてゐる、更にジャズ・バンドはリーダートランペットのロイ小關氏をはじめバンジョー及ヴイオリン高木、トロンボーン梅田、アルトサキソホーン及クラリ赤萩、テナーサキソホーン及クラリ橫山、ドラム竹中ピアノ島田、スーザーフォーン赤木、アルトサキソホーン及クラリ加藤の諸氏が特別演奏し、按舞照明衣裳音樂の麗しい調和を持つ絢爛なレヴユウ二景を華やかに演出して「大檢秋の踊り」を飾ることゝなつた【寫眞上岡藤間勘奈津師匠と左上からてまり、宇女千代、百々子、宇女春、宇女太郎、百々丸、美智子、右上から歌作、たから、宇女丶、宇女子、タンゴ、百々春、百々若】

洲舞踊界の新人として定評のある北村席の藤間勘奈津師匠が會心の振付をなし「大連行進曲」は美智子、てまり、村岡樂堂氏の總指揮で

健康確立の市民で醫院賑ふ

あす日曜日は正午迄

健康週間第二日の健康診斷は趣旨愈々徹底し正午頃から第一日に增して市中醫院又は大連醫院、赤十字醫院に受診者が押しかけ、健康週間は日を逐ふて市民の保健觀念を深め各自の健康を確立しつゝあるが、更に一層の效果を期するためさきに各區長、方面委員より各戶に配られた診斷券或は本紙刷込みの診斷券の他に、大連市役所社會課、滿鐵社會施設係及び本社の三ケ所に診斷券交付所を設けることになつたから希望者は遠慮なく申込まれたい、なほ二十日の日曜日は旅大の市中各醫院及び各齒科醫院は何れも午前十時より正午まで健康週間の診斷を行ひ、赤十字病院は午前九時より十一時まで診斷に當ることゝなつてゐるから受診者は時間を間違へず利用されたく關東廳旅順醫院、大連醫院並びに大連聖愛醫院は診斷を休むことになつてゐる

兩張將軍拜謁 握手を賜ふ

【關東軍司令部發表】十一月十八日 天皇陛下には目下特別大演習陪觀のため滯京中の滿洲國武官上將張景惠氏張海鵬氏以下三名に對し親く拜謁を仰付けられ一人々々握手を賜はり特に張兩將軍に對しては遠來の勞を犒はれ健康に注意するやうにとの有難き御言葉を賜はり兩將軍は感激して退下したとのことである【新京電話】

居直强盜を拳銃で威嚇逮捕

元芝罘の保甲隊員で怪犯人として取調中

十八日午前七時ごろ市內磐城町百十五番地靑物商同茂盛方へ一名の賊が忍び込み二階店員部屋の寢臺の下にもぐり込んで機會を窺つてゐるうち午後五時三十分ごろ店員全部が外出したので寢臺下から這び出て店員部屋を物色中、丁度その日病氣で寢てゐた店員王義忠(二二)に發見されるやその場にあつた折込ナイフを突きつけ「騷ぐと刺し殺すぞ」と强盜に居直り衣類十七點（時價七十圓）を風呂敷に包み「警察へ知らせると後の祟りが恐ろしいぞ」と威嚇しゆう〳〵表戶から逃走せんとしたところ折柄歸宅した店員劉景昌(四二)が强盜と知つて機轉を利かし戶外へ飛び出るなり外部からパチンと錠を下し賊を袋の鼠として二十數名の店員を狩り集めて家屋を取り卷き、一方常盤橋派出所へ急報した、閉ぢ込められた賊は裏手窓から飛び出し露路の扉を蹴破り逃走せんとするところへ森口、曾我、水田の三巡査が駈けつけて露路に追ひ込み拳銃を突きつけて威嚇しつゝ近寄り格鬪のうへ逮捕、本署へ連行取調べた結果賊は山東省蓬萊縣生れ王玉福(二三)といひ元芝罘の保甲隊員で所持の手帳には張學良の部下張兒明の事などを記入してあり怪支那人として司法高等兩係で引續き嚴重取調中

佳木斯を狙ふ兵匪を潰滅

移民團も討伐に協力

【ハルビン特電十九日發】佳木斯附近に蟠居する王纖、陳志山の率ゆる賊三千は山砲三、迫擊砲二を以て東方七里大平川方面より來襲したので十七日朝二時佳木斯守備隊は移民團と共力して討伐に向ひ四時三十分戰鬪開始陸家崗東端の敵五百を殲滅、更に綏富索及陸家崗東南より前進し來たる敵の後續部隊を擊碎追擊し交戰四時間半に及び山砲一、重機關銃一、小銃多數を鹵獲した、敵の遺棄死體三百（內營長一、賊頭目一）我損害戰死下士一、兵七、重傷鐵工長一兵六、輕傷下士二、兵十六、通譯一、大平川附近にはなほ賊數千がゐるので守備隊は嚴に備へてゐる

吉長線復舊

匪賊の襲撃で一部不通となつてゐた吉長線は十八日全通、十九日から平常通り運轉することゝなつた

深夜女給連れの不良少年は泥棒

大連案內社を荒し遊興

十九日午前零時三十分ごろ市內伊勢町通りを醉つぱらひ女給と一緒に步いてゐる少年を大連署遠藤刑事が不審に思ひ取調べると懷中に四十餘圓を所持してゐたり本署に同行取調べると市內入船町三番地高本和雄(一九)といひ昨年六月頃約二ケ月間市內西通三五番地金融業大連案內社に雇はれてゐたとあり同社の事情を知つてゐることを奇貨に、本年十月十六日以來數回に亘つて忍び込み現金三百餘圓、商品券十數枚を竊取しこれを金に替へ遊廓やカフエーを飲み廻つてゐた末恐ろしい少年と判明した

育成軍鞍山へ

全國中等學校ラグビー大會滿洲豫選の州內外優勝戰に出場する滿鐵育成學校ラグビー部一行は十九日午前九時發「はと」で多數父兄學友の見送り聲援を受けて鞍山へ遠征の途についたが、優勝戰のレフエリーたる大連第一中學校教諭岡澤巨民も同行した

板垣少將歡迎會

在滿日本人時局後援會では板垣奉天特務機關長の來連を機とし二十日午後六時よりヤマトホテルに於て歡迎座談會を開催するが會費三圓出席希望者はヤマトホテルまで申込んで貰ひたいさ

天氣豫報

二十日 北西の風晴後曇

滿潮（午前二時十分 午後二時二十分）
干潮（午前九時十五分 午後八時三十分）

各地氣溫 十九日午前十一時、

旅順 一三 奉天 八
大連 一二 新京 —
營口 九 八

けふの小洋相場（正午） 金百圓は一一八圓二〇錢

國難日本刀 (159)

高桑義生作　京極佳夕畫

風雲けはし（六）

淡路守は、その言葉に、眼をみはつた。

「貴國の婦人は、わたしたちを極端にきらつてゐる。わたしはよく承知して居ります。小松さんもさうです。しかし、あなたの權力が……かの女をわたしに與へる、間違ひはないと、わたしは信じてゐたのです。けれども、もう信じることは出來ません。すべてを、信じることが出來ないのです。先日かの女は承諾したといふ事であつたが、それも嘘だつたのです。わたしをだます僞りの手段です。かの女はわたしに手も與へなかつた……みんなぐるになつて、わたしを騙した。あなたも御存じかも知れない……とわたしは思ふ」

「いや、左樣な事は……」

「まあ、お待ちなさい。わたしのいふ事を、お聞きなさい。それに

す、わたしは欺かれたのです」

「いや……」

「それで、わたしが歸つて來るとかの女はゐない。わたしは信じません。あなた方がかの女を隱した——といはれても……」

「いや、斷じて左樣な事はない」

と淡路守は顔をあかくして、力んだ。

「みんなたくんだ事、最初からの計略だといはれても……」

「邪推ぢや。小松の事は、眞實ぢや。樓主はそのために殺害された……」

「どうかわかりませんね」

ホールがさう信じるのも、理由のない事ではない。戀するもの、猜疑さは、殊のごとく愛する小松ではあるが、かの女の心をよく知つてゐる。たゞ權力が、事情が、結局無理往生に、かれの手にわたる——さう信じた。だから、ホールが歸つて、この上、否も應もない、窮極の——最後のどたん場になつて、小松の紛失、ゐない者はどうしようもないといふ、それはみんなで書いた狂言だ、たくんだ芝居だ——と考へた、かれは意地にも、如何な事にも、小松がじぶんの手に渡らぬうちは、銃器彈藥の賣渡しを承諾しない、牢乎たる決心、て、でも動かなかつた。

首を振つた。否だ。否だ。

「拙者は何としたらよいのぢや、拙者のめんぼく、拙者の責任……」

淡路守は嘆息した。この一外人の力、一個の商人ながら、がんとしておのれの主張をまげない、その強い意志と態度に、あぐねはてた。驚嘆した。おなじわが國の町人は、かれの權力の前に、一も二もなく恐れ入つてしまふのだ。手段も何もいらない。すべては權柄づくで解決してしまふのだ。百年千年の階級的差別が役人の前にはゐゝとしてその頤使にあまんじた日本の商人、その習慣から、今、一外人との交渉にかくまで心血をしぼらうとは、難澁しようとは、夢にも思ひがけなかつた。威嚇も脅迫も利かないのである。無力だ

「なさけない、殘念だ！」

心の底からさう叫ぶ。それに、淡路守はホールから莫大の賄賂を受けてゐた。かやうな難關に乗りかけようと誰が考へよう今は、その金をたゝき返しても——だが、それでおのれの面目が、責任が果されるのではなかつた。幕府は銃器彈藥を必要としてゐる。

日に日に動く風雲、内外の事端——來るべき事亂にそなへるところは、要するものは、新鋭の銃器である、彈藥である。

「腹切ものだ」

と彼は思ふ。

たゞ一人の女、小松を、九天九地をたづれても求めなければならぬ。

外に、わびしい雨聲が聞えた。

檢番美妓の「オンパレード」

果然前人氣を煽る　大檢秋の踊出演者

本社觀賞募集當選歌コロムビアレコード吹込みの「大連シヤンソン」及び「大連行進曲」の振付發表を兼ねた大檢秋の踊りは既報の如く來る廿二、三日兩夜六時から大連劇場にて大檢女紅場並に本社主催にて開催するが、大檢新進花形總出演の温習會として果然人氣を集中し物凄い前人氣を煽つてゐる、興味の中心であるプログラムは既報の如く長唄素囃子、長唄舞踊、常磐津舞踊、清元舞踊、新舞踊、童謡舞踊、小唄舞踊劇及び華やかな舞臺を飾るレヴユウ二景の新進花形總數の熱演が期待され出演者は左の如く決定した（寫眞は大連行進曲のコスチユームをつけた宇女ゝとてまり）

一、長唄素囃子「操三番叟」▲唄小ゑん、小〇、小六、廣子▲三味線すま子、せん、喜作、一菊▲鳴物太鼓百々一、大鼓百々子小鼓猷作、高丸、ゝ〇、茶目丸

二、清元舞踊「花筐」▲立方高千代、くに子、小文、八重子▲唄蔦葉、松右衛門、蔦奴▲三味線喜久勇、一菊、蔦子

三、小唄舞踊「風も吹きよで」宇女ゝ、百々若、百々丸、美智子

四、新舞踊「花まつり」吉田席花子、北村席高子、八千久席幸子、秋山常子、田中正子、井藤雪子

五、常磐津舞踊「後の月酒宴島臺」▲立方佳代子（角兵衛）音丸（島追）▲唄一喜代、梅幸、園彌▲三味線富貴子、英太郎、信千代

六、新舞踊「柳の雨」てまり、百々子

七、童謡舞踊「證城寺の狸囃子」北村席高子、八千久席幸子、吉田席花子、井藤雪子、秋山常子

八、常磐津舞踊「新曲玉川」▲立方茶目丸（殿）六〇（仕丁）、〇（仕丁）八千代（女）三つ豆（女）▲唄歌榮、糸勇、花奴、廣子▲三味線ぜん、すま子、美彌、小桃▲鳴物太鼓百々一、大鼓宇女千代、小鼓小春、松右衛門、高丸

九、小唄舞踊劇「貫大次第で笑つて泣いて」吉田席花子。北村席高子

一〇、新レビユウ「大連行進曲」美智子、てまり、宇女、宇女ゝ、百々若、タンゴ、宇女千代

一一、新舞踊「大連シヤンソン」▲立方美智子、宇女子、百々春てまり、猷作、宇女千代、百々丸、宇女春、百々若、タンゴ、百々子、宇女、宇女太郎、百々丸、たから

噂話

日活館蓋明けの初日夜間興行は果然好調で階上階下とも札止めの盛況▲館員一同はバレてから喫茶室に集つてスルメと冷酒で祝盃をあげて大いに前途を祝福▲けふからは中央映畫館が開館一周年記念興行でこれまたロングヒットを狙つてゐる▲昨日歸連した南信次氏は頻りにプレイガイドの岸島一郎氏と折衝してゐる模樣▲帝國館の支配人には解説者の櫻井滿君起用に内定したらしいと放送されてゐる▲映畫通信の傳へるところによると惡玉立花良介氏が奉山沿線に大農場を經營すると▲紅森勾當森川とし子さんが今回市内薩摩町七（大連醫院前和風會隣り）に轉居した

中央映畫館一周年記念興行

中央映畫館では十九日から開館一周年記念特別興行として松竹下加茂第三回オールトーキー大塚稔監督柳さく子、飯塚敏子主演「ゆふなぎ草紙」及び松竹蒲田作品五所平之助監督林長二郎川崎弘子主演「不如歸」を上映する

本社特選 新棋戰（其九）

角落先　七段△宮松關三郎　三段▲橋爪敏太郎

【圖は三九玉迄の局面】

▲橋爪氏持駒　歩

△宮松氏持駒　飛銀桂歩五ツ

▲四八と　△同　飛
▲同　成銀　△同　玉
▲二八　飛　△三八　歩
▲一八飛成　△二五　桂
▲一四　龍　△一二　歩
▲同　香　△四一　飛
▲二四　歩

累計百三十手

【土居八段講評】橋爪君は一四龍と引く必要はない、穩かに一二歩打、四一飛打なら三一香打にて差支ない、本譜の如く指しては敵に一二歩を打たるゝ、憂へあつて危い。續いて二四歩突きは無理、矢張り三一香を打つて防ぎ二四歩は後の含みに殘して置く處である。

【萩原六段解説】橋爪氏の四八と、は初め六七歩を打つて六八歩成以下當然の歸結で宮松氏同飛も止むを得ないのである、然して二八飛を打つて一八香を取つて自玉を守つたのは、この場合至當である、宮松氏の二五桂は自玉が相當廣くなつたので持飛の力を活用する意味で二五桂を打つたのである、橋爪氏の一四龍は敵の一三銀打を削ぐ意味であるが此處は一二歩を受けて防戰すれば未だ有望の棋勢である。宮松氏の一二歩は輕手で橋爪氏の同香も止むを得ないのである、同龍、又は同玉では一三歩を打たれて難しいのである。橋爪氏の二四歩は敵の一一銀打の詰を避けたのであるが三一香を打つ方が順である。

滿洲日報

聯盟理事會の形勢は來週中に見當つかん

支那、第一日に態度表明

【ジュネーヴ十九日發】支那代表部は我意見書に對應すべき何物も提出せず、總ては廿一日の理事會における松岡代表の演說修了後顧維鈞代表の行ふべき演說においてその態度を表明することゝなつた、今次の理事會は眞先に松岡代表を演說せしめ、廿一日の會議は意見書の研究を名目に二三日休會する模樣である、而して理事會の形勢も其後二、三回の會談の樣子で大體來週中には見當がつくであらうと豫想されてゐる

首席全權に松岡氏

【東京十九日發】國際聯盟總會に出席する首席全權に關しては從來の慣例その他の事情から松岡洋右氏起用には種々の難關あつたが、十八日閣議ですべての障害を[illegible]定、十九日外務省よりジュネーヴの帝國代表部に訓令した

【東京十九日發】廿一日開會の聯盟理事會に對する帝國代表として長岡駐佛、佐藤駐白兩大使及び松岡洋右氏の三氏が出席すべく既にジュネーヴに參集したが、内田外相は此等三代表の頭に不測の行違ひの生ずべきことを恐れ、十八日の閣議で非公式に齋藤首相始め閣僚の諒解を求むる上、松岡代表を我代表部の首席代表たらしむるに決定十九日朝その旨ジュネーヴに訓電を發した

全世界と戰ふも斷じて讓らず

石原大佐決意を表明

【ジュネーヴ十八日發】陸軍側參與員石原大佐等よりメトロポール大廣間で我代表新聞記者團以下日本人二百餘名に對し一場の講演を爲し

滿洲國の現狀維持を否定せんとするなら、日本は全世界を敵として戰ふも讓らざる確信を有する、これは余の軍事的研究より斷言し得る

と熱烈に述べ、全權團に多大の感動を與へ決意を固めた【寫眞は石原大佐】

松岡全權以下毎日放送

ジュネーヴ東京間のラヂオ放送プログラムは十九日放送協會に入電があつたが、廿一日（滿洲時間午前五時三十分）より三十分間松岡全權を第一聲に連日同時刻佐藤、長岡、松平各代表の順で放送することゝなつた

松岡代表英代表會見

【ジュネーヴ十八日發】松岡代表は午後二時ホテル、ボリヴアジユに英代表サイモン外相を訪問、聯盟關係問題につき懇談し、松岡代表より日本國民の覺悟と滿洲國財政經濟狀態が豫想以上好調を呈してゐることにつき詳細說明し、これに對しサイモン外相も或る程度迄滿洲問題に關する自己の方針を打明け會談三十分にして辭去した

各國代表團を組織

外交團と同性質のもの

【ジュネーヴ十八日發】聯盟各國より聯盟代表として壽府に派遣されてゐる各國代表は、今回世界各國首部に外交使節が組織して居る外交團と同樣の性質を有する團體を組織する事となり、十八日右組織に關する會合を催した

オブザーバーを米國は派遣せず

キヤツスル次官言明

【東京十九日發】過般の大統領選擧以來アメリカの日支問題に對する興味が非常に薄くなつたことは各種事情がこれを證明して居る當地某方面入電によればアメリカは今回の聯盟會議に對しても代表の派遣乃至公式、非公式に拘らずオブザーバーの派遣をも避けるであらうと見られて居る、卽ち國務次官キヤツスル氏の言明によればアメリカ政府は聯盟のリツトン報告書審議期間中政府に絕えず情報を供給せしむるためスイス駐在ウイルソン公使に對し通達する模樣でありまたジユネーヴ駐在のギルバート公使に對してもウイルソン公使を補佐するやう電命する筈だと

新京の警備司令部

新京の治安を完全に維持し日滿議定書に確定された共同警備の實を擧げるため兩國政府はかねて滿洲國軍および日滿兩警務機關を打つて一丸とした警備統帥機關を新京に設置する計畫でこれが具體案を作成中であつたが、今回その成案を得るに至り去る十二日附で橋本憲兵司令官を司令官とし、齋藤大佐を參謀長、三浦憲兵少佐、佐久間滿洲國軍政部顧問、久下沼警視、木村事務官を高級部員とする新京警備司令部が新設され近くこれが構成を發表することゝなつた【寫眞は警備司令部と橋本司令官】

暴風被害御救恤御内帑金御下賜

畏き兩陛下の御思召

【東京十九日發】天皇皇后兩陛下は十九日正午、十四日夜來の大暴風雨被害御救恤として御内帑金二萬三千圓御下賜あらせられた、内譯左の如し

東京府一千圓、神奈川縣七千圓、靜岡縣七千圓、茨城縣三千五百圓、千葉縣二千五百圓、福島縣二千圓

【東京十九日發】天皇皇后兩陛下は十四日夜來大暴風雨被害大なるを聞召され東京、靜岡、神奈川、千葉、茨城、福島の被害一府五縣に對し御救恤金二萬三千圓御下賜あらせられ十九日一木宮相より各府縣當局へ傳達した

財政調査會

政府部内の三案

來週閣議までに成案

【東京十九日發】財政調査會設置に對し十八日の閣議前齋藤首相は高橋藏相に對し非公式にその内意を漏らし藏相の意向を徵したところ、藏相は國家將來の財政改善、稅制整理、惹いては行政整理の必要は素よりである、就いては之を如何にするかの根本方針を審議すべき特別機關の設置には大いに贊成であるが、如何なる組織方法により最も效果を擧げ得るかはなほ篤と考慮の餘地があるので、お互にこの問題について案を練ることにしたら如何との意を表明した、之がため首相は西園寺公訪問歸京後、時機を見て更に藏相と協議し具體的に決定する段取りになつてゐる、目下政府部内で考へられてゐる案は五省會議の如きものにこの審議を附託する案、大藏、陸海兩省を中心として財政、稅制の整理に關する根本的調査を行はしむる案、及び大藏、内務兩相を中心として之に關係各省大臣が參加する案の三案を有してゐるので來週の閣議迄に具體案を作り閣僚の承認を求むる模樣である

（續き）會議の經過を報告した、高橋藏相はその持論たる米價統制案を強調し後藤農相もこれを諒解して同案を中心に案を練ることゝなり同十一時辭去した

財政前途を藏相樂觀

【東京十九日發】高橋藏相は二十三億三千八百萬圓の尨大なる豫算に對し九億圓といふ巨額の赤字公債を財源として編成、各方面の非難を受けてゐるが、藏相としては赤字公債を財源とする編成はなるべく避ければならぬが、財政難は日本のみならず世界各國が我國に比較にならぬ巨額の赤字豫算を作成してゐる事であり、更に產業界の操業や貿易關係その他より見ても歐米各國に比し我國は非常によいのだから、九億圓の赤字公債や百億圓の公債額で悲觀することはない、要は赤字公債の發行の如き必要なきやうにして置く事だが、之さて官民協力して努力すれば驚くに足らない、財源の前途を大いに樂觀してゐる

内務省豫算原案固執

【東京十九日發】十八日豫算閣議で削除されんとした河川港灣修築事業につき内務省は十八日來對策協議中であるが飽く迄原案固執の方針である

農相藏相會見

米穀案を懇談

【東京十九日發】後藤農相は十九日午前十時高橋藏相と會見來る廿四日の米穀統制調査會を控へ農林[illegible]

明糖脫稅問題

【東京十九日發】明糖脫稅問題に關する司法、大藏、法制局三省の聯絡協議會は午前十時より法制局内に開會、大藏省より中島主稅課長、司法省皆川次官、法制局堀切長官以下出席、明糖脫稅問題の法規上の問題につき討議したが大藏省は從來通りに公法の缺陷であり、明糖にはこれ以上の責任なしとするに對し司法法制局側より種々質問あり午後零時半散會した、本日は大藏省の意見を聽取したのであるが廿五日午後一時半より開會、司法省側の意見を聽取することになつた

岡田海相の辭任期

議會終了後か

【東京十九日發】岡田海相は明年一月一日を以て滿六十五歲の停年に達し現役を退くと同時に海相の椅子をも勇退する決意を爲したので、首相はじめ海軍長老は極力留[illegible]

北平の軍事會議

學良歸平しけふ開く

【北平十八日發】張學良は漢口において蔣介石等國民政府要人との連絡も絕えず金も取れず夏服で震へてゐる者も多いがその連中は自分達の非を悟り滿洲國が正式に承認されてゐるのに自分達はなぜかうした運動をする必要があらうかといふことを眞劍に考へて來てゐる、協和會館での講演では軍人として政治問題は避けるが唯今次の事變につき關東軍自體が自衞權を越えた行爲をし、滿洲國の建國は軍の手でなされたなぞといふ極端な誤解があるので、これの一掃に努めたいと思つてゐる（寫眞は板垣少將）

（註：上記段落の後半は板垣少將談の續き）

河北軍事會議を終り本日午後四時十分飛行機で歸平した、右に基く軍事會議は廿日開く豫定である

太平洋平和の永久的保障

日本全權より提出說

【ロンドン十八日發】デリーメール紙ジユネーヴ特派員は日本海軍全權は來週中に英米に重大關係ある海軍軍縮案を提出すると傳へてゐるが同案は太平洋の平和を永久的に保障する頗る遠大な計畫であるといふ

賀陽宮殿下

陸軍大學校教官に

【東京十九日發】參謀本部第二部附騎兵少佐賀陽宮殿下は近く陸軍大學校教官に御轉出と御決定遊ばされた

宇垣朝鮮總督陸相と會見

【東京十九日發】宇垣朝鮮總督は十九日午前十時半荒木陸相を官邸に訪ひ、朝鮮國境警備問題、羅南師團兵備改善問題等につき三十分會見して辭去した

森島氏總領事に

十九日正式發令さる

【東京十九日發】森島奉天領事に對し左の如く辭令あつた

領事兼關東廳事務官朝鮮總督府事務官　森島守人

任總領事（四等）哈爾濱駐在を命ず

……任勸告の結果、首相との間に或種の諒解成り議會終了後圓滿辭職すると觀らる

黑崎氏來連

奉天、新京視察中の元新潟縣知事黑崎眞也氏は十九日夜着「鳩」で來連したが語る

小磯參謀長はじめ阪谷君、竹内君等が舊知の間柄なので色々話を聽きに行つたのだ、四、五日しか視察しないのに感想の述べられる筈はない、唯在滿諸氏の努力には心から感心した

治安の回復は奉天省から

板垣少將來連談

奉天特務機關長板垣征四郎少將は二十日午後協和會館で開催の全滿日本人時局大會で講演のため十九日午後七時五十分大連着急行「はと」で來連直に遼東ホテルに投宿したが驛頭には岡野大連市助役、石本鏆太郎氏等多數の出迎へがあつた、途中出迎への記者に板垣少將は語る

奉天省は人口、富源共に全滿の三分の二を占め關東軍でも重視して「治安の恢復は奉天省から」をモツトーとして先づ東邊道の匪賊を討伐し引きつゞき隣接地方面の討伐を繼續することになつてゐる、なほ大部隊の匪賊は日本軍が討伐するが秩序の恢復と共に滿洲國公安隊も整頓したから極地的討伐は靖安遊擊隊等の滿洲軍と協力して公安隊等がこれを實行し得る狀態にありこの一冬を經過すれば來春から治安を完全に保てると豫想してゐる、かくして治安も恢復出來れば奉天省は名實共に產業の中心となるわけで現に東邊道の討伐も終つて奉海（瀋海）線も全通した結果奉天市況は今や活況を呈して來てゐる、また奉天の一般商況も日本品の注文殺到で注文に應じ切れないといつた景氣であり「產業恢復は奉天から」を如實に實現し得ると考へてゐる

張學良の指揮による攪亂運動は大匪賊の剿滅によつて必然的に潛行的になつて來たし、未だ樂觀は許されないが、金の切れ目が緣の切れ目とか、さう餘り恐れるに足らん、現に張學良との[illegible]

健康週間

健康で自力更生

滿洲國財政の基礎確立す

鈴木財政部最高顧問談

【京城特電十八日發】滿洲國財政部最高顧問鈴木穆氏は滿洲建國新公債その他日本シンジゲート團との打合せの爲十八日午前十時京城通過東上したが、氏は語る

滿洲國の建國新公債は已に成立しシンジゲート團が之を引受け愈々近く拂込みを行ふことになつた、その方法は第一回の拂込みは十二月、第二回は來年一月第三回は二月と三回に分けて拂込み完了する譯である、要するにこの建國公債が豫期以上に斯くも順調に運ばれた事は滿洲國の財政的基礎が如何に確定されたかを立證するものである又滿洲國の財政は中央銀行の設立によつて最近著しく好轉し來た、目下中央銀行では紙幣の統一に全力を注いでゐるが同行の設立當時各省で發行してゐた舊紙幣だけでもザツと見積額一億三四千萬圓位あつたが、今日までに回收したのは四千五百萬圓に達してゐる全部の回收には二ケ年位を要するであらう、中央銀行の

新紙幣は二千三百萬圓程發行してゐる、これに次いで補助貨を作る方針で目下造幣局で鑄造の準備を急いでゐるが、今の

關係筋への說明は完全に結了した

村上滿鐵理事歸連談

鐵道問題について軍部關係者に說明のため新京に赴いてゐた滿鐵々道部長村上理事は歸途奉天に立寄り、佐々木秘書帶同十九日夜發急行「はと」で歸連したが驛頭には佐藤次長、石原參事、穗積技師等鐵道部首腦者殆ど全部の出迎へがあつた、村上理事は語る

◇…持つて行つた滿鐵案の關係筋への說明は完全に終つた、從つて今から滿鐵案を作り變へるやうなことはない、然し上京までには二、三重役會議で決定せねばならぬことがあるから今のところ二十二日の船になるか二十三日飛行機にするかどつちとも決らない、内容については未だ發表の限りではない

◇…滿鐵職制改正の發表も鐵道部を切離せば今月二十五日ごろには出來ると思ふが鐵道部全體の職制改正と一緒にやるものとすれば早くて年末或ひは來年一月になるだらう、鐵道部の職制は大體決定してゐるが人事は全然決つてゐないし從つて新京でもその話は全然出なかつた、事實理事の擔任さへ決つてゐない今日鐵道部の人事の決めやうがないぢやないか、君達も餘りあせらんことだよ

◇…石原君がやつてゐる人事問題も定員制の設定とかさうしたものだけで具體的な人事には全然觸れてゐない、東京での滯在日數は解らないが既に上京の後宮大佐とはまたあちらで會ふことになつてゐる、奉天に降りたのは一寸敬意を表しただけだ、新設職制の設置場所など全然決つてゐない

◇…滿鳥協定は宇佐美君とも話したがけふ宇佐美君が飛行機で奉天を發つたから午後から鳥鐵の代表と會つてゐる筈だ、今後は先方も非常に誠意を示してゐるし大丈夫だと思ふが、かうした物は双方に誠意を示してゐるもそう簡單に決るものでない、現に角現在は堆積してゐる前提條件を解決してゐる時でそれが終つて改訂交涉に移るのだがその時期も今のところはつきりとは判らない

本庄將軍嚴父盛大なる葬儀

【東京特電十九日發】前關東軍司令官本庄將軍嚴父常右衞門翁の葬儀は十九日午後一時より青山齋場にて佛式により嚴かに執行された、閑院元帥宮殿下より寄贈の花環の外荒木陸相及各大臣、滿洲國國務總理張景惠、張海鵬將軍、山成中鐵副總裁、林滿鐵總裁の花環等所狹きまで飾られ讀經その他の式後告別式に移り荒木陸相、内田外相、永井拓相、南、菱刈、内田、奈良各大將ほか陸海軍將星、芳澤前外相、伍堂、十河、山西、大淵各理事、山内顧問等千餘名の參拜者があつた、三時終了後多摩墓地に遺骨を送り莊嚴なる埋骨式を行つた

齋藤首相歸京

【東京十九日發】齋藤首相は西園寺公の訪問を終へ十九日午後四時四十分靜岡驛發歸京の途に就いたが同七時三十五分大船驛下車葉山別莊に入つた二泊靜養の上廿一日朝歸京の豫定である

處その額は確定してゐないが相當多額に上る見込みである、自分は二十日東京に着いて一週間の滯在豫定である

兩張將軍一行

【所澤十九日發】張景惠、張海鵬氏等一行十六名は十九日午後一時所澤飛行學校を訪問し飛行演習を參觀した

阿片收買法改正佈告

滿洲國財政部は十九日佈告第八號を以て左の佈告文を發した

佈告文

本月十六日付敎令第百八號を以つて暫行阿片收買法中第一條を改正せられ阿片禁出期間を大同二年一月十日迄延長せらる、これ法令の普及全からずその趣旨徹底せざる地方あるを慮り、犯意なくして法網に觸るものなからしめんがためなり、一般人民よく法の實狀を體し左記各項を遵奉し敢て違反することなかれ

一、阿片所有し所持せるものにして未だこれを提出せざるものは速に縣長、旗長、又は市長の指定する場所又は阿片收買人に洩れなく提出して賣出すべし

二、阿片の提出をなさず又はこれを隱匿し所持するものは假借なく國法に照し嚴罰に處せられ、該阿片はこれを沒收せらる右布告す【新京電話】

邦人課稅說腑に落ちぬ

八田副總裁談

新京からの歸途奉天に立ち寄つた八田滿鐵副總裁は滿洲國の課稅問題につき滿鐵公館にて左の如く語る

在滿邦人に對し滿洲國が課稅するやうな話があるが、滿鐵としては未だ正式に何の交涉も受けてゐない、若しそのやうなことがあつても、附屬地内及び關東州内の邦人居留民に對する課稅は法權侵害になるから絕對に承服するわけにはいかない、併しながら法權が撤廢された後なら問題は別だ、そのときは當然稅權を滿洲國政府の手に移るものと思ふ、なほ商埠地や城內の居留邦人に對する滿洲國の課稅については居留民會或は領事館において交涉すべきで、滿鐵としては別に干與すべきところではない、治外法權の撤廢は早晚實現されることゝ思ふがはつきりした時期は判らない

なほ八田副總裁は山崎理事と共に午後一時半總領事館に森島領事を訪れたが午後十時四十五分發列車で南下の豫定である【奉天電話】

縣長が匪賊に歸順勸告

【開原】常關原縣長は良民子弟の匪賊の甘言に誘はれ若しくは脅迫を避くる爲め賊團に投ずるものあるに鑑み徹底的掃蕩に先だち縣下各村に布告を發し滿洲新國家の王道を詳說し改心せる匪賊は一概其の舊惡を問はず速かに歸順を申出づべしと通達した

打天下歸順說

【鐵嶺】目下開原縣施家堡子部落に潛在中の匪首打天下の二百五十名の賊團は時勢既に抗し難しと觀て開原縣政府に對し歸順を申し出たと傳へられる

社說

在滿邦人正義の聲を高めて
代表部へ後援　歐米へ反省を

本日在滿日本人時局後援會主催にて、全滿日本人時局大會が開かれる。云ふまでもなく、二十一日より開かるゝ國際聯盟に對する全滿日本人の意思を表白して、我國の主張を貫徹せしめんとするのが其目的である。國際聯盟の態度は、滿洲問題の解決によりて日支國交の圓滑を謀り東洋永遠の和平を策せんとするに在ること勿論であるが、其主題として討議さるゝのは例のリツトン報告書である。リツトン報告書が甚だ杜撰極まるもので、隨處に認識不足を暴露し、決して滿洲問題解決の鍵たるべきものでない事は、從來各方面より指摘された所であるが、歐米人には歐米人に共通の對東洋觀念があつて、吾々から見て認識不足と爲す所も彼等は必ずしも認識不足と思はず、又其提唱する方案も、吾々が不適當と思惟しても彼等は必ずしも不適當と思ふわけではない。隨つてリツトン報告書の認識も普通の歐米人よりは精確であり、其方案も歐米人の對東洋觀念に適する點あるによりて、或は之れに贊同の意向を有するものなしとせぬ。

◇

吾々より見れば、滿洲問題は滿洲國の成立によりて既に解決されて居るので、今更解決法を講ずる必要はなく、東洋永遠の平和は立派な理想を抱いて起てる滿洲國を列國擧つて承認し、其の内外政策を扶掖するに若くはない。其の以外の方法は如何なる方法でも却つて事態を紛糾せしめて、東洋の和平を妨害するのである。元來東洋の和平は支那の安定を以て唯一の方策と爲すべきであるが、それは一朝一夕に望むべきでないから、先づ滿洲だけでも安定せしめて、東洋和平の端を此處に開かんとするのは極めて事實に即した考へ方であつて、滿洲は其獨立國家創立によりて着々安定を得つゝある。之れを破壞して、此地を再び以前の混亂狀態に陷らしめんとするのが甚だ心得違ひであるのは云ふまでもない。而してリツトン報告書は此の不心得を主張するものである。

◇

しかも此のリツトン報告書が尙歐米人間に興味を持たしめんとするのであるから、吾々は之れに對して極力其の妄を辯じ誤りを匡して東洋の平和を守らればならぬ。我政府は此見地よりして、早く對策を決し、今や我が代表部はジユネーヴに結束して、歐米人の謬見を打開せんと待ち構へてゐる。我が全國民は一致してその堅決的意思を表白して、政府を後援し、我代表部を鼓舞せねばならぬ。殊に滿洲現地に在住する邦人に於てをやである。されば先日來滿洲各地の邦人は、より〳〵大會を開きて、リツトン報告書の不當を決議し、邦人の意思は滿洲國承認を貫徹するより外に何ものも無い事を表白し、內に自ら此の志を固め、外に歐米人の反省を促さん事に全力を竭してゐる。

◇

リツトン報告書の謬妄に對して最も憤慨しつゝある者の滿洲國人たるは當然で、既に滿洲國民衆總代表、副代表其他各省各縣、並にハルビン特別區、蒙古各地の代表は、リツトン報告書に、新國家の成立が民衆の意思に基かずと獨斷してゐるのを辯駁し、其の反駁書を聯盟方面に發送してゐる。その他蒙古七十萬の民族は別に滿洲國家の創立が彼等の最も欣喜する所たる旨を聲明してゐる。實際、僅々三千幾百萬人中の一千五百人の無責任な投書によりて、建國は民衆の意思にあらずと斷定する如きは、如何なる理論を以てするも支持し得べきにあらず此の、報告書の杜撰極まる事は此一點だけ捉へて見ても明白である。其他誣妄、誤謬に滿たされゐるは、既に各方面からも論議されゐるから、吾人も逐一議論してゐるから今更此處に指摘するまでもないが、特に報告書は滿洲を以て列國共同管理の如き形式によりて支配せんとするもの、更に切言すれば歐米の共同管理下に置かんとするものなるを暴げて、極力吾々東洋人の排擊せざる可らざるものなるを指摘せざるを得ない。吾人はジユネーヴに於ける我代表部が既に陣容を整へたるを知り、十分に國意を貫徹するであらうを信ずるものであるが、此際現地に於ける吾々在滿邦人が、其聲を大にし、其勢を張つて、我國民の堅決心を發揚し、以て我代表部後援の意を表示し、之れによりて歐米人の認識不足に反省を促すは、又極めて緊要事たるを信ずるものである。

混保の滯貨激增し 滿鐵貨車繰に大童
來月より輸送順調

滿鐵社線における混保大豆受寄狀況はその後ます〳〵活況を呈し最近一日約三百車の持込があり漸く社線內における特產物持込が繁忙期に入つたことを物語つて居り、いま十八日夜現在における滿鐵社線各驛における混保大豆滯貨輛數を示せば(單位車、特小とあるは混保取扱を特別になす小驛)

▲奉天鐵道課管內　遼陽一六、奉天一五八、新臺子二三二、撫順四七、本溪湖二二、特小一〇一計五七六車

▲新京鐵道事務所管內　鐵嶺二一三、開原五九六、昌圖九七、雙廟子六五、四平街一五〇、郭家店七〇、公主嶺四八、范家屯五七、新京四一九、特小八二、計一七九七車

▲吉林一〇八、東支から輸送し新京驛中繼手配中のもの五九九、總計三〇八〇車

となりこれを前年十一月中旬一日平均の七六二車に比較すれば約二千三百車の激增である、卽ちかく混保の滯貨が激增したことは持込が本格的になつたことを物語ると共に既報の如く滿鐵線における貨車繰が極度の困難に陷つたことを如實に示すもので鐵道部配車係では更に貨車の回收に努力をつゞけてゐる、なほ鐵道部における石炭輸送車の配車については配車係でも別個に研究を重ねつゝありかれて朝鮮鐵道局に借入交涉中の貨車五十輛が廿一日到着するほか吉長線に在る四十噸無蓋貨車の使用、更に撫順炭礦で抑留中の剝土作業用貨車百輛を約五萬圓の豫算を以て修繕のうへ、石炭輸送用貨車として使用すべく手筈を定めてゐるが、混保大豆の輸送に關しても十二月早々からは全能力をあげての輸送可能の見込が立つた如く、目下手配準備に轉手古舞である、因に混保大豆の沿線小驛への持込が本年增加したことは、匪賊を恐れて近い驛を選ぶこと、および昨年の借金の抵當にとられることを恐れて新らしく小驛に持込むがためである

遼陽燒酎の南支輸出は全く杜絕
支那側の不當課稅で

過般來問題となつてゐる支那側の不當課稅は遂に遼陽燒酎の營口積出、上海、天津、香港、煙臺港着のものに對しても賦課せらるるに至り之が爲め遼陽燒酎の

南支への 輸出は全く絕望に陷つてゐる、元來滿洲土產物に對しては轉口稅のみを課し着港には何等徵稅は課せられなかつたのであるが、淸般海關閉鎖以來何港積出しに拘らず之を一切外國品と見做し、加工品、既成品、卽ち燒酎に對しても輸入稅の五割並に附加稅として輸出稅一擔に付關平銀三十七仙と轉口稅二十三仙との差額十四仙をも重加するに至つたので、遼陽驛發燒酎の南支向は昨今に至り一切杜絕するに至つたのである、これが爲め甚大なる

打擊を受 けた燒酎業者は之が對策について寄々協議の結果不當課稅問題はこと對支關係にかゝり容易に解決の見込がたゝないので應急の救濟策として暫定的に營業稅の減免方を縣長並に奉天稅捐局に陳情したるところ、これは一般的に影響するところが大きく局地的に減免することは不可能

滿洲國實業團招待懇談會

重要商品輸出入額

【東京十九日發】大藏省發表、十一月中旬重要商品輸出入額左の如し(單位千圓)

滿洲國の外交方針
建國以來の經過概要 (3)
滿洲國外交部總務司長　朱之正

我　滿洲國は創建日尙淺く外多事前途に大なる困難を控へるにも拘らず、憶理をつくして國際信義を保持し、その負ふべき任義務を果すため努力して居るのである、既に今日立派な國際上の一獨立國家として聯盟その他において堂々の論議を進めつゝある國家にして、尙且革命外交その他の名にかくれ國際信義を蹂躪し責任を轉嫁して憚らざる實例乏しからざる事實と對照して我新興滿洲の外交方針は正に世界に向つて誇るべきものにて我光輝ある王道精神は空疎なる理論でなく、

練習艦隊歡迎準備
市役所にて打合せ

東邊道善後方針
政治工作は着々進捗
金井奉天省公署總務廳長談

蒙古馬の耐久力試驗

臺灣第二船 山東丸出帆

輕銀調查報告

兩女史滿洲の女子教育視察

鐵道問題
村上理事等協議を續行

爲替小戾り

社員演說會
滿鐵修養部主催

稻近巡查部長遺骨歸還

市況
株式
內地株低落 當市下押す

特產
大豆強調

商品
綿糸期近戾り

錢鈔
鈔票戾り

市場電報

(第三種郵便物認可)

けんかう週間

保健衛生十訓

一、個人の衛生は國家の永世
二、仰げよ太陽無料の藥石
三、良い住宅よりも戸外生活
四、適宜な運動と心身の休養
五、日常生活は紀律正しく
六、食餌は常に營養價を
七、暴飲暴食保健の大敵
八、清潔の保持は病魔を驅逐す
九、消毒の勵行は保健衛生の鍵
十、健康に優る幸福なし

(關東廳衛生課)

健康と體育とを生活の一樣式に加へよ

旅順市長　永山嘉一

近年健康週間の催しが各地で行はれ漸次盛大になるといふことは欣快至極である、健康といふことは今更喋々するまでもないことであるが、文明の進展と共にあらゆる方面から衰微の徴候を示してゐることは遺憾の次第である、近頃體育の一方面たる競技が著るしい進境を見せてゐること即ち本年のオリムピック大會に於て我國の目覺ましい活躍は洵に喜ばしい次第である、然し私は此の競技に對しては餘り感心して居らない、その理由はこの種競技は競爭本意のため往々一方に偏する餘儀なき能はずである。例へば脚部のみを使用するもの或は腕部のみを使ふもの、如きで、畢竟これがため健康を損ふことが甚だ多い樣である、元來この種競技の選手は或る一部の人々に偏はれるものであり一般人に對しては前述の如き弊害のあることは事實である、其處で私の言はんとするのはこの競技選手ではなく一般人の體育、健康を如何にせば增進せしめ得るかに存するのである。

……◇……

健康と云ふことを大所、高所より叫ばれる樣では未だ一般人が健康と云ふことを生活の一樣式に取入れて居らないと云ふことなのである、この意味からいへば今回の健康週間も一般人が未だ健康を自覺せずといふことを裏書して居るのであるが又自覺せざるが故に斯る催しも生ずるのである、而して一般人はこの崇高なる催しを自覺せられ健康、體育をわれ〱の生活の一樣式に加へられんことを切望するのである。處で私は今年七十二歲であるが至極丈夫である、併し別に健康方法はないが一寸世間の人々と少しく異つてゐるだらうと思ふことは臍下丹田に氣を充滿さすこと之である、これは道を歩むときも役所で椅子に掛けてゐるときも、又夜中寢床にあるときでも始終行ふ、また毎朝眼が覺めて起床すれば直に東方に向ひ胸部を開き兩手を擧げて伊勢大神宮と宮城を奉拜する、又如何なるときでも寢に就く前に佛前に進み兩親を先に先祖代々の法名を稱し、念佛を唱へて大聲を發する、これには木魚を以て勢を助くる、朝夕のこの勤行の時は精神無垢清淨となり身體手足とも何ともいへざる爽快を覺える、以上が私の健康法ともいふべきことである。

……◇……

その他種々の健康方法もあることと思ふが、この邪氣を去り邪念を拂ふ方法を行ふ人に病魔が襲ふことが無いと思ふのである、この有意義なる催しに對し切にこれを廣くおすゝめする次第である。

健康週間診斷券
住所
氏名
年齢　　歲

健康週間診斷券
住所
氏名
年齢　　歲

早くなつた月・の・障・り

成長期にある子を持つ親に豫め注意を與へなさい

中年婦人の女學生時代と、今の女學生の間には思想の上からもまた身體發育のうへからも大分懸隔がありますが、殊に身體の發育ぶりはこの數年の間に變つて來てをり小學校最上級生の約三分の一は早月經が來潮してゐて、それが殊に夏中休み後に增加してゐると云ふのです、勿論この成長期にある女兒を持つ母親は相當心掛けて前以て驚かぬやうな注意も與へてゐられませうが、中には話してなかつたために子供が非常に驚く場合もあるのです、で成長期にある女兒を持つお母さん方のために田邊女醫は斯んな注意を促してゐます

今まで　月經は平均十四歲八ケ月、數へ年十五、六で來潮を見たものですが最近は人によつては十二歲位から來潮するといつたやうに大へん早くなつて來た傾向があります、身體が健康な人や暑いところより熱い地に住むものまた環境の刺戟により、上流階級の人とか、都會に住む人などは田舍に住むものより早く來潮するといふやうに各人の生活環境によつて違ふものです

月經が　來潮する前にお母さんはお子さんにその來る原因を話して聞かせ驚かないやうに注意される必要があります、來潮したら勿論お子さんはお母さんに相談して誤らないやうに指導して貰はなければなりませんが、お母さんは自分の經驗したこと、失敗した事などを話して聞かせ正しい手當を一通り教へて戴きたいのです殊に、何でもうるさがる時代で一日脫脂綿も交換しないで居る事があり勝ちですから不衛生にならないやう注意して下さい、血は少々黒味を帶び粘液のあるのが普通で黒いカタマリとか、眞紅な色をしてゐるのは異常があるのです、又來潮する日數は普通三日から七日で、三日より短いとか、七日以上もあるといふのは身體に異常があるためです

その他　月經困難症が相當女學生間にあるやうですが、これは子宮が小さいために、子宮發育不完全や腰を冷したために、卵巢、子宮に炎症があるため、子宮後屈のためといつた色々のことが原因してゐるのですが、女學生さん方が注意されてこんな場合はだまつて治療をうけません、お母さん早く專門醫に診察して貰ひ早期に手當をして戴きたいのです、すると早く治るものです

運動は　苦痛を感じない普通の體操でしたら差支へありませんが、ランニング、テニス、遠足のやうな過激の運動は避けさせます、この頃の女學生の洋服はスカートが大へん短いやうですが、これも下から洗濯したパンツに毛糸編のものをはかせられたらよいでせう

巾を利かす 絞り風 この冬の衣裳

絞り風のものが大分この冬の衣裳の上に幅を利かして來ました

▼…左上は帶地、地色は古代紫で總絞、菊の花は茶の京極絞で色調はかへし絞りだけにおとなしく、菊の花をふはりと出した所にこの帶の特徴を見せてゐます

▼…上右は美裳錦紗といつて地質はフランス縮に似て、表を艶消しにし、地風に引立たせるために山繭糸を縱糸に織り込み朱子のやうに見せた點で今までに見ない變つた趣きを見せてゐます、地色は薄墨を自然に素庵茶にぼかし、黒の葉に白茶の若松ののびやかなところを模樣化したもの

▼…左下は錦紗のしなやかさを持つた小波羽二重で、地色は赤味の茶色を帶びた狩衣茶でもみぢを絞り風に染め、水は判つきりとにじまさぬ樣に苦心したもので、もみぢは光琳納戸の濃い色、大柄の割にしつくりした若奧樣むきの長着

▼…右下は小波羽二重、地色は光琳納戸地で金糸、銀糸で細く橫に縞を入れ、白、赤、茶で松葉を水の樣に流したもので、二十四、五歲の若奧樣向の長着、いづれも大柄の割合に色調に落付きを見せたおとなしい向の長着です(三越調べ)

(49)

カナリアブナカツタヨ
オタガイニウンガイインダ
ドウナルカトオモヒマシタヨ
マックロデコンナオオキイモノナンダロナ
ツルツルシテノボリニクイ
マタアブナイコトニナラナイカナ
ハシゴガカカツテイルアンマリヨカナイーネ

小兒の食物(中)

—或母に訊ねられて—

大連醫院小兒科　松浦豊

肉類

問「肉類はどういふ物がよいでせうか」

答「肉類は蛋白質が非常に多いものですから是非必要ですが、魚肉でしたら大抵のものを上げてよいでせう。お宅のお子さん位でしたら柔く煮たのがよく、來年頃は鮃身も結構です。もうそろ〱鳥肉も挽いたのでしたら野菜類と一緒に煮て上げていゝでせう。牛肉はもう少し大きくなつて與へるやうになさい。牛肉は度を過ごさぬやうにするが肝腎です。とにかく今の所は魚肉が一番安全です」

問「肉のスープはどうでせうかれ」

答「あれは熱をかけて作るため蛋白質は沈んでしまつて、實際のところ味だけがよろしいので榮養價値は一般の方が考へてゐられる程あるものぢやないといふことを御承知願ひたいのです。二言目にはスープ〱とスープを非常に信仰してゐられる方が多い樣ですれ」

卵と牛乳

問「宅で鷄を飼つてゐますので此の子にも六つになる兄にも毎日食べさせてゐますがどの程度が適當でせうか。牛乳はいかゞでせう」

答「鷄卵はなか〱滋養があるもので牛乳以上です。しかし多過ぎてはいけません。下の方には日に一個位、兄さんには二三個位が頃合でせう。牛熟が最も消化し易いのでありますが、牛熟が厭でしたら燒いても煮ても差支へありません。牛乳は日に一二合程度で、間食のとき上げたらいゝでせう。とにかく、やれ牛乳、卵、肉と所謂滋養物ばかり追つて、肝腎の食事を忘れて了ふと聞きますよ。いゝ調理法が拙いと折角の養分を亡くしますから理想的には生のまゝ與へるのですが、大人と違つてさういふ譯にも行きませんから、煮て與へるとき煮汁を捨てないやうになさい。

野菜類

問「うちの子は二人とも野菜を一向食べてくれませんが、これでいゝものでせうか」

答「野菜を食べないぢや困ります。一つ食べるやうにしつけて下さい。野菜類のうちでは馬鈴薯、大根、人參、蕪菁、キヤベツ、ほうれん草、トマト等が主なもので す。野菜類には種々の鑛物質やビタミン類を多量に含んでゐますが馬鈴薯にしろ、ほうれん草にしろ、野菜類を始めて上げるときは必ず裏漉しにかけて與へられた方が安全です。豆類は蛋白質を澤山含んでゐますし、美味しいものですから、消化を妨げる外皮を取つて中味だけを與へるやうにしたらいゝでせう。兄さんにはそのまゝでよろしい」

葡萄酒のお風呂

美しい、ルビーのやうな色をした葡萄酒を一ぱい入れた、おふろに王子さまは入りました……といふやうなお話を皆さんは聞いたことはありませんか、とにかく葡萄酒のおふろなど申しますと大變ぜいたくなお話だと思はれます、ところがこれはハンガリーの山奥、レンチヘヂーといふ小さい村の出來ごとですが、最近この村のたつた一つしかない井戸がすつかり乾上つて水が出なくなりました、さあ大變です、そこでこの村では一番安くて、さうしていくらでもある葡萄酒を飲み水の代りに使ふことゝなり、とう〱しまひには葡萄酒でおふろをわかして皆が入つてゐます、これは決してぜいたくではなくしかたなしなので村人は大變こまつてゐるさうです

滿日各地版

在滿洲鮮農問題は生活の安定が根本
朝鮮總督府の方針

【奉天】滿洲各地に居住せる鮮人の生活と避難鮮人の原地歸還後の狀況視察のため朝鮮總督府から派遣されて來た楊在河事務官は瀋海沿線、南滿線を視察し十七日營口に向ひ十八日關東廳を訪問將來の鮮農移住にたいする協議を遂げ十九日蘇家屯より安奉線で歸任の途についたが、氏が調査の結果、在滿百餘萬の

鮮農 にたいする總督府の對策に關し具體的の最後案に參考資料となる模樣である、東邊道一帶に居住せる鮮農は約十二萬餘で事變以來生活に窮してゐるもの其の大部分であるから、將來滿洲に移住鮮人を送らんとすれば先づ現住者にたいする產業開發の指導と生活の安定を得せしめる必要あり總督府としては瀋海線の北山條鐵清源、海龍、南滿線は開原鐵嶺其他鮮人の多數居住せる地方には特に現在調査員を派遣してゐるが鮮農の衞生、教育の改善といかにすれば生活が安定し定住するかの點を調査中であるといはれ、其の

結果 により低利な產業資金を下附し信用組合又は金融組合を組織せしめ貧農を救濟する意嚮の如くである、吳奉天副領事は右につき語る

滿洲に鮮人が移住することは自然の趨勢である、舊軍閥時代にはあれ程壓迫されながら東邊道其他の各地に移動したのをみても判る、鮮農移住策としては滿洲へ來れば土地と資金を貸與するといふ條件さへ整へばよい、最初から移民豫算をもつてすることはどうかと思ふ、百萬の滿洲居住鮮人に對する根本策を日本當局が誤るならばそれは對滿政策の一大失敗となろう、この點吾人は愼重に考へねばならぬ各地には信用組合又は金融組合が設けられるかも知れぬが、それは

眞に 同情から湧いて出た指導がよろしきを得ぬと結局惡くすることもある

朝鮮總督府としては鮮人移住費其他に一千萬圓見當の豫算を編成するのではないかとみられてゐる

全滿健康週間 旅順の催し
寶探し講演邦樂舞踊

【旅順】全滿健康週間の催し中二十三日に於ける旅順の行事は衞生健康の普及實施を意味する上に屋外デーの一つとして行はれる「寶探し」は當日正午白玉山のモーターサイレンを合圖に豫て寶の埋めてある場所

第一場　白玉山南廣場（東本願寺上南道大鳥居先き）

▲第二場　昭和園前兒童遊園地内

の二ケ所に於て午後一時の振鈴合圖迄に探し當てるやうになつた小さい袋に入れて埋めてある見逃さぬやう賞品は昭和園ので御渡しする埋められた「寶」等賞用トランク、二等上下揃シヤツ一組の外以下三十等迄が待つてゐる、更に當夜午後卅分から開催される昭和園の演と邦樂、舞踊の夕べ」は…

音樂的美聲
春天驛のサービスに
乘客を喜ばす田尻君の聲

【奉天】奉天—奉天—これまでは驛員が鈴を打らして各車毎に放送してゐたが、擴聲放送を開始し、はと號が新京から着く五分前—「急行は一時三十六分着—四十分發、各自昇降口にお待ち願ひます—懷中物は特に御用心を」……と共れが雨の日でも雪の日でも美聲を張り上げて乘客へのサービス、特に田尻君の放送は音樂的であるといふので一般乘客の耳に非常に快感に傳へられるが、かうしたサービスの結果、混雜に乘じてスリを稼ぐもの、豫防となり、昇降の整理に、或は惡疫流行の場合果實類の車內持込み及至豫防注射の證明書のないものへの警告となり、めつきり小爺兒事項が少く一般被害の減少した功果を齎してゐる（寫眞は放送の田尻君）

落花生品評會褒賞授與式

【金州】金州落花生組合主催の落花生立毛品評會及同獎學會主催の通學學園立毛品評會の審査による褒賞授與式は十八日午前より南山麓果貨貯藏倉庫に於て行はれた參列者は大和田會長を始め三宅副會長、中富審査長、加世田市民會長、曹金州會長等日滿人約七十名…

中等校ラグビー廿日優勝戰
較中校庭で開催

東邊道各縣で和平大會
宣傳ビラ十萬枚撒布

營口健康週間

遼陽に於る健康週間

東邊道各學校復舊狀況

赤十字救護班取扱患者數

撫順警務騎馬隊匪賊と遭遇交戰
隊員一名戰死を遂ぐ

護身用の拳銃携帶を許可

金州農作物作況
蔬菜以外は概して不良

土井本通譯殺害さる

鞍山政治工作講演會

人質拉去犯人餘罪發覺

銃器保管令

撫順輸入組合歲末大賣出し

店の品を盜む

大石橋特產出廻狀況

鄭鐵梅等策動

旅順放送

各地片々

沿線往來

恐ろしかつたのは皇軍の機關銃

木戶錢を取つて見世物

滿鐵社員遭難奇譚

そこを出てから後は毎夜場所をかへるのでやりきれなかつた、長い間馬賊と生活してゐる間に彼等の氣持も判つて來た、彼等は日本軍の討伐を何より恐れてゐる、吾々は人質であるから殺さないと言ふのがはつきり判つて來た、さうなると最初日本軍の彈に中つて死にたいと思つてゐたのが反對に日本軍が恐ろしくなつた、討伐隊と交戰中流彈に中つてはたまらぬと言ふ氣がして來た、然るにとうとうその時が來た、九月三日之も何處か場所はよく判らぬが七家子から四キロ位の地點だらうと思ふ、據前方の岳や木の陰から

突然日本軍 の機關銃の猛射を受けた、その時の逃げたこと無我夢中だつた、この時が人質生活中一番恐ろしかつた、逃げ乍ら吾々が考へたことは日本兵が近づいて來たら何か合圖をしやうと言ふことゝ、突然斃れて死んだやうに裝つて日本軍の中に逃げ込まふと言ふことだつた。その內に日本軍の射擊から逃れた吾々は森の中に入り込んだ、そして三日三晚森の中で暮らした、地上に草を敷いて寢かされるのだが寒さと蚊とには何といつてもつらかつた、賊は日本軍は必ず襲擊するからと言つて夜十二時頃出發して翌朝までには必ず目的地につくやう

眞夜中の旅 行を始めた九月廿三日に吾々は又舟に乘せられて呼蘭河を下り始めた、十何時間舟に乘つて途中一泊し翌朝豪雨の中を徐家附近の民家についた、火をたいてやうやく身體を溫めたが寒くて全く口もきけなかつた、暫くすると頭目が路傍の物陰にれろと言ふ、れてそつと外を見たら一隻の發動機船が全速力で走つてゐる、よく判らなかつたが白い旗であつたから日の丸だつたかも知れぬ越えて二十七日耳をさくやうな音がして部落の附近に

砲彈が落ち た、續いて二發三發、最初は部落の前方に、二彈は後方に、次は左右にと言ふ具合で吾々は砲彈の中に包圍され賊達も騷ぐ丈けで逃げる術も知らない、勿論日本軍の砲擊だが丘の向ひ側から擊つてゐるのにあまりに照準が正確なので自分の危險も忘れて感心したものだその內頭目は人質係りは舟で逃げろと言ふので又舟に乘せられたが、吾々が舟に乘ると同時に一彈は間近に落ちしぶきが吾々にかゝつた、私（山內）は考へて見ると二十七日は母の命日だし、とても助からぬと思つて

念佛を唱へ てゐた、この砲擊で一名死し二名負傷した、その後吾々は又々呼蘭河を下り途中飛行機が上空を通つたのでひやひやした、そして三十日夜松花江に入つた、この時も他の馬賊からは射擊され危險な思ひをした、十月一日吾々はハルピンから三里、太平橋の一民家に入つた、一方は傅家甸の地續きでわが守備隊もゐる、他方は韓家棚と言ふ馬賊の巢窟でその中間にある部落である、十月二日から吾々の縛も解かれたし、食物も至つて上等になるし、一日二三時間づゝ散步もさせる

優遇振り でした、それから四十日は食ふことゝ寢ることだけで徒然に苦しんだ位であつた。拉致されて以來吾々があちこちと引廻されてゐる間に古參や新參澤山の人質が來たり歸つたりした皆支那人であるがこの慘酷振りには全く呆れ返つてしまつた、天秤棒を背負はせて縛し、胸や腹をなぐる、交涉人でも來るとまたひどいことをする、それから見ると吾々のは實に樂なもので、賊は吾々を引廻し乍らも日本人だと言ふことゝ、學問のある人だと言ふ輩破は捨てゝゐない、だから苦しめたら身代金が增える譯でないと言ふやうな考へを持つてゐる

實に滑稽だ つたり腹が立つたりしたのは部落につくと賊は日本人の人質だと言つて振れ步く、部落民は賊と顏見知りだから別に恐れもせずにジロジロ見に來る、そして賊は何を食ふとか、寢る時はどうして寢るとか、言葉はどんな言葉だとか珍しさうに聞いてゐる、それを身振り手振りで說明してゐる、丸で見世物である部落では見料をとつて見せてゐる女や子供が一番澤山見に來た、然し太平橋に來てからは極樂寺の屋根が見えるし、ハルピン市中の工場の煙突が見え、夜は

ハルピンの燈 火がよく見えるので捕はれてゐるやうな氣がしなかつたが、然し交涉がどうなつてゐるのか賊は一切知らしてくれないのでそれが一番もどかしかつた、今度無事に救出されたのは全く皆樣の努力の結果で、心配をかけたり御骨折りを願つたり感謝で胸が一杯です＝終り（ハルピン支局）

日滿兩國警察官が火華を散らし大激戰

遂に日本側に凱歌

齊々哈爾の劍道試合

【チチハル】武威八荒に輝く皇軍が步武堂々と省城に入城して以來チチハルには色々珍しい企てが次から次へと行はれる樣になつた、これも確に其類の一つであらう、日本の警察と滿洲國の警察とが源平に分れて劍道試合が行はれた、時は十三日の日曜正午から場所は在チチハル日本領事館警察署道場田川部長、秋藤憲兵隊長外多數諸氏の觀覽者も定刻迄に來會し、兩軍戰士は未だ戰はざるに既に極度の緊張を見せてゐたが戰ひの進むに隨つて次第に白熱戰と化し、幾分警察署側優勢裡に進行したが警務廳庭川四段の出場するに及んで初段二名を輕くなぎ倒し山元二段と白熱戰を演じて引分けとなつたもの、大勢を挽回愈々中島弓野兩大將の會戰にこぎつけた、斯くて勝敗の決定を一身に負ふた兩將は水も洩らさぬ構へに滿場の參觀者に片唾を呑ませ火花を散らして戰つた結果、一勝一敗となり最後の一戰には弓野四段が中島四段を破つて凱歌を奏した成績左の如し

警察署		警務廳
○吉田初段	二—一	遠藤初段
分吉田初段	一—一	餘越初段
○高山初段	二—一	本鄉初段
高山初段	一—二	庭川四段○
高島二段○	—二	庭川四段○
分山元二段	一—一	庭川四段
○弓野四段	二—一	中島四段

滿鐵が救濟金一萬圓下附

鐵嶺全市の請願に對し

【鐵嶺】今回滿鐵々道部の運輸機關の蘇家屯集中に伴ひ鐵嶺の機關區其の他機關の移轉或は縮少の結果滿鐵社員の轉出に依り各地市況の受けた打擊頗る多大にして鐵嶺の市中商人は殊に飲食店經營を悲觀するに至り滿鐵に對し之が代償として救濟策を施されたしと幾度か請願したが其の後滿鐵側では右影響に關し詳細調査を遂げた結果鐵嶺全市に對し現金一萬圓を救濟金として下附されることゝなり十八日午後商工會議所樓上に在鐵市民有志を召集し前田地方事務所長より右の旨發表した市民側では此の滿鐵の厚意を深謝すると共に一萬圓の活用に就き今後市況振興會に於て愼重研究し當市繁榮資金として最も有效に使ふことゝなる模樣である

東豐縣城に新興の氣漲る

賊影沒し治安確立

【鐵嶺】東豐縣城は今夏以來兵匪の襲來を蒙り市況は衰微し治安は亂れ城民の生活は非常な脅威を受け憂ふべき狀態にあつたが今月初め我が飛行機○機の入城、賊討伐に依り賊影を沒し治安確立し城內平穩に復し各戶には日滿兩國旗を掲げて滿洲國らしい新興の氣が漲つてゐると

滿俱の割引で床屋さん大恐慌

結束し滿鐵當局に嘆願

【鐵嶺】鐵嶺の理髮業者は六軒で團結共榮のために同業組合を組織し料金その他の規約を設けてゐるが同組合員にして滿鐵俱樂部內で營業してゐる理髮店では滿鐵クラブ員に限り市內料金の二割引で營業したり此の結果市內理髮店へのお客は非常に少く滿鐵社員と云へば殆ど滿鐵クラブ員であり而も右俱樂部には一般市民も加入するの傾向を示すに至つては市內理髮者の受ける打擊は益々大きくかくては猫額の當市に於て此の制度永く存在せば自滅の外なし故に二割引の高率を引下げ一割引の制度を以て營業する樣市內同業者は滿鐵當局に嘆願してゐるが之が解決は各方面から注視されてゐる

ランプで通した鳳凰城に電燈

滿電で開通披露宴

【鳳凰城】永年間ランプで通した當地に本月初から電燈がついて警備上には勿論のこと一般在住者は初めて文明の灯に惠まれたと大喜びであるが滿電安東支店では來る二十二日午後五時から當地在住官民を驛前小林旅館に招待して披露の宴を張る由である

渡邊巡查表彰

【旅順】十五日夜旅大南道路[illegible]殺し犯人[illegible]を逮捕した牧城驛派出所渡邊巡查に對し旅順署では十八日朝署員一同講堂に集合冷酒にスルメで成功祝盃を擧げ署長より金一封を贈與表彰した

鳳凰城々內警備移管

【安東】鳳凰城々內は從來安東警察署の管轄に屬してゐたが、關東廳が鳳凰城に警察署を新設して以來は事實同署（鳳凰城）に管轄される事となつたので安東署では打合せの結果同城內は近く鳳凰城署管下に移す事となつた、即ち鳳凰城署に領事館警察署を新設する譯である

鴨江剿匪隊功勞賞

十四日傳達

【安東】東邊道討伐に當り日本軍と協同動作をとり輝かしき勳功をたてた鴨江剿匪軍は今般解編されたが、奉天警務廳では同軍の戰死者三十名、負傷者四十六名に對し功勞の賞狀並に慰藉金一封を贈るところあり、十四日午後一時より警務局に於て夫れ夫れ傳達された

通學々生急行便乘歎願

【金州】急行列車に便乘差支なしと云ふ特定が無い爲勉學上にも健康上にも且家庭的にも惠まれてゐなかつた金州――大連間通學々生の苦惱に對し竊に保護者代表から滿鐵に歎願して之等學生を救ふべく傳へられてゐたが愈々十六日午前八時半の列車にて加世田市民會長、中山小學校長、山口視學の三氏が代表として滿鐵を訪問すべく願書を携へ赴連したが近く希望通り諒解あるものと見られてゐる

鄉軍警備團解散す

【四平街】去る十一日以來連夜の如く當市治安維持の爲め、夜の四平街を警戒してゐた在鄉軍人警備團は十七日夜も高木氏等六十餘名應召、中隊を編成し、所定の部署に就きて警備を開始したが午後七時頃○○地區の掃匪も一段落着き狀況上最早警備を必要とせざる旨警備司令より命令があつたので、本部にては直に各小哨に警備解除を通達し、一同本部に集合を待つて佐藤團長より連夜の勞苦に對する謝辭があり終つて熱誠溢るゝ市民の慰問品に舌鼓を打ちつゝ解散し此處に全く終末を告げたが、這回の應召に際し一部の不心得者を除く他一週間もの長時日に不拘終始一貫緊張した氣持で警備に任じ四平街を窮地より救つた團員諸氏の行動は心あるものを感服せしめてゐる

東野氏遺骨

【四平街】十家堡匪賊襲擊事件の犧牲者の一人東野善作氏の遺骨は十七日午前十時四十九分發急行列車にて遺族に護られ內地歸還の途に就いたが、驛頭には滿鐵社員を首め多數市內有志の見送り人があつた

利光氏慰靈祭執行

【開原】十七日午後一時開原寺に於て元開原驛長利光正路氏の慰靈祭を執行し冥福を祈つた

洋畫展覽會

【安東】晚秋を飾るに相應しい第六回安東洋畫展覽會は愈々來る十九、二十の兩日山下町滿鐵社員俱樂部で開催されることゝなつた

本田警部赴旅

【鳳凰城】鳳凰城署本田警務主任は旅順に於ける殉職警察官招魂祭に參列のため二十日朝急行で赴旅した

川本警部赴旅

【鐵嶺】鐵嶺警察署警務主任川本警部は十九日旅順で執行される殉職警官招魂祭參列のため十八日午後零時廿六分發特急で赴旅した

わかもと

生物ヘーフェ療法の偉力

恐るべき慢性胃腸病の恢復

恐るべきは慢性胃腸カタルである。腸内に發する毒素は血液中に循環して全身を衰弱せしめ、精力を減退し、早老々衰を早め、貧血、神經衰弱、結核病、腦溢血等を誘發する――恐るべきは病魔の深淵、胃腸疾患である。

然るに、喜ぶべし、日進月歩の醫學は極めて容易に此難症を救治する方法を敎へた。

――胃腸病專門の泰斗として著名なる巴里醫師會々長ルネ・グートマン博士は、レディース・ホーム・ジャーナル誌に次の如き發表をなした。

『余は腸疾患に惱む患者にヘーフエ菌劑を投與して驚異的な成果を得た。腸內發生物による中毒は、早老、疲勞、悒鬱の最大原因であるが、余は之等に對してヘーフエ菌劑の使用を推奬する。またヘーフエ菌劑は活性力を有する生物學製劑であつて、腸內の廢棄殘滓を透過緩和し、腸機能を賦活するにより、習慣性を與ふる在來の下劑に代へ理想的なる快便を得さしむる』

歐洲に於ける代表的醫學者、墺國維納のアルベルト・ヴエー・バウエル博士曰く『ヘーフエ菌劑は消化作用を促進し、腐敗醱酵を制し、胃腸の諸障害を防ぐ、その効果は組織全般に及び、殊に便祕を永久に癒すにはこれに優るものは無い、これはヘーフエが疲憊せる腸の內壁を强め、機能を振興させるからである』(イースト・テラピー處載)

フランクフルト大學顧問、カルル・フオン・ノールデン博士は、ヘーフエ菌劑を胃腸疾患に處方して驚異的成績を得たる旨を發表した。即ち(イースト・テラピー處載)『ヘーフエは消化器官細胞を賦活する强力なる作用を有し、消化液、胃液のみならず、膵液の分泌をも催進し、且つ强力なる腸管內防腐殺菌の効果を有す』と。

我が國に於て代表的と見做さるるヘーフエ菌劑たる東京帝國大學澤村名譽教授發見の新藥『わかもと』が、醫科大學、大病院並に一般醫師の處方により、各種の治療に頑强に抵抗した痼疾の慢性胃腸カタル、胃酸過多症、減酸症、胃潰瘍、胃アトニー、胃下垂、胃擴張、常習便祕、慢性下痢、食慾不振の諸症を快癒せしめた實例の多きには胃腸病治療界の注目を惹きつゝある處である。

而して、それが單に胃腸病より發する場合のみならず、結核、熱性疾患、各種傳染病等、胃腸衰弱を伴へる諸症に用ひて、その衰弱を恢復し、全般的の治癒を促進せしむるの特徵は『わかもと』の如き、榮養、消化、殺菌、强壯の綜合的効果を營むに勝れたるヘーフエ菌劑にして初めて可能の効果であらねばならぬ。

澤村名譽教授發見・專賣特許＝新藥

結核患者の食慾不振と發熱に

結核患者の食慾不振と發熱は、結核菌の毒素と異常代謝生物の中毒並に刺戟現象に原因するものであることを熟知せる醫家が、結核患者に單なる食慾催進劑及び下熱劑のみを與へて足れりとせざるは理の當然である。――即ち、單なる食慾催進劑は一時食慾を恢復することありと雖も、結核性食慾不振の原因を治癒する作用には乏しく、又單なる下熱劑ではその藥の作用の續く限り體溫は止め度なく降り、その爲往々にして心臟衰弱や虛脫の危險を伴ふ。然るに『わかもと』は結核菌の被膜脂肪物質を

溶解して病原作用を喪失せしめ、結核自體を治癒に導くを以て結核に原因する食慾不振、並に發熱は結果的に解消して食慾亢進し、平熱に復歸するに至る。然而、食慾の恢復と發熱の解消は結核を治癒轉歸に向はしめる二大要因として醫家の均しく重視する處である。

特に 小兒消化不良に

乳小兒の消化不良は、主としてお乳の過飲、不良牛乳、不消化な食べ物による腸內の異常醱酵や中毒に原因するものであるが、また容易に腸內の有毒菌に侵されて、その症狀を惡化するもので、乳小兒全死亡率の過半數を占める怖ろしい病氣である。ヘーフエ菌劑『わかもと』はこの乳小兒を苦しめる消化不良に對し、最も安全で絕對に副作用を伴はざる理想的な治療劑として、醫家の賞用を博してゐる。『わかもと』を消化不良、下痢、血色惡しき者、發育不良の虛弱小兒等に投與する時は、下痢は良便に代り、血色を增し、衰弱は恢復して、體重增加し、發育の促進する例の夥しきは多くの醫家の經驗する所である。

藥價低廉

粉末 三十日量 九〇瓦 一圓六〇錢 用量一日三・〇瓦

發賣元 東京市芝公園大門內際 榮養と育兒の會 電話芝三三八・二二六五番 振替口座東京一七〇〇番

海外代理店 三井物產株式會社

支店・出張所所在地 大連・奉天・長春・吉林・ハルビン・天津・北京・靑島・上海・漢口・廣東・香港・サイゴン・マニラ・シンガポール・カルカッタ・バタビヤ・スラバヤ・シドニー・メルボルン・孟買・倫敦・紐育・桑港・シヤトル

WAKAMOTO

一類新一特許專賣

榮養醱素劑 わかもと

Application: Nutriment, suitable for chronic gastric and intestinal disease, nutritive hindrance, nervous prostration and beri-beri. Specially stimulates appetite wonderfully.

Dose: 10-15 gr. (4-6 tablets) 3 times a day

EIYOTO-IKUJINO-KAI SHIBA PARK, TOKYO.

MADE IN JAPAN

銃聲、悲鳴の中に恐怖の第一夜

領事館早くも包圍さる

滿洲里事件日誌(一)

山崎領事の手記來る

【寫眞は山崎領事】

去る九月二十七日突如滿洲里で起つた護路軍の兵變とこれに續く邦人の監禁殺害事件は各方面に多大の衝動を與へ爾來二ケ月同地の邦人は過般婦女子が露領マツエフスカヤに避難することが出來たが殘餘の邦人は依然同地に監禁されてをり、しかも同地との通信はロシア側の好意によりモスクワを經て報道されるのみ、監禁されてゐる邦人の消息は斷片的に知るを得たに過ぎず、殊に事件突發直後における詳細な狀況は一切不明であつたが十九日マツエフスカヤに在る大谷副領事より新京全權部に達した山崎滿洲里領事の事件經過日誌によつて一切の事情が明瞭となるにいたつた卽ちこれによつて事件以後護路軍のとつた行動、邦人が監禁された經緯及びその後の情況が一切明らかとなつた山崎領事の手記左の如くである【新京電話】

九月廿七日(夕刊つゞき)然るに護路軍側にては既に準備整ひ門前より警察隊の前面まで數條の防備線敷かれ、警察隊前面の家屋を防壁として既に處々より砲擊す、鮮回の連絡線を突破し辛うじて護路軍側の一時發砲中止により警察隊前線の道路近くまで進みたるが、再び護路軍側よりも猛射し到底前進不可能なりしをもつて同書記生は司令部の宇野隊長より再び充分なる電話連絡をとる必要上やむなく司令部に歸來した

騎虎の勢ひ次第に惡化し遂に收拾すべからざるに至るを恐れ遂に全員擧つて本件解決のため戰場に赴くことを中止し、本官のみ人質格にて司令部に殘留することゝなりたるを以て用事濟み次第福間書記生を館務後始末のため歸還せしむべき約束の下に宇野隊長、小原大尉、福間書記生及び吳司令、鈕團長は共に司令部を出たり、途中護路第二防備線にて形勢を觀ふと共に宇野隊長一人のみ歸隊、武裝解除につき館員を說得せしむることゝなり同隊長は戰線を潛り辛うじて歸隊するを得たり、小原大尉、吳司令の兩名は同道して間もなく司令部に歸來す、福間書記生は

先約に基き吳司令の許可を得、兵士二名に護られて途中數ケ所の防禦線を突破し領事館に辿り着きたるも館內寂として聲なく門扉開かず領事館を包圍せる惡化支那兵のため館前にて數百の狙ひ擊ちを受けたるも危機一髮にて難を免れ約一時間附近の特別警察署に拘禁せられたるがその後兵士の厚意により漸く領事館近くの日本ホテル橫道より歸還、連絡をさることを得たり、間もなく約二十分許り遲れて本官も歸館したり、時に午後四時二十八分

全部の邦人家屋は一物も餘さず掠奪

領事館は猛射を受く

これより先、本官等司令部に向ふや、早朝何だか雲行き騷しき形勢に鑑み松井署長は鹽崎巡査に護衞を追ふたり、更に周巡査をして兵營方面の視察を命じ自轉車にて出發せしめたり、之れより二十分後には領事館は支那兵のために包圍に當らしめたるが既に馬車出發後なりしを以て兩巡査は徒步にて後

せられ室內よりのみ勘定して四十發(外部を通算せば百發以上に上る)の猛射を浴び僅かに六名の警察官をしては本館は守備廣きに失するを以て館內一隅の二階に諸員を

集結し侵入し來る支那兵に對し防禦の決心をなしたり、同時に間庭書記生は中澤巡査と共に電信符合を燒却し二階に籠りたるが階上に集るものは館諸員の家族將校夫人を合して三十一名に過ぎずその殆ど婦女子なるのみならず數挺の拳銃を以てしては到底戰ふこと覺束なきを以て最後の決心をなしたるが形勢觀察に赴きたる周巡査は停車場內(海關員、警察隊員多數勤務してゐる)の武裝解除に向ひたる支那兵の發砲に會ひ急遽踵を返し諸所轉々避難し漸く窮地を脫して午後二時半頃歸還し外部の狀況を報じたり、間もなく福間書記生歸還し警察隊の武裝解除を傳へたるを以て

防禦に寸效なきを知りたる松井署長以下六名の警察官は、拳銃を棄て無抵抗主義をとるに至りたり

次で本官歸來すると共に館諸員を督勵し印及び機密書類を燒去す、この際電話は支那側の命令にて連絡出來ず當館重圍にあることゝて往來自由ならず一步門外に出れば銃劍を着けたる支那兵のため妨害され全く籠城の實況なるより已むなく密使を裏門よりソ聯領事館に派し引揚げの交涉を開始したるもソ聯領事館は支那側の歸國許可あり次第何時にても列車の準備をなすと云ふも如上の有樣にて引揚不可能なり、午後五時半將卒數名館內銃器取締のため

來館各所を檢査す當館警察署員私物拳銃四及び當館備へつけ拳銃五挺計九挺及び同彈丸を

それより各日本人家屋の銃器檢査を行ひたき旨申出でたるを以て邦人救出並に被害狀況調査の唯一の機會なりとし早速周巡查に依賴し民會長を隨行せしめ一道街、二道街、三道街の邦人家屋の家宅搜索に立ち會ひたるも兵士は多くは現場搜査より掠奪に變じ當時殺氣立つたる兵に對しては拱手傍觀全く策の施し樣なく邦人家屋全部一物をも餘さず掠奪されたるが邦人は四道街五道街の居住者を除き殆ど全部館內に收容することを得たるは不幸中の幸なり、周巡査一行はかくて一道街、二道街、三道街の家宅搜明せり

査に立ち會ひたる上司令部に

連行せられ漸く二十八日午前十一時歸還せり、一方警察隊側は宇野隊長の命令に基き全員の武裝解除を行はれ警察隊事務所に監禁せられたるが宇野隊長は武裝解除を終るや再び司令部に連行せられ小原大尉と共に本官の退出後約一時間遲れて小原大尉宅に送られ拳銃携帶の嚴重なる兵士數名家內監視の下に同家に一夜を明せり

夜に入るも鹽崎巡査歸來せず且つ四道街、五道街方面には銃聲轟き悲鳴混り、更に當館の周圍は數十名の武裝支那兵のため包圍せられ極度の恐怖に全員徹宵警戒一夜を

一先づ領事館に邦人を收容

支那兵領事館で掠奪

九月廿八日 領事館護衞と稱する數十名の支那兵は領事館を包圍し自由外出を妨害し館外に一步も出さしめず郵便電話の通報は二十七日の事變發生當初より嚴禁せり、午前十一時梁中校來訪、依つて四、五道街方面の居留民並びに警察隊家族の領事館引揚げを實行すべく梁中校に周巡査、白井茂七、平島七助兩氏をつけ支那兵の掠奪暴行する邦人家屋を順次歷訪して收容の任務を遂行し着々と護衞不足にて着のみ着のまゝに領事館に避難せしむ

午後二時十分日本の飛行機館上空に飛來す、當館に集合せる全員中庭に出で國旗を地上に擧げて無事なるを示す、二時半ソ聯領事に對し歸朝の途にある廣田大使をチタより滿洲里にその他邦人旅行者の浦鹽迂廻歸國方を然るべく取計ひ方辛うじて電話にて依賴す、これより先正午鈕團長來訪に際し小原、宇野兩氏の動靜並びに當館に護送方を申込みたるが三時ごろ吳司令より小原大尉宇野隊長を小原公館より領事館に護送する旨話あり時を移さず護送し來る、吳司令に對し居留民の行方不明者搜査並に拘留者引渡方を書面にて交涉す

九月三十日 正午某排長兵二名を率ゐ領事館の武器檢査をなすべき旨申出たるにつき承認したるところ直ちにブローニング拳銃のサックを外し打ち振りながら館內各室を搜査し間庭書記生官舍にてグローキー及指環、女持時計、帶止め、寶石類等價格約一千圓を强奪し去る、午後四時ソ聯領事より哈大洋三千元を送り來り受領す、內千元を海拉爾出張員に送付方を依賴せり、午後食料品買ひ入れのため支那兵護衞の下に民會より二名を市場に派遣す、夜間某滿海少尉が來館、頗る橫柄なる態度にて暴言を吐きたるもこの際手を下すべき方法なく圓滿に取扱ひ歸隊せしめたり(つゞく)

新嘗祭の佳き日に賑かに戶外デー

澄み切つた青空の下電園で健康週間の大催し

無料健康診斷並に齒科診斷と共に本社の健康週間中の大催し物として、來る廿三日の新嘗祭の佳き日を卜して、澄切つた青空の下、薰る電氣遊園に於て、華々しく戶外デーを催すことゝなつた、而ふ約半年の間、閉め切つた二重窓と煖房の溫氣の內に、不健康な蟄居生活を續ける在滿邦人に新鮮な空氣と戶外に親む習慣を植え付けるべく計畫されたものであるが、當日は電氣遊園內に於て本社苦心の變裝者搜し、及び寶搜し等を行ひ、寶搜しは總桐タンスその他二百個の賞品を出し、變裝者搜しは一等より五等まで夫々賞金を出す筈で新嘗祭一日を戶外に於て如何に樂しく過ごすか、本社事業部では連日策を練つてゐるが、詳細の計畫は日を逐ふて發表する筈であるが、當日は旅順に於ても戶外デーが催され、種々興味ある催しが行はれることになつてゐる

新京の健康診斷醫院を增加

二十一日から開始

十八日以來各地に一齊に開始された本社主催の健康週間は新京に於ても甚だ好成績を擧げ殊に健康診斷は新京滿鐵病院に於て之を施行してゐるが同病院は多忙を極めてゐる上に二十日、二十三の日曜、祭日は休診日に當るため健康診斷は結局二十一、廿二、廿四の三日間それも午後一時より一時半までの三十分間の外は行へずこの三十分間では三日間を通ずるも僅々六十人餘の少數に對して健康診斷を行ひ得るに止まり、健康週間の主旨にも反する憾みあるについて新京滿鐵地方事務所では市內左記の各齒科醫その他開業醫師に健康診斷の施行を依賴したところ直にその快諾を得たので廿一、廿二、廿四の三日間毎日午後一時より二時半まで健康診斷を施行することゝなつた

淸水齒科醫院、安谷齒科醫院、安利齒科醫院、小澤齒科醫院、松崎齒科醫院、早川齒科醫院、堀山產婦人科醫院、杏林堂醫院(小兒、內科)濱田醫院(外科、皮膚科)鬪島醫院(小兒科、內科)普生堂醫院(內科、小兒科產婦人科)同仁醫院(皮膚科、泌尿科、性病外科)康生醫院(一般)松木醫院(內科、小兒科、性病科)中市醫院(內科、小兒科、產婦人科、花柳病科)【新京電話】

奉天の健康診斷

健康第一をモツトーに健康增進を目的とし第二回全滿健康週間は滿鐵地方部及び本社主催の下に十八日から全滿鐵病院において一齊に開始されたがこれと共に奉天においても滿洲醫大醫院においてこの健康週間期限(日曜祭日を除く)毎日午後一時より同三時までこの診斷を無料で行ふが希望者は遠慮なく奉天事務所地方課社會係で證明書を貰ひ醫大醫院に行けば外科皮膚科を除く外健康診斷を受けることが出來る【奉天電話】

健康相談所移轉

遞信局健康保險相談所並に同診療所は現在の場所が裏町の愛宕町にあり地域關係上適地と云はれないのみか建築物も通風採光の便惡く而も陰氣で出入の患者もあまり愉快としなかつたので今回これを常盤橋西公園町に面した內田醫院あとに移轉する事に決定、既に修繕工事に着手したので今月末までには實現する事となつた

新嘗祭に大連で劍道大試合

有段者の優勝刀爭覇戰及び第四回州內外對抗戰

滿洲劍友會主催の第八回全滿洲劍道三段以下有段者優勝刀爭覇戰及び第四回州內對州外四段以上優勝刀爭覇戰は來る二十三日午前八時半より大連滿鐵道場に於て舉行するが三段以下の爭覇戰は前年度優勝者滿洲醫科大學以下二十七組の參加あり、醫大一組、若葉一組、滿鐵A組、大連道場一組等優勝候補に擧げられて居るが混戰を豫想されて居る、又四段以上の州內對州外の對抗戰は全滿の劍豪を網羅し州內軍三年連勝の記錄を殘して居るが本年度は州外軍强しと評され雪辱するのではないかと期待されて居る、州內外戰出場の團體名及び劍士左の如し

◇團體爭覇戰 鞍山體育協會、遼陽體育協會、旅順工科大學、武德會滿洲支部、營口武道獎勵會第一組、營口武道獎勵會第二組、關東刑務所、滿洲醫科大學A組、滿洲醫科大學B組、四平街劍道部、安東警察署、撫子高警察署、若葉會劍道部一組、若葉會劍道部二組、瓦房店劍道部、奉天劍道部一組、奉天劍道部二組、遼西劍友會、大連警察團、大連商業學校、撫順體育協會A組、撫順體育協會B組、新京滿鐵支部劍道部、大連道場一組、大連道場二組、沙河口道場、旅順警察署

◇州內外爭覇戰【州內軍】五段渡邊多江知路(滿鐵)同和田晉(南滿工專)同星野仙藏(大連市中)同高野慶壽(大連商業)同中西俊樹(大連二中)同奧川金十郞(沙河口警察)同石橋洌(旅順警察)同高橋二同安齋多一(旅順警察)四段永芳繁太郞(旅順警察)同赤塚明男(大連市中)同熊本政之(滿鐵)同竹下榮治(滿鐵)同菅原惠三郞(滿洲日報)同畑中中(滿洲ペイント)補缺五段辻丸靜雄(小崗子警察)五段柴田末藏(普蘭店警察)四段稻勇(大連一中)【州外軍】五段渡部行治(大石橋警察)同紫藤藤巳(鞍山警察)同十川猶市(滿洲醫大)同野中淸治(奉天警察)同佐藤重藏(撫順中學)同竹村秦十(撫順警察)同黑田吾一(撫順警察)同橫山信太郞(鐵嶺警察)同山口安男(滿洲國)同川又淸(新京警察)同淵田兼之(本溪湖警察)四段黑岩盛高(奉天道場)同井上義人(滿洲國)同可兒廉平(奉天警察)補缺五段守屋剛三(撫順)同柿崎啓一(奉中)四段增田六郞(鞍山)

早慶戰

早大先づ勝つ

【東京十九日發】早慶野球一回戰は秋晴れに惠まれ十九日午後一時半神宮球場で野本(球)脇田、桝、長濱(壘)四氏審判早大先攻に開始された、さすが歷史的興味を掛けられた大試合とて觀衆は立錐の餘地なき盛況で貴賓室には賀陽宮、同妃、朝香宮、同妃、伏見宮各殿下鳩山、永井兩相も見え久し振りに球場を湧き立つた、試合經過左の如し

早	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
慶	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

△第一回 早三原四球佐伯の投手バンドは投手三原を封殺せんとされたが杉田屋の二觸に佐藤さ併殺を喫す◆慶井川左前安打二盜成つたが土井投前で二壘を藤二壘に牽投伊達三振の後佐藤二觸失に生き一死滿壘の好機に惠まれ遊擊への送球に刺され水谷捕邪飛小川三觸に土井二壘に封殺さる

△第二回 兩軍無爲

△第三回 早福田三壘直球を川瀨顛倒して好捕、三原二觸、佐伯三飛◆慶一死後牧野四球に出で井川の第一球に二盜なりしも井川二飛、土井二飛に止む

△第四回 早、伊達中右間に三壘打して出たが佐藤二觸後杉田屋二球目をスクイズと見せて伊達離壘するを捕手三壘に送球タッチアウト杉田屋中飛◇慶水谷に代る中山二壘右を拔く安打に出で二盜にさきさる時小川四球に出たが續かず

△第五回(慶應平桝左翼に入る)早二死後小林左翼線に二壘打したが福田遊匍◇慶無爲

第六回 早三原遊匍失に生き佐伯

伊達安打三原二壘より生還佐伯三壘より本壘を突き刺され佐藤杉田屋凡退◇慶井川の大飛球中堅好捕後土井四球平桝の代打灰山遊匍し土井封殺灰山の代走

△第七回 兩軍凡退 高橋二盜ならず

△第八回 早一死後三原二壘打に出(慶應上野退き岸本プレートに立つ)佐伯三壘後方にテキサスするも進まず伊達四球で滿壘のチャンスとなつたが岡見の三壘直球に併殺◇慶凡退

△第九回(慶應岡一壘)早杉田屋遊匍失馬捕前ゴロ川瀨轉投して生かし三浦遊匍で失馬封殺小林三觸◇慶井川三振大澤中飛九里中飛に慶應の攻擊も効なく一對零で早大一勝し閉戰同三時廿二分

早	三原	佐伯	伊達	佐藤	杉田屋	小林	福田	三浦	馬
	6	4	3	7	9	8	2	5	1

	打數	安打	得點	盜壘	三振	四死	犧打	失策		
	34	1	7	0	2	1	2	0		
慶	井川	土井	水谷	小川	中山	上野	川瀨	牧野		
	7	4	9	2	3	8	5	1	6	
	26	0	2	0	2	4	4	4		

(慶大)土井のP H大澤水谷のP H中山、平桝9に入る、平桝のP H灰山、高橋9に入る、高橋のP H九里、岡中村に代る、岸本上野に代る(早大)岡見佐藤に代る

三業組合內紛

菊田氏折れず

……ンスホール設置の總會決議無效確認訴訟は取下げられるものと見られてゐたが、遂に菊田氏は意志を飜すところなく明春一月二十日第一回の準備手續きが行はれるに決定した、一方三業組合では菊田氏がどこまでも法廷で爭ふ以上組合平和を亂るものとして除名處分に附するに態度決定し近日中に總會開催の運びとなる模樣である

が、菊田氏は大連警察署長の調停により菊田鉢之助氏が大連地方法院民事部に提出中の三業組合を相手取るダ

全滿日本人對時局大會

本日午後一時より

於協和會館

川村家の御家騷動

遺產をめぐつて未亡人と故人の弟妹とが訴訟、告訴の追ひくらをしてゐる市內西公園町資產家川村義郞氏一家のお家騷動は旣報の如く故義郞氏の實弟等三氏側が大連地方法院に申請中の財產假差押へ及假處分が十八日附決定となつたので等三氏側關係辯護士山田氏は同日午後十時執達吏員と同行トラックニ臺で川村家に乘りつけ南滿倉庫に保管轉換すべく家財道具の運び出しを開始してゐる

哀れな少年

水上署に泣つく

十九日襤褸の樣に疲れた身體を引ずり乍ら水上署に「內地に歸らして下さい」と泣き込んだ少年長崎縣下京町生れ石丸喜八三男錦三郞(一六)で永らく撫順中央大街新井寫眞館に雇はれてゐたが餘り同館の妻女が酷使するので居たたまらず家出したもので

交通地獄の注意を喚起する

來る廿一、二日兩日間

スピード時代が生む街頭の慘禍は年と共に增し本年十月末までの大連市內における交通事故は五百六十八件、これが犧牲となつた死傷者は實に二百九十三名といふ戰慄すべき數字を現してゐるので大連小崗子、沙河口、水上の四署聯合の下に來る廿一、廿二日の兩日大々的交通訓練デーを實施することゝなつた

第一日の二十一日は四署非番員總出動の下に「護れ我が身を守れ規則を」「注意は怪我なく緊張に失敗なし」などの交通安全標語を刷り込んだビラを街頭に家庭に撒布して市民の注意を喚起し、第二日目の二十二日は市內各小學兒童二萬數百名に色刷ポスターを配布し、各學校長が交通安全に關する講演をなし小さい市民の頭へも交通訓練に關する注意と智識とを吹き込み一方各映畫館では交通安全の宣傳映畫を上映して大衆へ呼びかけ、四署員はスピード取締、步行者及び道路放置物件の取締等を行ひ、有意義に訓練デーの實を擧げやうと準備を進めてゐる

暴れバス 十九日午後六時常盤橋發金州行き乘合バスが乘客を滿載し沙河口驛構內ガード下に差し蒐つた時前方より步行して來た百姓風體の滿洲人に衝突し瀕死の重傷を負はせたので大騷ぎとなり早速博愛病院に擔ぎ込み應急手當を施したが同人は飲酒酩酊の樣あり住所氏名不明なので目下所轄沙河口署に於て調査中である

金二圓を懷中に鞍山迄汽車で更に鞍山より瓦房店迄は五日半を費やし徒步でたどりつき漸く水上署に轉がり込んだものと判明、同署では事情に同情して八幡にある叔父と云ふのに照會し旅費を送らせることゝなつた

蘇家屯の火事

蘇家屯に新築中の警察署員宿舍より十九日午前六時發火し二棟を燒失し同七時鎭火したが原因は目下不明で損害は約四千圓に上ると【蘇家屯電話】

明治會 滿洲支部にては目下來連中の同會講師星野武男氏蒐集の明治天皇御事蹟版畫展覽會を廿日より廿二日迄滿鐵社員俱樂部に於いて開催するさ

黑住教冬至大祭 市內惠比須町黑住教大連教會所では來る二十日午後一時より冬至大祭を執行するが一樽園天香師の說教、奉納筑前琵琶、宏道流生花盛花會等があるさ

けふのスポーツ

▲全大連對工業蹴球戰 午前十時三十分より陸華對師同蹴球戰正午大連運動場
▲南滿工專對旅順工大ラグビー戰午後二時より

日曜の催し

妙心寺において提唱、午前九時より

安樂椅子

滿鐵長春驛の名は十月卅一日を最後として十一月一日からは新京驛と改めたので鐵道部宣傳係では早速側の記念スタンプも改造した、右の寫眞はその新スタンプであるがこの鑄の說明を加藤宣傳係主任から聞く

◇

中の湖のやうなのは西公園の風景だ、大抵の人が不思議に思ふのは馬の首の廻りに變な棒のやうなものが畵がいてあることだ、然しこれは北滿通には誰でも解ることでこの棒は「ドガ」といつて南滿の馬車には付いてゐないが北滿の馬車は全部これが付いてゐる。

◇

そしてその境が新京であり、新京から北の馬車が全部これをつけてゐるから新スタンプに大きくこの馬の首と「ドガ」とを現はしたのだ【寫眞はスタンプ】

海と空と（32）

高杉晋一郎作　橋本清史畫

手紙（四）

正子は三越からの歸途、大廣場で電車に乘らうとする時、ふとヤマトホテル前の鋪道に暢の姿を見て、乘るのを止した。電車は過ぎて了つたが正子はそのまゝ躊躇してゐた。呼び止める程暢に親しいわけではなかつた。唯兄の親友の襄をよく知つてゐる關係から自然と顔を合す事があるだけだつた。然し、暢を認めた瞬間に殆ど無意識に電車に乘るのを止めてゐた自分を、さうして言葉を掛けるのにはどぎまぎしてゐる自分に氣附くと、彼女は獨りでぽつと赤くなつた。

丁度その時暢の方で彼女を認めて、鋪道の上に立止まつた。彼女は狼狽て、お辭儀をした。暢は會社の歸りらしく折鞄を持つてゐた。

「危い」

と云はれて正子は自分が車道の眞ん中に立つたまゝでゐるのに氣が附いた。彼女は再び顔を赫くして自動車を避けると、小走りに鋪道へ立戻つて改めて挨拶をした。

暢は丁寧に腰を屈めた。

「その後如何ですか。谷君ももう學校はお休みなのぢやありませんか」

「ええ、もう間もなく歸つて來るだらうと思ひます」

正子は少し堅くなつて俯いたまゝさう云つた。何だかぶつきら棒過ぎて女學生が先生に返事する樣な調子だと自分で感じながらそれ以上云へなかつた。

「さうですか……」

暢は春頃から見るとひどく痩せた顔を暫く考へさせてから言葉をついだ。

「あの、御存じでせうけれど襄が歸つてゐましてね、彼に就いて一寸御願ひしたい事があるんですけれど、谷君が御歸りになつたら何卒遊びにゐらして下さるやうに仰言つて下さい」

「はあ、あの御歸りになつた事だけ兄からの手紙で存じて居りました」

「御挨拶にもあがらないで、困つた奴です。お母さんには、お變りは……」

「はあ、ありがたう御座居ます」

暢も元來言葉達者な方ではないので會話は間もなく途切れて了つた。二人は自分勝手に云ふ事だけ云つて科白を忘れた學藝會の役者のやうに顔を突き合してぽかんと立つてゐた。そこで一寸氣味不くなると急にぎこちなく頭を下げて、では失禮しますと別れて了つた。

次の電車が來ると、正子はそれに乘つたが、車内でまだ暢の前での上氣が去らなかつた。どうしてあんなに自分は下手な挨拶しか出來ないんだらう。それよりどうしてあんなに狼狽て、仕舞つたんだらう。車道の眞ん中でお辭儀したまゝ立つてゐたり。自分のその時の姿が眼の前に見えて、思ひ出しの中で彼女は新たに顔を赫らめた。

暢の姿の痩せてゐたのがふと氣に懸つた。御病氣か知らいや必度會社からの御歸りだつたから御病氣ぢやない。御身體が丈夫ぢやないから暑さでお痩せになるんだらう……そんな事を繰返し繰返し考へてゐるうちに、停留場は幾つか過ぎて、氣の附いた時にはもう自分の降りる一つ手前まで來てゐるのだつた。電車の中には海水浴の仕度を持つた乘客が澤山ゐた。彼女は賑やかな海の樣子などを想像してみた。

電車を降りて、家へ歸ると、母は六疊の部屋で眼鏡をかけて手紙を讀んでゐた。

「唯今。あら、それ兄さんの御返事でせう」

正子は飛んで行つて母の手から手紙を引張つた。

「まあまあお待ちなさいよ、母さんだつて讀んでもいいだらうぢやありませんか」

母親は年をとるに從つて段々おどけて來る——然し流石に若い時からの苦勞の跡の見える相好を崩して、綱引のやうに手紙の引合ひをして笑つた。貧困を出來るだけ笑つて通して來た母の此頃の笑ひは心からの笑ひだつた。彼女の最近は確に幸福であつた。

「いやいや私が讀んであげるから、母さん、何處まで讀んだの、此處まで？ぢや此處まで私の讀む間待つて、頂戴、ね」

正子は子供のやうにはしやいで手紙を母の手から奪ひあげた。

新刊紹介

▲**神國日本**（小泉八雲著、戸川秋骨譯）小泉八雲の名は凡そ文學書を讀むものに知らぬものはない、彼れは英國人でありながら日本人より以上に日本を知つて居り研究してゐる、本書「神國日本」は一九〇四年ニユーヨークとロンドンのマクミラン會社から出版されたものである著者が日本のことについて米國から講演の依頼を受けてゐてそれが果たされなかつた爲めに、その結果としてこの一書となつて現はれたのだといふ、そして著者はこの著書が早く手元に到着することを待ちわびながら間に合はず一九〇四年九月に死んだのである、内容に如何なるものがあるか、摘出すれば難解、新奇及び魅力、古代の祭祀、家庭の宗教、日本の家族、組合の祭祀、神道の發達、禮拜と淨めの式、死者の支配、佛教の渡來、大乘佛教、社會組織、武權の勃興、忠義の宗教、ジエジユイト教徒の禍、封建の完成、神道の復活、遺風、近代の抑壓、官憲教育、產業上の危險、回想等である（定價一圓八十錢、發行所東京市麹町區一番町五第一書房）

▲**人間論**（土田杏村著）人間はつれに人間自身の生活、卽ち人生を考へないではゐられない人間の考へる問題の中にその人生と關係のない問題が存在するであらうか、人間とは何であるか、人間の生活とは何であるか人間の住んでゐるこの世界、この社會の本性は何であるか、人間はその世界や社會の中で何故に行動しなければならないか、またいかなる行動をするか眞に人間的であるか、さうした根本的な人間問題を中心にして我々の考へる如何なる問題も人間的でないものはあるまい、本當において著者はマルキシズムの中核的な思想、存在的哲學、人間學的哲學、知識社會學的思潮などを著者自身の考察の資料によつて說いてゐる（定價一圓、發行所東京市麹町區一番町第一書房）

▲**リツトン報告書全文解剖**（神田正雄著）國際的の問題は次から次へと隨分多い、然し東洋人にとつては日支紛爭解決の問題が何よりも重大に感ずる、昨秋九月十八日柳條溝に響いた爆音は張一家軍閥の弔鐘に和したものであり、世界の人が等しく期待したリツトン報告なるものは日支紛爭解決の平和の女神であつた筈である、然るに一度發表されるやその波紋は日支兩國は勿論世界の隅々まで大渦を捲き起した、海外社長たる著者はあくまで東洋人の立場特に日本人の見地から報告書全文に亘り各章ごとに解剖批判を加へたるものが本書である（定價八十錢發行所東京市淀橋區下落合三丁目一三六七海外社）

けふの放送　大連 JQAK　十一月二十日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後〇時十分、ニユース
▲午後一時全滿日本人對時局大會（協和會館より）
一、講演軍部代表陸軍少將板垣征四郎
二、同滿鐵代表未定
三、同商工代表古澤丈作
▲午後三時三十分、ニユース
▲午後六時十分、ニユース
（以下內地中繼六時三十分）
▲小唄（名古屋より）一、たつみやよいとこ二、一人寢の（唄小唄錦など、三味線同錦京、同同錦蝶）三、筆の傘（唄同錦など、三味線同錦龍、替手同錦京）四、主と二人で（唄同錦蝶）五、よびのなぞ、吉田草紙庵作曲（唄同錦龍、同同錦蝶）六、無理な首尾して（唄同錦花、三味線同錦蝶）七、めみゐりめしは（唄同錦花、三味線同錦蝶、替手同錦龍）
▲漫劇（六時五十分大阪より）「呑氣な兵隊さん」今村重三郎、有馬豐三郎
▲掛合義太夫（七時二十分大阪より）「碁盤太平記白石噺新吉原の段」宮城野（豐竹此助）しのぶ（同團司）新造宮里（竹本雛駒）同宮芝（同鶴榮）やりておまさ（同住龍）惣六（同東廣）三味線（豐澤小仕）、
（以下大連放送局より八時三十一分）
▲落語「太田道灌」櫻川歌助
▲ニユース
▲氣象通報

第十二回　滿日特選碁戰

先相先先番　三段　長谷川章氏
　　　　　　四段　渡邊英夫氏

●八一トの八　○八二への七
●八三ヌの八　○八四ルの八
●八五ヌの九　○八六への八
●八七タの五　○八八ヨの四
●八九ルの九　○九〇レの五
●九一ワの六　○九二レの六
●九三トの六　○九四への六
●九五への三　○九六タの十二
●九七リの七　○九八ワの十七
●九九トの九　○一〇〇への九

對局者の感想

白曰く　黑が八八から打つて來ないので八八と打つ氣になつたのですが（レの四）に下つて居る方が良かつたかも知れません、中央の石を引出すのでは譯が分らないので、すてる趣向に出たのですが、これで惡くないと思つて居りました

黑曰く　九三は今打つて置かねと後には（への五）に引かれる恐れがある

—【5】—

日曜まんが

童話

滿洲國の爲に

中溝新一

高粱がまだ刈取られる少し前のことでした。鋸の齒のやうに並んでゐる千山の十八橋子といふ部落に近いところに、ポカンと三軒の百姓家がありました。百姓家といつても赤土色の壁で圍まれた飛行機から見たら土だかお家だか判らないやうな汚いちいさなものでした。

この汚いお家の前の水溜りには鵞鳥やら家鴨やらがなんのくつたくもなく、餌をあさつてたりしますが、こゝの一軒から五つばかりの男の子がよちよち出て來ました。見ると、お顏も手も垢で黑光り、殊にお鼻のあたまときたら、まるでお隣の豚のやうです。

「パオティエン」

突然お家の中でお母さんらしいのがかう聲をかけながら出て來ました。パオティエンといふのがこの坊やのお名前。

パオ坊には十七になる兄さんがあります。どうしたことか百姓家に生れながら働くことが大嫌ひで一時は奉天へ飛び出して毛皮屋で働いたこともあつたが、いくら働いても大したお金にもならず、勤めもつらいので、二三枚毛皮でも盗んで逃げてやらうと、すきをねらつてゐると、ある日おもてに喇叭を吹いて通る者がある。何氣なく見ると「招兵」と書いた旗を持つた男でした。國難近し、健康の若者はよろしく兵隊になるやう通る人々にすゝめて居ます。[illegible]良な人民をいぢめてばかりゐる兵隊なんか誰がなるものか、それよりうんと遊ぶに限る、身體が丈夫だから自分もえらばれるんだ——と妙な理屈をつけていつかこの店を逃げ出してしまひました。それから惡い遊びばかりしてゐる中に阿片をのむことを覺へて、すつかりからだをこはしてしまひました。血色のよい丸々太つてゐた男も、背へうたんのやうに痩細つて、目ばかりふくろのやうに光らせて、野良犬のやうになつて、もう此頃では自分の家に死んだやうに寢たきりです。

ある夜、馬賊の一隊がこの平和な百姓家を襲つてたつた一人の働き手のお父さんを連れて行つてしまひました。

それから幾月か經ちました。

それは恰度暖かい春風が吹くやうになると、常日頃から望んでゐた惡い人達は亡ぼされて、滿洲國が輝かしく生れました。

兄さんはいつまでも病人で居ることがはづかしくなりました。どうかして自分もほかの若い人達のやうに、兵隊になつてほんとうに自分達の國をこしらへる爲めに、また附近を荒し廻る馬賊や匪賊を征伐して、一時も早く立派なお國にしなければならない——と考へると居ても立つても居られなくなりました。

ふらふらしながらオンドルの上に立上つて自分の腕を撫でました。

しかしいくら氣があせつてもこんな痩せツぽちではなんにもなりません。

「しまつた」

といまさら、自分の不健康をくやしがりましたが、どうすることも出來ず、涙がぼろぼろ頬に傳はりました。

そこへ東の方の部落の王老人が現はれました。

「どうした、大の男が泣いてさ」

と親切にきいてくれるので、

「どうか、私を兵隊にして下さい。そして惡い馬賊や匪賊をやつつけたいんだが、王さんどうか頼みます」

と一生懸命に申しました。

「お前みたいな病人はどうにもならないが、お國のために働くのなら、今からでも遲くない、養生して立派な身體になりなさい」

とこんな言葉でくどくど兄にさとしてゐると、遙かに物すごい轟音、

「ヤツまた馬賊」

とドキンと胸をおどらせながら家の前に出てみると、勇ましいラツパの音が近づく——白楊林の側から勇ましい日本の兵隊が、日章旗を先登に進んで來ます。

家の中からパオ坊も飛び出しました。手製の滿洲國旗を持つて——。先登の兵隊さんは馬から下りてパオ坊の頭を撫でました。

兄さんは傍へ近づくことも出來ず、痩腕を撫でながら、いつまでも涙ぐんで兵隊さんの一隊を見送りました。

第廿一回 こどもの考へもの

幾冊あるか かぞへてください

こゝにご本が立てゝありますが幾冊ありますか、よく數へて來る十一月二十七日までに大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄係」あてにハガキでお知らせください、當つた方にはいつもの樣にご褒美を差しあげます

第十九回の答 支那料理屋

皆さんはほんとうに考へることがお上手です、第十九回の考へものは支那料理屋でした、相變らず當つた方が多いので籤を引いて左の二十名にご褒美をあげることにしました、大連市內の方は當籤通知のハガキとご褒美を本社で引かへてください、沿線の方へは直接賞品をお送りします

× ×

なほご褒美の中の森永のミルクキャラメルやチヨコレートの空箱は是非お菓子屋さんの店頭にある支那事變の「戰傷兵士をいたはりませう」とかいた箱に投げ入れてください

當籤者

▲大連白石八重子▲同柿久重利▲同姬内利子▲同戸澤敦子▲同東野憲一▲同森田公章▲同堀内公子▲同中村博行▲同宮田實▲同岡石造▲同松本俊男▲同小山内慶子▲安東山本小夜子▲鐵嶺堀江智惠子▲撫順近藤富子▲奉天岡野光子▲奉天荒木ミヨコ▲遼陽小笹良二▲旅順後藤照夫▲同神崎弘

不思議なタマゴ

カラのうへに懷中時計の型

イギリスのバートン・マルパスといふところで最近一羽のめんどりが世にも不思議な卵を生みました その卵のからの上には懷中時計がハツキリとあらはれてゐるのです つまりローマ數字も分や秒の目盛もうきぼりになつてハツキリと現はれてをり、ことに十二時をしめす數字はとてもハツキリとしてゐました、そうして今では大變な噂でそのめんどりは大變高い値段で買手がたくさん出てゐるさうです 一體どうしてこんな卵が生れたのでせうか、きつと懷中時計をまるのみしたからだらう……と英國人はお話してゐるさうです

十六年間も眠らなかつた人

ハンガリーの老中尉

ハンガリーのブダペストにカーネリウス・スゼケリー中尉といふ人がゐました、この人は一九一六年にオーストリヤ軍に加はつて歐洲大戰に出征し聯合軍と戰つたのですが、その時頭を負傷してからどうしても眠ることが出來なくなりました、この人は最近四十三歲で死にましたが、丁度十六年間一度も眠らずに生きて來たのです、夜になつて他の人が眠つても自分一人は眠ることが出來ず、一晩中安樂椅子に腰をおろして本を讀んでゐました、だからこの人は十六年間ベットを持たなかつたさうです 歐洲全土の有名なお醫者さまにみていたゞいたのですが、どのお醫者さまも眠れるやうにすることが出來ませんでした、今年の夏とうとう死にましたが、これでやつと目をつぶることが出來たのだとブダペストの人々は大變噂をしてゐるさうです

これはたいへん感心なひと

十年以上も貧しい軍人の家や戰死者の家に見舞金

今度の滿洲事變にはいろいろの忠君愛國美談がたくさん生れましたそれは兵隊さんのりつぱなお手がらばかりでなく、日本人だけしか持つてゐない美しい行ひがたくさん一しよに世間に知れました、この中に十年以上も貧しい軍人のお家や戰死した人のお家にお金をおくつてゐた人があります 內地の有名な軍港のある佐世保に住んでゐる江口藏造といふ今年五十二になる人は日露戰爭後から毎年戰死した兵隊さんのお家へ、お見舞金だといつて名前をかくしてたくさんのお金を送つてゐたのですが、これが今度の滿洲事變の戰死者のお家にも送られて來たので佐世保の憲兵隊が送り主をさがしたずね、やつと江口さんを見つけ出し、そのうへ十年以上のながい間の立派な行ひがみんなわかり附近の人々から江口さんは神樣のやうに尊敬されてゐます

火事だ！火事だッ 命がけの消防隊 勇ましいその活躍

さあ火事だ！まつ黒い煙が天たついて寶物のやうな赤い焔の舌がお家も會社も銀行も、町ぢうを舐めつくさうとしてゐます、赤ちゃんを抱へたお母さんは大きな聲で助けをもとめてゐる、お父さんは燃えてゆくわが家をぼんやりとたゞ眺めてゐるより仕方がない――若し皆さんがこんな目にあつたとしたらどんなに恐ろしいことでせう

昨年中、大連の火事はおよそ二百回もあつて五十八萬圓からのお寶をむざむざと焼いてしまひました奉天、長春、ハルビンその他滿洲全體をあはせたら毎年幾百萬圓の損害にもなるでせうそれだけではありません、幾十人の人々が焔の中に包まれて苦しみもがきながら貴い生命を失つてゐるのです

油斷は大敵 注意を怠るな

こんなに恐ろしい火事ももとはといへばほんの僅かな不注意からです「油斷大敵」といふ諺があるでせう、今からもう二十幾年も昔、大阪市の殆ど半分を焼きつくした大火事の火元はたつた一本の煙草の不始末からでした、毎晩毎晩記者はお母さんと一しよに淀川堤にのぼつてまつ赤な空を恐ろしくながめたことを未だに忘れることが出來ません、ついこの間大連浪速町の火事も矢張り煙草の火から出ました、子供の火なぶりからもよく火事を起こします、昨年は四回も子供のいたづらから大變なことになつてしまひました、皆さんは決して火遊びをしたり一人で火扱ひをしてはなりません、滿洲はストーヴやペーチカを焚くので冬になるとめつきりと火事が多くなります

火事は初の五分間

さあ火事だ！ウウーウウー！サイレンが恐ろしく唸りながらポンプ自動車が地響きをたてゝ全速力で驅つけました、ナポレオンは「戰爭は最後の五分間にあり」といひましたが火事はその反對に「最初の五分間」いや初めの一分、一秒が大切です、消防隊のをぢさんは風の日も雪の夜もいつも高い望樓（火の見臺）から火の手のあがるのをみつけるが早いか三十秒たゝないうちにすつかり消防の用意をとゝのへて勇ましくポンプ自動車が飛びだします、ウウーウウーといふサイレンは「さあ火事にゆくのですから道をあけて下さい」といふ知らせの合圖です、人も、自動車も、電車もこの唸り聲をきいたら急いで道をあけてやらなければなりません、火事場についたら大急ぎでホースを取つて水を出すまで三分間、火の手をみつけてから放水までわづかに八分以内のすばしこさです、まるで戰爭以上のあわたゞしさです、一方逃げおくれて火の中にゐる者があれば防熱服や防煙マスクをつけた救助班が猛火の中に飛び込んで救ひ出します、昨年八月大連の火藥庫が燃え出したとき今にも爆發しさうになつた火藥に近づいて危ふいところを消しとめました、爆彈三勇士に劣らぬ勇ましい消防三勇士ではありませんか、ほんとうに消防隊のをぢさんは命がけで働いてゐます

×　×

滿洲で一番大きい火事は昭和三年大連浪速町の「きよもと」といふ飲食店から火が出て勸商場など四十二戸を焼いてしまひました、目抜の場所柄だけに七十五萬圓の損害でした、最近では昨年四月小崗子貨物驛の二十四萬圓、今年は浪速町の火事があります、燃えだした火の勢ひは想像も及ばないほど恐ろしいものです、記録によりますと一分間に本建家屋十六戸も焼けてゆきます、前にお話した大阪市大火事は廣い何十間もの道路をまたゝく間にわたつたり、大きな淀川を越えて對岸の町にまでどんどん飛び火してゆきました

寫眞の説明

（1）高い望樓から双眼鏡で町中をにらんでゐます
（2）煙の中に飛込む防煙マスク、中央のマスクには話が出來るやうになつてゐます
（3）救助袋で三階からスルスルと辷り降りるところ
（4）サイレンが唸りをたてゝ勇ましい自動車ポンプの出動
（5）見るみるうちに伸びてゆく自動梯に乘つて水をかけてゐます――この梯は七十尺ものびます
（6）救助幕の上に飛降りました
（7）火の中に這入つても熱くないお化けのやうな防熱服―石綿で出來てゐます
（8）高い梯の上で逆立ち――
（9）燒け落ちる屋根にのぼつて水をかける

火事にあつたら 氣を落ちつけよ おうちで相談して「家庭消防隊」を作れ

それなら、もしも火事に出あつたらどうすればよろしいか？まづ氣を落つけることです、あまりびつくりして蒲團や枕をたゞ一つ抱へうろうろしてゐる人をよく見うけます、慌てるのは平常心がけが出來てゐないからで氣の毒でもあるが醜いことです、もしも表から燒けたらこうして逃げる、裏から火がきたらあそこから外に出やう位のことは心のうちで考へておかなければなりません、學校やお役所にゆくと「非常持出」と朱で書いた箱があるでせう、これはもし火事にあつたとき先づ第一に持出す用意がしてあるのです、近頃は大きなビルデングやアパートが多くなつてきました、二階や三階の高い所にゐる人は必ず下の方に避難しなければなりません、大きな建築には大抵普通階段と非常階段が別々のところについてゐますが、若し兩方とも通れなくなつてもあはてて飛び降りると大怪我をします、氣を落ちつけて一番上に逃れてゐると消防隊のをぢさんが自動車梯子をするすると伸ばして助けに來てくれます、すべて平常の心がけが第一です、皆さんは早速お父さんやお母さんと相談して「家庭消防隊」をおつくりなさい

一、お父さん――バケツで水をかける
二、お母さん――消防隊へ電話をかける
三、兄さん――大切な「非常持出」を外に持出す
四、姉さん――近所の家を起して火事を知らせる
五、弟と妹――赤ん坊や小さい子供をつれて知りあひのをぢさんのところへ逃げる

家族の多い少いでもつと都合のよいように役割をきめておきます、こうすればいざとなつても決してうろたへることはありません

手工 小旗が飛び出す 面白い紙鐵砲

けふは皆さんの好きな紙鐵砲をこしらへませう、先づボール紙を二十センチ四角に切ります、ボール紙はそのまゝでもよければ又皆さんの好きな色紙か包紙を貼つてもよいでせう、それから滿國旗でも、萬國旗でも皆さんの好きな旗を巾二センチ半、縦二センチの大きさに作り、三十センチ位の長さの紐に糊で好きなだけ張ります別に丈夫な牛紙か色紙二十センチ角のものを三角に二つに切ります そして前の四角なボール紙に前の旗と一緒に貼りつけます、これで袋のやうなものができます、乾きましたらボール紙を丁寧に二つに折り曲げます、これで鐵砲ができました、袋の中に旗を入れ三角の縦をもつと強く振りますと大きな音を立てゝ旗が出ます

カメラから覗いた健康の道しるべ

子供の偏食 家内總がゝりて直せ

食物の好き嫌ひには一家總がかりでなほしませう、脂肪分やお野菜類を攝らない子が非常に多いやうですが、これらのうちには結核豫防や體質向上になくてはならないビタミンが澤山含まれてゐます、子供の偏食矯正にはお父さんもお母さんもみんなで同じものを食べて誘導すれば案外容易になほります

煖房の焚きすぎ禁物

ストーヴやペーチカを焚き過ぎないやう室内の温度は六〇—六五度、就寢中は五十度位が一番適當です、暖か過ぎる室内から薄着一枚で北極のやうな炊事場やお便所に行つたり、一足とびに嚴寒の戸外に出るのは調節機能の濫使です

こどもは裸に

小さい子は一日一二度は必ず裸にしてやりませう皮膚が丈夫になります、餘り寒い居間で風邪をひかぬやう注意が肝要です、下着は清潔なものを忘れないで取替へてやりませう

外出から歸つたら 手を洗ひ、口を嗽げ

外出から歸つたら含嗽と手を洗ふことを忘れぬやう、滿洲は空氣が乾燥してゐて悪い病原菌が塵と一しよに浮游してゐます、含嗽は食鹽水か又は二パーセントの硼酸水がよろしい、手洗には清水でも結構ですが一パーセントのリゾール水がよろしい

一日に一回は必らず外出

食物よりも大事な榮養をとるのだと心得て少くとも一日一回は必ず外出しませう、この時はなるべく煤煙の少い朝の十時すぎから正午前後がよろしい、風邪の氣味だつたり氣分の悪いときは勿論控へねばなりません

窓を開けて換氣しませう

大切な空氣のお掃除をするため一日三回以上五分間づゝ居間の窓を開けませう、この時の注意は一方のみでなくなるべく向ひ合せの窓をあけるとよく換氣します、極寒いときは十分以上も開けて置くと室内の器物までも冷てしまつて却てよくありません

落語 茶釜(ちやがま)

柳亭燕橋

一席申し上げます。酒は百藥の長とか申しまして、結構なものには違ひございませんが、餘り飲み過ぎると、お身體の爲に宜しくございません「酒のみは奴豆腐にさも似たり、始め四角で末はグヅ〳〵」能く往來へころがつて、犬と顚りに話をしてゐる人などがありますが、餘りみッともよいものではありません。

熊「お早うございます」

○「お早う、誰だい——オヤ〳〵熊さんぢやないか、サア此方へ上んなさい、お前何んだつてな、噂に聞くところ又此頃仕事を怠けちやつてゐるさうだが、怠けちやいけないよ。サテ此方へお出で」

熊「旦那一つ引取つてお貰ひ申したいんで」

○「何を引取るんだい。藪から棒で分らないが」

熊「何にも云はれえで默つてお引取りなすつて、家風に合はれえもんですから」

○「家風に合はれえから引取つてくれといふと、內儀さんを引取つて呉れといふのかい」

熊「早く云へばそんなものだ」

○「遲く云つたつて同じぢやアないか、又かい、お前といふ男はどうも呆れ返つた男だね。夫婦喧嘩をしちやア、やゝもすると引取つてくれ引取つてくれと俺のところへ持ち込んで來る。宜いよ、引取つて上げるから、連れてお出で」

熊「ぢやア何んですかい、どうしてもお前さんは引取ると云ふんですかい」

○「だつてお前さんが引取つてくれといふんぢやないか」

熊「けれども、マア、何んですさう急に引取られえでも宜しうございます」

○「それぢやア、何しに來たんだか譯が分らないぢやアれえか。マア此方へ來なよ。能く物を考へて見なよ。お前は何だよ。昨夜飲み過ぎて——嘘を吐きれえ。隱したつて分るよ。お前の顏に出てゐる顏を撫でたつて消えやアしない。今朝起きたが宿醉で工合が惡いから、迎へ酒をしようと思つたが、前の晩の失策があるから、內儀さんが飲ませれえ。そこでお前さんが何か內儀さんのアラを探し出して、横面の一ッも毆つて、夫れから、夫婦喧嘩になつて、俺のところへ、やつて來たんだらう」

熊「アレッ!旦那見てましたね」

○「見てゐやアしないが、チヤンと分る」

熊「どうも驚きましたね、序に夫ぢやア運勢を見ておくんなせえ」

○「馬鹿にするな。併しどうだ、酔つたらう、ナニ、ソックリだ。宜くないよ。お前さんが惡い、自分の家で好きな物で飲んでゐるなア惡かアないが、お前さんは酒を飲むと、どうもだらしがなくなる。表へ出て飲む、それは男は交際だから、決して飲んで惡いとは云はれえが、氣をしめて飲んだら宜いだらう餘り醉はないやうに飲んでりやア錬知もしれえ、さうすりやア、お前さんのお內儀さんは、夫を鬼や角云ふやうな女ぢやアないんだ」

熊「へイ」

○「少しは化ろよ」

熊「エ、ッ!」

○「化けろつてんだ」

熊「何に化けるんで」

○「何に化けるつて、分られえ奴だな、斯うするんだ、外で一升飲まうと思つたら、五合にして置くんだ。又五合飲むところは三合、三合飲まうと思つたら、一層飲まないで歸るんだ、併少し位飲んだ時は、飲まないやうな顏をして家へ歸る、あゝいふ氣の付く女だから、ハ、ア飲んで來たなと思つたつて、お前さへ亂してゐなけりやア、お膳の上へ默つて居ても、お定まりの德利はのつけて來るだらう」

熊「成る程」

○「それたお前さんなア反對なんだ、つまりだらしがないんだ、酒を飲んでも確かりしてゐる、之れを化けると云ふんだ」

熊「アッ、成程、違えれえ。之れア巧いこた教はつちまつた。旦那が化けろ〳〵といふから、私は面喰つちまつた、化けると云やア旦那、昔何んですつてれ、上州館林の茂林寺といふ寺で狸が文福茶釜に化けたつてえことを聞きましたが、あれや本當にあつたことなんですかれ」

○「そんな事は知らないよ」

熊「狐が化けるつてえが、本當に化けるんですかれ」

○「まア化けるかも知れないな、昔から種々な話も傳はつてゐるからな」

熊「矢張り藪の中か何かで化けるんですかれ」

○「何處で化けるか、まだ狐の化ける處を見たことがないから、知らないな」

熊「狐について、何ですかい、化けたつてえ面白い話があるんでかい」

○「それは幾つもあるな、先づ大きなところでは金毛九尾白面の狐といふのがあるな、之は唐土の姐妃となつて殷の唐王を誑かし、天竺に渡つて華陽夫人となつて斑足太子を誑かし、又我が國に渡つては玉藻前となつた。一天萬乘の大君を誑かさんとしたが、安倍の晴明の爲に見現はされ、那須の原といふ處へ行つて、石になつたといふ。之を殺生石と云つて、古蹟が今でもあるが、之はマア作り話だな」

熊「へエー、まだありますかい」

○「人皇九十六代後醍醐天皇が、お七才の時に、萩を御見物遊ばして在らせられると、一人の童子來つて、明日は雨が降ると申上げたで、明日は雨を知ると云つて笏を持つてお打ちになると、之れが大きな野干になつた」

熊「へエー、誰か頭を火傷したんで」

○「誰も火傷なんぞしやしない」

熊「それでも藥鑵になつたと云つたぢやアありませんか」

○「さうぢやアない、狐のことを野干といふのだ」

熊「へエー、狐が野干なんで、ちやア終は縁起ですか」

○「馬鹿なことを云へ」

熊「どうも有難うございます、お蔭で物知りになりました、今迄藥鑵と云ふなア、湯沸しと禿頭ばかりだと思つてたら、狐の事もヤカンと云ふんですかい」

○マア、宜いや、之れから餘り夫婦喧嘩をするなよ」

熊「へエ、有難うございます。左樣なら——どうも驚いたれ、彼奴は獸な奴だけれども、種んなことを知つてゐやがる。扨て困つたな今直歸るてえと、嬶め二つ打毆つて飛出して來たから、まだ怒つてやがるに違ひれえ、日の暮まで何處かで、つないでゐなけりやアならねえ——オヤ〳〵何だ、誰か大きな聲で呶鳴つてやがるぜ、あゝ牛公の家だ。やア野郎喧嘩をしてやがる。巧え處へ出會したもんだな。牛公め野干の化けることを知られえんだ、一ッ野干を振り廻してやらうかな——オイ〳〵何だなんだ、喧嘩なんぞをするない、外見れえぢやアれえか、汝能くれえぞ、內儀さんを毆るなんてえのはどうも宜しくれえ」

牛「オヤ、熊ぢやアれえかお前に夫婦喧嘩の仲裁をされやうとは思はなかつた。だが毆りやしれえ」

熊「毆られえ、夫りやアいけれえ一ッ位毆りれえ」

牛「何を云つてやがるんだ、けしかけてやがる」

熊「何しろそれア宜しくないな。お前は何んだらう、昨夜、飲み過ぎて、今朝宿醉をしてゐるんだらう」

牛「俺は酒は大嫌えだよ」

熊「默つてろ。俺が話しをしてやるから、汝、今朝迎ひ酒をしやうと思つて、向ふを見ると魚屋に鮪の中あぶがある」

牛「お前の云ふ事は皆な違つてゐるよ。俺ン所の向ふは魚屋ぢやアれえ、八百屋だ」

熊「少しまづかつたな、だがマア宜い、魚屋にして置け、刺身を一人前取つて、一杯飲まうと思つたが、嬶がどうしても承知をしれえ、癪に障つてゐるし、何かアラを探し出して、一杯飲まうと思つて、四方を見廻すと、お神酒德利が片ッ方れえや」

牛「お神酒德利はちやんと揃つてゐるよ」

熊「仕方がれえな。宜いから化けろ」

牛「ナニ」

熊「何でも宜いから化けろよ、五合飲まうと思つたところを、一升飲みやア酔つぱらつちまア、三合にして置きやア、酔はれえや」

牛「當然だ」

熊「當然だけれどもよ、狐の化けるのを知つてるか」

牛「知られえな」

熊「知らなけりやア教へてやる、昔狐がもろこしの團子を喰つて、隱居が驚いて打倒れたんだ、夫から天竺德兵衛が半鐘を叩いたんだ、だから我が朝にて玉轉がしが流行る。それからまだあるんだぞ、人形が九十六錢で、お團子天皇樣が七ッ列んで、煙草を召上つてゐたんだ、それから柄杓を取り上げるとやかんが飛んで終つた」

牛「間拔けなことをしちまつたな湯が入つてたのか」

熊「分られえ男だ、野干といふのは、湯沸しのことぢやアれえ。狐のことを野干といふんだ」

牛「何だか知られえが、俺ン所の喧嘩は、お神酒德利や、藥鑵ぢやアれえ。俺ン處の嬶は平常無精で仕方がれえ、だが、今月産月なんだ、それを俺が無理に働けといふ譯ぢやアれえのに、ドタバタしやアがるから、産が重くなるつて叱言を云つたんだ」

熊「ア、左樣か——さう云やア茶釜が眞赤に錆てる。扨ては茶釜から起つた處を見ると、あゝ狸が化けたんだ」

毆らねえ!そりやァいけねえ

一ッ位毆りねえ

細長い鼻

佐方幸

「ハイ旦那樣お火を?」

「馬鹿!あわてるナ、それはわしの鼻ぢやあないかッ!」

大汽船を載せて急行列車が馳る

大西洋―地中海の航路短縮 佛國技師の大計畫

嘘の樣に話は大き過る

○…皆さん、お話が餘り大きすぎるからつて嘘だと思はないで下さい、考へれば確に嘘のやうな大きなお話ですがこれから世界一の大きな汽船をそのまゝ陸の上を運んで行く、一大急行列車のお話をしやうといふのです、と申したゞけでは本當とは思へますまいが、この急行列車を作る技師の名前もその汽車が走るところもハッキリわかつてゐるんです、その上もうどん〳〵計畫が進められてゐるのです。

○…この嘘のやうな大計畫を考へた人はフランスのマールといふ技師で大西洋から地中海に入るにはどうしてもポルトガルとスペインの海岸をまはらなければなりませんがこんな遠まはりをしないで大西洋からすぐ汽船を大きな汽車にスッポリと乘せフランスを横切つてドン〳〵走り地中海へ汽船を運んだなら時間も短くなるし、距離も縮まるし、どんなに便利だらうといふのがこの計畫のそも〳〵の始まりなのです

○…もつとも大西洋と地中海とをどうにかしてつゞけたいといふ考へは古くからフランスにはありましたがこれは主に運河の計畫でした、しかしフランスのマルセーユのある地中海とボルドーのある大西洋とを大きな汽船が通れるやうな運河を造るには大變な費用と大變な年月をつかはねばなりません、そのためいつも實行することが出來なかつたのです、ところが今回マールが發表した計畫は全く運河は不必要なものになつてしまひました、そのうへ費用も運河を造る半分ですむし唯陸上に鐵道をしいて行くだけですから月日も非常に短くてすむといふのです

『車輪のうへの運河の閘門』

コンクリート造りで 長さ六百五十呎の大タンク

◇…さて、それではこの嘘のやうな驚くべき大急行列車の說明をいたしませう、この汽車は…汽車といふよりも鐵道線路の上に乘つかつた大きな貯水タンクといつた方がいゝのです、このタンクの中に汽船をフウワリと浮べて線路を走るのです、それで考察者のマールはこのタンク汽車のことを「車輪上の運河の閘門」といふ言葉で說明してゐる位です

イングランド
フランス
スペイン
ポルトガル
イタリー
ヴエルダン
グラウド
ヴアンドル

◇…このタンク列車は、今フランスで一番大きいといはれてゐるイール、ド、フランスといふ汽船を二倍にした位の大きな船でも樂に浮べるほどの水を貯めてゐます、そうしてこのタンク列車は十個の車軸があつて、その一つ〳〵に十二の車がつくやうに考察されてゐます、タンクはコンクリート造りで、長さが實に六百五十呎と計算されてゐます、この鐵道の設計地點は地中海岸はグラウドヴアンドル、大西洋岸はヴエルダンです、この間の距離は全長三百哩であります、さうしてこの兩終點には陸と海の連絡にインクラインが水の中までのびてゐます

船、陸に 上がる仕掛

◆…今ここに大西洋から地中海に向つて運びたい船があるとしますそうしますとタンク列車の一つはインクラインを下つて車が海の中にかくれるまで進んで行きます、そして車の前の戸を開けますと海の水がドン〳〵タンクの中に入つて一ぱいになります、そうしてまつてゐた船は靜かにタンクの中に入りますとすぐタンクの戸はピッタリと閉つてしまひます、これで船は汽車につみ上げられたことになるのです、次にこの變てこな列車は船と水とをつんだままグン〳〵インクラインをのぼつて行きます、一度地上に出るとこの車は電氣モーターで走り出すのです、船を積んだこの列車が走る速さは運河を船が進む速さよりはるかに速いのです

◆…さうして列車が目的地たとへば地中海岸に到着すると又インクラインを用ひて反對の方法で海へと下されてタンクの戸が開くと船はもう地中海にポッカリと浮び上つてゐる……といふわけなのです

今週の歷史

十一月二十日……夕張炭坑爆發死者十名(昭和五年)

同二十一日……將門下總に叛く(天慶二年)一休禪師遷化(文明十三年)富士紡爭議解決煙突の超人降る(昭和五年)

同二十二日……畿內東海大地震(元祿十六年)歐洲に大暴風、風速七十八哩と稱さる(昭和五年)

同二十三日……諸外國公使參內して東幸を賀す(明治元年)女流作家樋口一葉歿す、享年二十五才(明治二十九年)

同二十四日……源實朝宋人に大船を建造せしむ(建保四年)

同二十五日……征空一萬七千キロ・女流鳥人ブルース夫人立川着(昭和五年)今上天皇攝政に就かせらる(大正十年)陸軍木炭自動車運行の試驗を行ふ(昭和五年)

同二十六日……國學者上田秋成歿す(文化七年)伊豆地方に大地震、死者二百五十九名を出す(昭和五年)

一年前

十一月二十日 大凌河方面より双陽甸、石山站、羊圈子方面まで嚴重な塹壕を築造してゐた錦州東北軍は早朝より遼河方面に積極的行爲に出でその主力は溝幇子に進擊す▲鈴木美通少將引率の主力部隊は二十日午前六時二十分奉天に到着す

同廿一日 本日の國際聯盟公開理事會は日支事變に關し調査委員を現地に派遣を決定し、ブリアン氏の手で調査委員任命の手續きをなした▲蔣介石は張學良に對し、速かに滿洲に出動し日本軍に占領された領土を回復すべく軍事行動を開始せよとの密電を發す

同廿二日 午前十一時二十分吉敦線蛟河驛附近駐屯の吉林官兵五十名が突如兵變を起し、停車場を襲撃し、折柄來合せた列車の乘客その他現場の百四十八名より金品を强奪して逃走した▲上海における各大學生をもつて組織されてゐる救國學生會は代表を南京に送り、速かに武器を支給せよ、然らば北上して先づ學良を討ち、餘勢を以て東北に進擊し、失はれたる土地を奪回すべしといふ決議文を蔣介石に手交した

同廿三日 昂々溪附近の戰鬪において壯烈なる戰死を遂げた步兵第二十九聯隊の將士の葬儀が午後三時よりチチハル領事館裏日本人墓地に於て行はれた、多門第二師團長以下の將星參列したが、一望千里の北滿廣原にのぼる香煙に參列者一同涙をのんだ▲國際聯盟秘密理事會はドラモンド氏起草の支那に對する混合調査委員會派遣の決議案に異議なく、零時十分散會した

同廿四日 逐次東方に移りつゝあつた錦州方面の支那軍は、正規兵に公安隊服を着せて今回來滿鐵沿線附近に現れ、殊に別動隊數千名は溝幇子西方に陣取つて沿線襲撃の氣勢を示す、ために我が守備隊は高項山に司令部を置いてこれに對抗す▲午後十時十分一千名の匪賊は突如乾化を襲ひ掠奪虐殺をほしいままにし、縣城を占領せんとす、我が在留邦人は全く死地に陷り、救援を待つとの急電頻りに長春に入る

同廿五日 乾化の急報に接した吉林長官熙洽氏は直に三百名の救援隊を送り、午前零時より匪賊と大激戰を交へ、數時間の後これを撃退す▲錦州方面の形勢極度に險惡化し、住民は續々天津方面に引揚げを開始したので、英國天津駐屯軍は唐山地方へ出動の準備を開始す

同廿六日 香椎天津軍司令官は支那側の陳謝を認容し、租界の自由交通を許し兵力を撤退したるところ、支側軍大部隊は午後八時半突如先づ我が軍の左翼に對し、次いで全正面に對し機關銃を以て猛射を開始、我が軍はこれに應射せずその不法を責め、射撃中止を警告せるに拘らず、依然支那軍は射撃を續く、我が軍は今や忍ぶ能はず租界居留民保護のため自衛權を行使應戰を開始し、ここに第二回天津事變突發す

今週の献立

大連技藝女學校專攻科 清瀧昌子

	朝	晝	晩
日	味噌汁(豆腐) 納豆、オロシ大根	マント、炒肉 カナガシラ煮附	天婦羅(鮪、人參、薩摩芋) 味噌汁(鮪) 大根、カナカシラ
月	味噌汁(天婦羅) 福神漬	昆布甘煮、天婦羅 カナガシラ煮附	鯖フライ 酢の物(鯖人參大根)
火	味噌汁(豆腐) 小鳥賊櫻煮	小鯛甘露煮 メンタイ	鮪照燒、大根オロシ 吸物(小鯛、白菜)
水	味噌汁(白菜油揚) ヒジキ甘煮	鮪煮附、馬鈴薯 人參、昆布甘煮	味噌汁(鮪、白菜) 菠薐草胡麻和、炒肉
木	味噌汁(豆腐) 燒海苔	トースパン(ジヤム)小鯛甘露煮、野菜ソーテー	すき燒 牛肉、玉葱、葱、燒豆腐、支那ソーメン
金	味噌汁(大根) 納豆、オロシ大根	カレヒ鹽燒 小鯛甘露煮	味噌汁(鯖) 甘藷胡麻和、鯖フライ、馬鈴薯附合
土	味噌汁(ワカメ) 小鯛甘露煮	鯖煮附 馬鈴薯、人參附合	吸物(カナガシラ三ツ葉) 炒肉

★坊ヤノカンガヘ★

ナンカ ナクテモ イイカラ

ネエ母サン

滿洲日報

十一月十九日發行

聯盟戰の我陣容整ふ

松岡代表晴の壽府入

我代表部の盛んな出迎

【ジュネーヴ十八日發】聯盟理事會並に臨時聯盟總會に出席、滿洲問題に關し帝國政府の公明正大なる主張を世界列國注視の裡に披瀝すべき重大使命を帶べる我松岡代表一行は十七日午後九時五十分パリ發十八日午前八時五十五分無事ジュネーヴに到着した、驛頭には杉村聯盟事務次長、佐藤大使等四十餘名の盛な出迎へあり、晴れの壽府入りを爲し、直に自動車を連ねてホテル、メトロポールに入つた、ホテルでは第六三、四兩室を松岡代表に第六五、六兩室を長岡大使に充てられ、これで一、二、三階の殆ど全部が我代表部の連中に占領されこゝに聯盟戰に對する我陣容は全く整備し終つた感がある

松岡代表聲明書發表

記者團との初會見に於て

【ジュネーヴ十八日發】松岡全權は午後五時よりメトロポール、ホテルに國際記者團を招き左の聲明書を發表したが、このジュネーヴ記者團との初會見は二時間餘に亘り新聞外交に非常な成功を收めた、松岡全權は聲明書配布後、自ら記者團の間に游弋して率直且つ快刀亂麻を斷つ如き答辯を以て日本の立場を聲明した、此日ジュネーヴにある主要新聞通信記者は殆ど全部集りその數百數十名、支那記者も六名來て松岡全權の説明に耳を傾けた、上海事件當時此處で日本代表部と記者團との會見が行はれた際は僅三十名足らず會見時間も十分そこ〳〵であつたのに比し、今日は非常な盛況で、それはジュネーヴの空氣の好轉と松岡全權に對する異常の興味を物語るものである、聲明書内容左の如し

聲明書の要旨

世界の輿論はアジア問題に向けられて居り、從來不分明であつた點も、ある點は既に明かにされた、リットン報告書は支那の事情を從來より良く一般的に諒解させることに貢獻した、しかしその中には**不適當に述べられた點あり之が誤解を生ぜしめてゐる、**日本は條約による國際的秩序及び滿洲の國內秩序の保護者であつた、或方面では我等は侵略者と目されてゐるが、事實は之と反對に我等は多年いろ〳〵の侵略に苦しまされて來た、**我等は侵略者として滿洲に行つたものではない、**我等の兵力は議論の餘地なき我等の權利を保護するため既に滿洲に在つたのである、此等の事實は報告書中にも否定されてゐないところで、總ての人に受入れられることを衷心より希望する、**我等の望むところは只經濟的繁榮及び平和の再建設のみて、**歐洲諸國は滿洲の混沌たる狀態が世界平和を脅かすものなることを諒解することが出來なかつた、我等は秩序ある支那が急速且つ鞏固に組織されることを希望するが、しかし我等の死活的權益については妥協せぬことに決定してゐる、我等は他の權利を尊重すると同時に我等の權利も亦尊重さるべきことを主張する、**滿洲の自治はその住民の福祉並に外國の權利保護に最善の保障を與へるものなるが故に、我等は滿洲の獨立を繼續せしめんとするもので**之は合理且つ自然であり、余は聯盟がこの外に策なきを諒解せんことを希望するものである

松岡代表ド總長會見

(寫眞、上松岡氏、下ドラモンド氏)

【ジュネーヴ十八日發】今朝到着した松岡代表は長岡大使と共に午前十一時半聯盟事務總長ドラモンド氏を訪問三十分餘に亘り挨拶懇談を交へた、會見後松岡代表は記者に對し語る

ド氏とは初會見であつたので長岡大使が余を紹介し「今回の理事會には松岡代表が主として關與する」旨を告げ、次いで主として手續きの問題、即ち「誰が先きに發言するか」「**報告書を如何に處理するか**」等につき意向を打合せた、この內容はいへ**わが二十一日には余が演說**する豫定である

【ジュネーヴ十八日發】松岡全權は午前十一時四十分長岡全權を伴ひ聯盟事務局に赴き事務局全部に着任の挨拶を爲し、ドラモンド總長に今回の理事會では松岡全權が主として關與する旨告げ、松岡全權は初對面の挨拶後、意見書の取扱ひにつき懇談理事會劈頭においてわが所信を强調する爲め三十分程演說したき旨を述べ、我國民の滿洲問題に關する異常な緊張にも言及し、聯盟と日本の間に不幸な事態を釀さぬため努力ありたき旨希望を述べ午後一時十分辭去した

わが和戰兩樣の態度

既定方針に毫も變化無し

【東京十九日發】目睫に迫つた聯盟理事會に對する我外務當局の對策は既に愼重なる態度を以て萬善を期して樹てられた、愈々開幕となれば東京及びジュネーヴの間に緊密なる連絡を保ち全面的活動を展開するの準備完了し、霞ケ關の外務省は戰前の靜けさを保つてゐる、而して今回の聯盟會議はリットン報告書の滿洲國問題に對する解決案と、我政府の正式承認とが全く相容れられざる關係にあるため、總體如何によつては我國と聯盟との正面衝突を惹起し、惹いては我國の聯盟脫退といふ如き緊極の事態に陷る危險絕無でないが、リットン報告書發表以來列國殊に大國側の輿論は漸次事態を正解し來り、我國に有利に轉向しつゝあり、この情勢を以てすれば今回の聯盟會議も我國の要望する如き方向に導くこと必ずしも不可能にあらずとの觀察が成り立つので、外務當局も我聯盟對策としては

一、滿洲國問題については能ふ限り具體的事實に立脚して我主張を進め、抽象的論議を避けて聯盟會議の徒らな紛糾を避けると

一、小國側の主張にも能ふ限り敬意を拂ひ滿洲國の特殊性を說明して諒解に努むること

等の方針を以て進み、所謂和戰兩樣の態度を執る方針であるが、飽くまで誠意を披瀝してもなほ聯盟にして日本に重壓を加へんとする時は斷乎として最後の決意を爲す既定方針には寸毫も變化なしとしてゐる

日支論爭の重點

紛爭處理の手續問題

【ジュネーヴ十八日發】二十一日から世界の視聽を集めてリットン報告書審議のための第六十七回聯盟理事會が開催されるが、この會議で最も活潑なる日支論爭の重點は紛爭處理の手續上の問題であると見られてゐる、即ち日本代表部は從來同樣特別聯盟總會乃至十九ケ國委員會を認めずとの立場を堅持し、日支問題は聯盟理事會で處理すべき事を主張し、出來る限り理事會の範圍內に喰ひ止めんと努力するに對し、支那側は飽迄リットン報告を楯に聯盟委員會乃至特別聯盟總會召集を極力要求するものと見られる、これは十九ケ國委員會乃至總會には小國側が聯盟的で空漠たる聯盟擁護論を振り翳し而も實際的に殆ど責任の無い此等小國代表は必然的に支那の主張

AK壽府からの放送を必死でテスト

二十一日より壽府において聯盟理事會が開かれる、その模樣を中繼放送するためJOAKでは過般來より岩槻無電局と連絡をとり必死のテストを行つてゐるが、十六日朝も六時半から七時半までテストの結果、松內アナ君の日本語が手にとるやうにスピーカーから迸り出でこれなら安心と、AK技術部も喜ばした、寫眞は壽府からの日本語を聽くAK技術部員

雨になるか風になるかいよ〳〵來る

わが代表部早くも私的折衝開始

各國代表を訪問して

【ジュネーヴ十八日發】今朝壽府に到着した松岡代表は午後三時過ぎ長岡大使と共に英のサイモン外相を訪ひ一時間餘に亘り懇談を交へた、會談內容は祕せられてゐるが、松岡代表が到着早々早くも日支問題を中心とし各國代表との間に私的折衝が開始された事明かである、松岡代表はじめ長岡、松平、佐藤各代表は直に大車輪であらゆる機會を捉へ、列國代表と折衝を行ふ豫定で、松平大使も十九日には當地着の筈で、氏は特にサイモン外相と出來る限り屢々會見を行ふ筈である

報告書審議開始期

【ジュネーヴ十八日發】聯盟筋の觀測によれば理事會のリットン報告書審議開始は廿一日午後か廿二日午前となる模樣である

ド總長に意見書手交

【ジュネーヴ十八日發】松岡、長岡、佐藤の三全權は午前九時半より約二時間に亘り帝國政府の意見書につき最後的審議をなしたる後澤田帝國事務局長を聯盟事務局に派しドラモンド總長に午後零時半手交せしめた

我意見書明夜發表

【ジュネーヴ十八日發】リットン報告書に對するわが意見書は代表部と聯盟事務局と打合せの結果壽府では二十日午後四時日本では二十一日午前零時(滿洲時間廿日午後十一時)に發表する事となり、

大連奉天で中繼放送

我代表の演說を

【關東軍司令部發表】ジュネーヴより松岡代表以下の放送を二十一日より數日間毎日滿洲時間午前五時三十分より同六時に亘り奉天及び大連にて中繼することゝなつた試驗の結果甚だ良好である【新京電話】

リ卿明朝放送

【ジュネーヴ十八日發】リットン卿は十九日午後十一時(滿洲時間廿日午前六時)聯盟放送局から全世界に放送する又午後十一時四十五分から支那代表が放送する

國民黨と學良を問責

國家主義青年黨

【天津特電十九日發】滿洲、上海兩事件後、俄に勢力を擡頭せる國家主義青年黨は最近次の如き通電を發し國民黨と學良を徹底的にこき卸してゐる

中國の現狀を見るに民衆は着るに衣なく喰ふに食なしこれ全く國民黨の罪にして東北の失地後一年餘にして未だ回復ならざるは、これ學良の無爲無能の致すところなり、國民黨の外交方針は徒らに聯盟乃至アメリカに賴つてゐるが、斯くの如きは現在の中國の取るべき策にあらず、先づ國內の統一を爲し自力を以つて失地を回復せざるべからず故に吾々同志は起つて國民黨を打破し軍閥を打倒して中國建設に邁進せざるべからず

不可侵條約締結要望

勞農機關紙論評

【モスクワ十八日發】蘇聯邦中央委員會機關紙イズヴエスチヤは本日の社說において日滿兩國との不侵條約に關しソウエートは滿洲國との不侵略條約締結には反對でない、しかし同時に日本とも同樣締結されなければ無益なりと論じてゐる

首相園公訪問

【東京十九日發】齋藤首相は十九日午前九時東京驛發列車で出發同十一時五十五分靜岡驛着、驛頭より自動車で興津坐漁莊に西園寺公を訪問、明年度豫算案、滿洲問題に關する聯盟諸會合對策、對議會策その他時局問題を報告し、公の意見を徵したが、午後四時五十分東京驛着歸京の豫定である

今井田總監上京

【京城特電十八日發】農林省において來る廿六日頃開催の米穀統制調査會は朝鮮米問題として死活を決する重大問題なる爲め朝鮮側委員たる今井田政務總監は宇垣總督の歸鮮を待たず廿二日急遽東上する

はるびん丸

二十日午前八時三十分大連港外着豫定

人事

▲前田豐氏(新京線區司令部附步兵少佐)十九日午前八時着列車にて新京より來連
▲工藤忠氏(執政府侍從武官陸軍中將)十九日午前八時大連驛着來連ヤマトホテル投宿
▲滿洲國日本留學生一行 同上
▲門野重九郎氏(大倉組重役)同日午前九時大連驛發北行

滿洲人の決意を國際聯盟に打電

滿洲國生計會から

滿洲國民衆生計會はジュネーヴの國際聯盟理事會長、同國際聯盟事務總長、同國際聯盟リットン委員會、同國際聯盟總會議長宛に十一月十八日の午後左の聲明書を發電した

我等滿洲人民は多年軍閥の壓迫によつて自由を奪はれ、奴隷に等しき束縛をうけ、人類としての幸福を惠まれず、前途暗黑常に恐怖と不安に襲はれつゝありしも、昨年九月十八日事變を轉機に全國民衆の希望に基き滿洲獨立國を作れり、立國日尚淺く舊軍閥の殘黨各地に蟠居し治安未だ充分に回復するに至らざるも、それは大改革の餘波にして一時的現象に過ぎず、立國既に八ケ月を經て國家の基礎漸く鞏固を加へ來り全土樂土を建設し得べき多大の光明を認むるに至れり、我等民衆は自己の產したる國家の成育に甚大の希望を有しその發達に努力を致しつゝあり、如何なることあるも再び舊軍閥者流の支配下に服せんとする如き非を絕對に有せざることを世界に聲明す【新京電話】

練習艦隊が旅大兩港に廻航

來月十日に仁川から

練習艦隊旗艦八雲は磐手と共に八日仁川發、十日午前八時大連に入港十四日午前五時大連拔錨、旅順に向ひ同日午前八時三十分旅順發高島に向け廻航するがその間乘組員は旅大を見學し、また艦內の拜觀を許可する

なほ幹部は司令官百武源吾中將副官永海關大佐、艦主計大佐、高城軍醫中佐、龍崎參謀中佐、八雲艦長新見大佐、磐手艦長鈴木大佐等である

社會主事會議

滿鐵地方部では十九日午前十時から社員俱樂部で社會主事會議を開いたが栗屋地方課長以下沿線各社會主事出席した

八田副總裁等動靜

新京に赴いてゐた八田副總裁は二十日午前八時着列車にて山崎理事

蛇角

人を恐れず天を恐ろ、と在ジュネーヴの松岡代表、その氣概まさに聯盟を呑む、輕侮し度し難し、か。

◇

しかも、小國側の無責任な行動いよ〳〵露骨、縁なき衆生は度し難し、か。

◇

九億の赤字備、百億の公債額、致て悲觀するには當らず、と高橋藏相相變らず大きい。

◇

その度胸は買ふべし、放漫は買ふべからず。

◇

銀高昇給押通處、出來したり滿洲國邦人官吏。

◇

「女を見ずに女を買へ」といふのか」と永井新民政署長(大連紙)。

◇

比喩當を得ないがこの人率直な人らしい、永い目で見ること。

「滿蒙の戰慄」休載

丸山、鈴木兩氏中心の「時局座談會」(8)

▲我社主催、十一日午後三時より、大連ヤマトホテルにて▲出席者、貴族院議員丸山鶴吉氏▲元代議士鈴木梅四郎氏▲賓性大田友吉氏、上島慶篤氏、千葉豐治氏▲入江正太郎氏▲高連新聞社長、西片滿洲報社長、伊藤滿鮮社長、高橋滿蒙評論社長、石谷滿洲公論主幹、篠崎奉天新聞支局長、由井ケ濱滿洲タイムス社長、杉山奉每副社長、名村大每支局長▲石村ジヤパンタイムス支局長▲高見成氏▲松山本社長、細野編輯局長その他本社員(順序不同)

餘り性急過ぎる

丸山氏 大體鈴木さんのお答への通りで何もありませぬが、今賓性さんのお話はよく滿洲を喪いてゐる時に聽くのですが、これも••••せつかち過ぎるのぢやないかと思ふ、統制經濟など、いふことは言ふは容易だが實行は却々むつかしい。一國內で行ふ統制經濟なんぞでも非常にこれはむつかしいことである、況んや滿洲は共存共榮で立つて行かうといふのだから尙ほ一層難しい、滿洲統制經濟といふことは一層難しい、滿順炭が安く出る、この安いやつをドン〳〵送つてやれば日本の產業は發達する、これは理論としてはその通りだが、事實は却〻困難が伴ふ、故に餘りに••せつかちではいけない、根本方針さへ決つてゐればジワリ〳〵解決して行くことが出來る、斯くて一年なり二年なりの中には石炭は滿洲の石炭を使ふんだ、かう言つた工合の空氣さへ作れば總て統制經濟の形は自然出來て來やう、といつて問題の解決がさう三年や五年でわけなく出來やう筈がない、だから目標はそこに決めて、順次研究し日滿兩國の共存共榮策を定め眞に國家の基礎といふものが成立つ根本の肚を決めて置かなければならぬ繰り返していふがそれが直ぐ理論の通り實現するものだと期待されるのは餘りせつかちな考へである

西片氏 私が伺つて見たいのは、簡單に不素自分で考へてゐることで、內地の有力なるお方の考へさどう違ふものであらうか、さういふことを伺つて見たい、その前に鈴木さんからお話の日本內地の實業家も滿洲國に對する熱誠なる考へを有つて居らるゝといふことは私は必ずさうであらうと斯樣に考へてをる又丸山さんのお話のやうに餘りせつかちにしないで、まあ〳〵順序を踏んで行つたらよからうといふお話も私は全然同感であります

◇

ついでに此處で私が常に考へますのは日本の滿洲國に對して進むべき道が本筋に今入つてゐるかどうか、願はくば本筋に入つてゐて貰ひたい、或は今日どういふことを日本が爲すべき時代であるか、先程丸山さんのお話の中に治安維持といふことがある、お言葉尻を捉へる譯ぢやありませんが、これは內地にお歸りになつてお話になると日本は申上げるまでもなく六七十年の間平穩に馴れた國民でありますから、治安維持といふ言葉をお使ひ下さると直に日本內地におけるやうなものとの誤解が國民に起きはしないか

◇

私は考へまするのに、滿洲は昨年九月十八日から治安が全然無かつた、維持も何もあるものぢやない、寧ろこれは滿洲は平定すべき時代だと斯樣に考へてをる、この一旦平定して而して後に初めて治安維持或は文化施設を行ふべきだと思ふ、未だ十分平定しないで治安維持の方法又は文化施設の方法と直ぐいふのは早い、これも平定に要するその程度ならばこれは宜しい、これがその兩立して同じ程度で進んで行くといふやうなことであると、これは時代を錯誤してをる、平定時の治安維持の時代と錯誤して了ふ、そのためにいろ〳〵な故障が起きて來る

◇

故に私が考へますには先づ何を措いても平定してしまひたい、その意味において日本の豫算なども矢張軍事費などは陸軍が要求する以上に出して貰ふやうにして早くこの滿洲を平定する、そしてその後に武裝移民もやらう又半官半民の仕事もやるがよい、而も武裝移民とか或はその外の文化的の施設といふやうなもので現在平定といふことに聊か差支のあるものが澤山ある、まあ私の考へでは今日はどうしても平定時代、古の亂國の時代、大政治家なり大武力家なりが出て一つ平定して了ふ、その後でだん〳〵必要なことをやるんだと、……だから今日の文化施設などは只平定するに必要なものだけならばやつても宜しい、といふ程位にして貰つたらどういふものだらうか、かういつも考へてをりますが、しかしこれは滿洲の片隅にをる私の意見に過ぎませんから、又之にいろ〳〵な間違ひあるものと思ひます、如何なものでせうか

市川經理部次長等同歸連の筈、又村上滿鐵理事は十八日夜七時五十分著列車で新京より歸連の筈

山崎領事の手記來る

銃を突きつけて殺氣立つ會見

警察隊武裝解除まで 滿洲里事件經過日誌

チチハル大谷副領事より全權府に達した山崎領事手記の滿洲里事件の經過日誌左の如し

十月廿七日 午前十時ごろ當地護路軍副司令吳德林より本官(山崎領事)小原大尉等に對し要談のため司令部へ參集ありたしと電話ありたるを以つて本官は福間書記生を帶同し同二十分小原大尉を訪ひこれと馬車に同乘福間書記生は宇野隊長の馬車に同乘約十分遅れて司令部に到着本官、小原大尉は司令部の門內より二階の應接室に進まんとするや **六名が拔き身の拳銃を携へ その他完全に武裝せる將卒は小銃を差しつけるもの約十四名にて矢庭に本官及び小原大尉二人の兩手を掴み嚴重身體檢査を行ひ拳銃を携帶せざることを確むるや直ちに細紐をもつて本官の兩足を縛り これを詰問するや本官の左の頬を毆打す依つて吳副司令に面會を要求し漸くにして縛を解き應接室に入る、**小原大尉は室の入口にて數名より後手をさられたるによりこれを離さしめ兩名椅子につく間もなく**福間書記生、宇野隊長の兩名も數名の**從卒より後手に捉され本官と同樣廊下にて武器携帶の強行檢査を受け**福間を詰問の際顏面を平手にて毆りたる趣きなり** 他方本官等も廊下にて武器檢査を受くる際**營內及び市內にて同時に銃聲聞こえ一時は凄愴の殺氣みなぎる**中に獰猛なる士卒のため奔弄せられたが程經て吳副司令の應接室に來り漸く**談話に入るやその際 本官は拔き身の拳銃、騎銃をもつて二重三重に取り圍まれ 外部には引き續き銃聲轟き殺氣立ち恰かも戰場の光景なり** その時十一時半ごろプロペラの音勇ましく**チチハル滿洲里の定期飛行機一臺飛來、殺氣立ちたる支那兵はさかんにこれに猛射を加へたるが** 同飛行機は形勢の惡化を察知し五分間許り着陸同飛行場に出迎たる飛行會社佐山滿洲里駐在員を同乘せしめ直に離陸チチハルに引返したり 當初吳副司令は護路兵士の警察に對する反感より兵戰を起さんとし最早や抑壓の方法なし、これの解決手段としては至急警察隊の武裝解除を行ひ綏撫する外なしと申出でたるをもつて本官等は沈思默考應ぜざれば居留民の安全が到底期すべからず且つ既に充分準備を整へたる千四五百名の護路軍に對する少數警察隊の反抗は結局効を收むることを得ざる實情に鑑み善後處置に出づべく宇野隊長の決意を促したるところ**宇野隊長も在留民一般の安全を考慮し潔く武裝解除に應ずる**ことを約せられたると**共に交換條件として爾後の隊員及び居留民の生命財產の完全なる保護につき吳副司令の約束を要求したり、**依つて本官は宇野隊長の隊員に對する武裝解除の命令を福間書記生に携行せしめ第一回の使者となしたるが同書記生は數人の兵士よりなる拳銃隊に守られ司令部を出でたり(つゞく)【新京電話】

渡日の途來連した滿洲國最初の日本留學生

我等が正義を世界に呼びかける

明日協和會館で開く 全滿日本人時局大會

世界の平和と人類幸福のため東亞時局に對し正義に基く在滿邦人の確乎不拔な所信と態度とを國際聯盟に示すべき全滿日本人時局大會は二十日午後一時より市民熱狂裡に大連滿鐵協和會館で開催される事となつたが、大會の順序は十九日左の通り決定した

一、開會の辭
二、座長推薦
三、本會開催の趣旨
四、宣言及び決議(發送先、政府要路、關東軍司令官、ジュネーヴ國際聯盟理事會事務局、在ジュネーヴ松岡全權)
五、演說會
六、閉會の辭

なほ國際運動としてその後の參加團體は左の通りである

▲各中等學校 二十一日校長より時局に關する講演の催しあり、且つ各校長連名で在ジュネーヴ松岡代表宛激勵電を發する事
▲關東婦人會 佛教青年會、佛教女子青年會と合同で二十日、二十一日兩日午後二時より本願寺に於て時局講演
▲聖德區 に於ては區主催で聖德殿に於て軍警追悼會を催す
▲基督教團體 は合同にて二十一日午後七時より青年會館で祈願祭を執行
▲霞小學校 二十日講演および沙河口神社で祈願祭
▲大連聖愛醫院 二十一日午前八時半より從業員一同講堂に參集大會に對する祈願を爲し後土井院長事務取扱の講演がある筈
▲明照寺 二十一日祈願會執行

下九臺の被害

匪賊團に襲擊された吉長線下九臺の判明した被害は賊のため全燒された家屋特產商二戶(何れも滿洲國人)日本人家屋で破壞されたもの四戶、公安第十一分局は步兵銃十五挺、縣公安局は步兵銃十五挺、馬二十頭を掠奪され公安隊、騎馬隊一名戰死、賊は死體二十四を遺棄し捕虜三名で日本人の死傷なしその他の損害は引續き調査中【新京電話】

日本留學の滿洲國學生來る

廿日うらる丸で出發

滿洲國最初の日本留學生として日本陸軍士官學校に入學する滿洲國執政府近侍の隨衞武官、金智元、鄭觀忠、張廷、趙國哲、馬驥良、顧峻、裕抑日の七名は見送りの家族その他と共に執政府侍從武官陸軍中將工藤忠氏に引率されて十九日午前八時大連驛着列車で來連、ヤマトホテルに入つた一行は十九日午後旅順を見學し二十日午前十時出帆うらる丸にて內地へ向ふが何れも相當に日本語を解し得る迄に勉強を續けてゐる、引率者工藤忠氏は語る

今度留學するものは執政と最も近い隨衞武官中から選ばれた人々で二十二から二十五までの若い青年將校です、何れも教養ある子弟で明年四月に傑、潤麒兩氏と共に士官學校へ入學するがそれまで勉強や入學準備をやる筈です、この青年將校は將來日本と同樣の滿洲國軍隊の養成に盡力する人々で中には陸軍大學へ入る事を考へてゐる者もあるが何分滿洲國最初の日本留學生で人選には充分慎重に考慮されてゐます、武官のみならず文官の留學生に就いても目下計畫されてゐるので近く實現するものと思ひます

蘇炳文が海拉爾で貴福氏令息を虐殺

蒙古人憤慨して飛檄

【關東軍司令部發表】海拉爾方面より洮南に來た蒙古人の談によれば最近蘇炳文は呼倫貝爾方面の蒙古人に對して慘忍行爲を敢てしその第一手段として在海拉爾の現興安總署北分署長兼滿洲國參議の要職にある貴福氏の子息福善をその都統衙門に襲擊し無殘にも虐殺した、また同地滯在中の現從衞官憲翊衞隊長郭文鑑も虐殺された模樣で之がため蒙古人は極度に激昂しこれを傳へ聞いた同地方の蒙古人七十萬人も極度に憤慨し四方に檄を飛ばして一致團結蘇炳文に當らんとし形勢ために重大を加へつゝある【新京電話】

健康確立の市民で醫院賑ふ

あす日曜日は正午迄

健康週間第二日の健康診斷は趣旨愈々徹底し正午頃から第一日に增して市中醫院又は大連醫院、赤十字醫院に受診者が押しかけ、健康週間は日を逐ふて市民の保健觀念を深め各自の健康を確立しつゝあるが、更に一層の効果を期するためさきに各區長、方面委員より各戶に配られた診斷券或は本紙刷込みの診斷券の他に、大連市役所社會課、滿鐵社會施設係及び本社の三ケ所に診斷券交付所を設けることになつたから希望者は遠慮なく申込まれたい、なほ二十日の日曜日は廣大の市中各醫院及び各齒科醫院は何れも午前十時より正午まで健康週間の診斷を行ひ、赤十字病院は午前九時より十一時まで診斷に當ることゝなつてゐるから受診者は時間を間違へず利用されたく關東廳旅順醫院、大連醫院並びに大連聖愛醫院は診斷を休むことになつてゐる

兩張將軍拜謁

握手を賜ふ

【關東軍司令部發表】十一月十八日 天皇陛下には目下特別大演習陪觀のため滯京中の滿洲國武官上將張景惠氏張海鵬氏以下三名に對し親く拜謁を仰付けられ一人々々握手を賜はり特に張兩將軍に對しては遠來の勞を犒はれ健康に注意するやうにとの有難き御言葉を賜はり兩將軍は感激して退下したとのことである【新京電話】

居直强盗を拳銃で威嚇逮捕

元芝罘の保甲隊員で 怪犯人として取調中

十八日午前七時ごろ市內磐城町百十五番地青物商同泰盛方へ一名の賊が忍び込み二階店員部屋の寢臺の下にもぐり込んで機會を窺つてゐるうち午後五時三十分ごろ店員全部が外出したので寢臺下から這ひ出て店員部屋を物色中、丁度その日病氣で寢てゐた店員王義臣(二〇)に發見されるやその場にあつた折込ナイフを突きつけ「騷ぐと刺し殺すぞ」と強盜に居直り衣類十七點(時價七十圓)を風呂敷に包み「警察へ知らせると後の祟りが恐ろしいぞ」と威喝しゆう〳〵表戶から逃走せんとしたところ折柄歸宅した店員劉景昌(四三)が強盜と知つて氣轉を利かし戶外へ飛び出るなり外部からパチンと錠を下し賊を袋の鼠としてから二十餘名の店員を狩り集めて家屋を取り卷き、一方常盤橋派出所へ急報した、閉ぢ込められた賊は裏手窓から飛び出し露路の扉を蹴破り逃走せんとするところへ森口、曾我、水田の三巡查が驅けつけて露路に追ひ込み拳銃を突きつけて威嚇しつゝ近寄り格鬪のうへ逮捕、本署へ連行取調べた結果賊は山東省萊陽縣生れ王玉福(二三)といひ元芝罘の保甲隊員で所持の手帳には張學良の部下張兒明の事などを記入してあり怪支那人として司法高等兩係で引續き嚴重取調中

佳木斯を狙ふ兵匪を潰滅

移民團も討伐に協力

【ハルビン特電十九日發】佳木斯附近に蟠居する王維、陳東山の率ゆる賊三千は山砲三、迫擊砲二を以て東方七里大平川方面より來襲したので十七日朝二時佳木斯守備隊は移民團と共力して討伐に向ひ四時三十分戰鬪開始陸家溝東端の敵五百を潰滅、更に鈴當麥及陸家窩東南より前進し來たる敵の後續部隊を擊破追擊し突擊四時間半に及び山砲一、重機關銃一、小銃多數を鹵獲した、敵の遺棄死體三百(內營長一、賊頭目一)我損害戰死下士一、兵七、重傷將校鐵工長一兵六、輕傷下士二、兵十六、通譯一、大平川附近にはなほ賊數千がゐるので守備隊は逆襲に備へてゐる

吉長線復舊

匪賊襲擊で一部不通となつてゐた吉長線は十八日全通、十九日から平常通り運轉することゝなつた

深夜女給連れの不良少年は泥棒

大連案內社を荒し遊興

十九日午前零時三十分ごろ市內伊勢町通りを醉つぱらひ女給と一緒に歩いてゐる少年を大連署逆藤刑事が不審に思ひ取調べると懷中に四十餘圓を所持してをり本署に同行取調べると市內入船町三番地高本和雄(一九)といひ昨年六月頃約二ケ月間市內西通三五番地金融業大連案內社に雇はれてゐたとあり同社の事情を知つてゐることを奇貨として、本年十月十六日以來數回に亘つて忍び込み現金三百餘圓、融品券十數枚を竊取しこれを金に替へ遊廓やカフエーを飲み廻つてゐた末恐ろしい少年と判明した

育成軍鞍山へ

全國中等學校ラグビー大會滿洲豫選の滿內外優勝戰に出場する滿鐵育成學校ラグビー部一行は十九日午前九時發「はと」で多數先輩學友の見送り聲援を受けて鞍山へ遠征の途についたが、優勝戰のレフエリーたる大連第一中學校教諭岡澤直民も同行した

板垣少將歡迎會

在滿日本人時局後援會では板垣奉天特務機關長の來連を機とし二十日午後六時よりヤマトホテルに於て歡迎座談會を開催するが會費三圓出席希望者はヤマトホテルまで申込んで貰ひたいさ

北西の風晴後曇 二十日

滿潮(午前二時十分 午後二時二十分)
干潮(午前九時十五分 午後八時三十分)

各地氣溫 十九日午前十一時

旅順	一三	奉天	八
大連	一二	新京	―
營口	九		

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一一八圓二〇錢

小唄大連シャンソンを華やかにレヴウ化

來る二十二、三日兩夜大劇で 大檢秋の踊

大檢女紅場並に本社主催で來る二十二、三日の兩夜大連劇場にて開催する「大檢秋の踊り」大連シャンソン發表會は本社が大連市民の愛唱小唄として懸賞募集した當選歌の振付發表が最も興味ある演し物として期待され、既に發賣中のコロムビアレコードによつてその優れた歌曲が紹介されてゐるので一層人氣を呼んでゐる、振付は滿洲舞踊界の新人として定評のある北村扁の藤間勘奈津師匠が會心の作品として發表するもので、北村扁の秘藏弟子を總動員し連日にわたる猛練習を終へ、十九日午後一時から大連劇場にて舞臺稽古をなし演出效果に全力をあげてゐる、「大連行進曲」は美智子、てまり、宇女、百々若、タンゴ、宇女千代の踊り達者な新進をよりすぐつて斬新な衣裳を新調し全體の調子を全くモダン化しレヴユウ樣式によつたものであり「大連シャンソン」は清新な和裝で美智子、宇女子、百々春、てまり、歌作、宇女千代、百々丸、宇女春、百々若、タンゴ、百々子、宇女太郎、宇女ゝ、たからの美妓十四名の總踊りで華麗な舞臺を以て觀衆を魅惑すべく、舞臺裝置も亦、苦心を重ねた優秀なもので照明效果と相俟つて大連舞踊界未曾有の素晴らしい演出效果を示すべく大いに期待されてゐる、更にジャズ・バンドは村岡樂童氏の總指揮でリーダートランペットのロイ小園氏をはじめバンジョー及ヴイオリン高木、トロンボーン梅田、アルトサキソホーン及クラリ赤荻、テナーサキソホーン及クラリ横山、ドラム竹中、ピアノ島田、スーザーフオーン木、アルトサキソホーン及クラリ加藤の諸氏が特別演奏し、按舞照明衣裳音樂の麗しい調和を持つ絢爛なレヴユウ二景を華やかに演出して「大檢秋の踊り」を飾ることゝなつた【寫眞上圖藤間勘奈津師匠と左上からてまり、宇女千代、百々子、宇女春、宇女太郎、百々丸、美智子、右上から歌作、たから、宇女ゝ、宇女子、タンゴ、百々春、百々若】

健康週間

保健衛生十訓

一、個人の衛生は國家の永世
二、仰げよ太陽無料の藥石
三、良い住宅よりも戸外生活
四、適宜な運動と心身の休養
五、日常生活は紀律正しく
六、食餌は常に營養價を
七、暴飲暴食保健の大敵
八、清潔の保持は病魔を驅逐す
九、消毒の勵行は保健衛生の鍵
十、健康に優る幸福なし

（關東廳衛生課）

健康週間診斷劵　住所　氏名　年齢　歳

健康と體育とを生活の一樣式に加へよ

旅順市長　永山嘉一

近年健康週間の催しが各地で行はれ漸次盛大になるといふことは欣快至極である、健康といふことは今更喋々するまでもないことであるが、文明の進展と共にあらゆる方面から衰微の徴候を示してゐることは遺憾の次第である、近時體育の一方面たる競技が著るしい進境を見せてゐること即ち本年のオリムピック大會に於て我國の日覺…

…と思ふことは臍下丹田に氣を充滿さすこと之である、これは道を歩むときも役所で椅子に掛けてゐるときも、又夜中寢床にあるときでも始終行ふ、また毎朝眼が覺めて起床すれば直に東方に向ひ胸部を開き兩手を擧げて伊勢大神宮と宮城とを遙拝する、又如何なるときでも寢に就く前に佛前に進み兩親を先に先祖代々の法名を稱し、念佛を唱へて大聲を發する、これには木魚を以て勢を助くる、朝夕のこの勤行の時は精神無垢清淨となり身體手足とも何ともいへざる爽快を覺える、以上が私の健康法ともいふべきことである。

その他種々の健康方法もあることと思ふが、この邪氣を去り邪念を拂ふ方法を行ふ人に病魔が襲ふことが無いと思ふのである、この有意義なる催しに對し切にこれを廣くおすゝめする次第である。

早くなつた月・の・障・り

成長期にある子を持つ親に豫め注意を與へなさい

巾を利かす絞り風　この冬の衣裳

小兒の食物（中）

或は母に訊ねられて

大連醫院小兒科　松浦豐

肉類　卵と牛乳　野菜類

葡萄酒のお風呂

月經が

運動は

その他

滿日各地版

在滿洲鮮農問題は生活の安定が根本
朝鮮總督府の方針

【奉天】滿洲各地に居住せる鮮人の生活と避難鮮人の原地歸還後の狀況視察のため朝鮮總督府から派遣されて來た楊在河事務官は瀋海沿線、南滿線を視察し十七日營口に向ひ十八日關東廳を訪問將來の鮮農移住にたいする協議を遂げ十九日蘇家屯より安奉線で歸任の途についたが、氏が調査の結果、在滿百餘萬の

鮮農 にたいする總督府の對策に關し具體的の最後案に參考資料となる模樣である、東邊道一帶に居住せる鮮農は約十二萬餘で事變以來生活に窮してゐるもの其の大部分であるから、將來滿洲に移住鮮人を送らんとすれば先づ現住者にたいする產業開發の指導と生活の安定を得せしめる必要あり總督府としては瀋海線の北山條鐵、清源、海龍、南滿線は開原鐵嶺其他鮮人の多數居住せる地方には特に現在調査員を派遣してゐるが鮮農の衞生、敎育の改善といかにすれば生活が安定し定住するかの點を調査中であるといはれ、其の

結果 により低利な產業資金を下附し信用組合又は金融組合を組織せしめ貧農を救濟する意嚮の如くである、吳奉天副領事は右につき語る

滿洲に鮮人が移住することは自然の趨勢である、舊軍閥時代にはあれ程壓迫されながら東邊道其他の各地に移動したのをみても判る、鮮農移住策としては滿洲へ來れば土地と資金を貸與するといふ條件さへ整へばよい、最初から移民豫算をもつてすることはどうかと思ふ、百萬の滿州居住鮮人に對する根本策を日本當局が誤るならばそれは對滿政策の一大失敗となろう、この點吾人は愼重に考へねばならぬ各地には信用組合又は金融組合が設けられるかも知れぬが、それは

眞に 同情から湧いて出た指導がよろしきを得ぬと結局無くすることもある

朝鮮總督府としては鮮人移住費其他に一千萬圓見當の豫算を編成するのではないかとみられてゐる

全滿健康週間 旅順の催し
寶探し講演邦樂舞踊

【旅順】全滿健康週間の催し中二十三日に於ける旅順の行事は衞生健康の普及實施を意味する上に屋外デーの一つとして行はれる「寶探し」は當日正午白玉山のモーターサイレンを合圖に隊て寶の埋めてある場所

▲第一場 白玉山南廣場(東本願寺上南道大鳥居先き)
▲第二場 昭和園前兒童遊園地內

の二ケ所に於て午後一時の振鈴合圖迄に探し當てるやうになつた寶は小さい袋に入れて埋めてあるから見逃さぬやう賞品は昭和園の入口で御渡しする埋められた「寶」は一等實用トランク、二等上下揃ひシヤツ一組の外以下三十等迄が相手を待つてゐる、更に當夜午後六時卅分から開催される昭和園の「講演と邦樂、舞踊の夕べ」は學術講者慰安を兼れた無料開放で(從來の五錢乃至十錢の實費申受等は全然不要)あるから定刻前既に觀衆殺到することゝ想はれる、又時間勵行の實と餘興番組の關係上六時…

音樂的美聲
奉天驛のサービスに
乘客を喜ばす田尻君の聲

【奉天】奉天―奉天―これまでは驛員が鈴を鳴らして各車毎に放送してゐたが、擴聲放送を開始し、はと號が新京から着く五分前―「急行は一時三十六分着―四十分發、各自昇降口にお待ちを願ひます―懷中物は特に御用心を」……と共れが雨の日でも雪の日でも美聲を張り上げて乘客への放送は音樂的であるといふので一般乘客の耳に非常に快感に傳へられるが、かうしたサービスの結果、混雜に乘じてスリを稼ぐもの、豫防となり、昇降の整理に、或は惡疫流行の場合果實類の車內持込み乃至豫防注射の證明書のないものへの警告となり、めつきり小倫兒事項が少く一般被害の減少した功果を齎してゐる(寫眞は放送の田尻君)

中等校ラグビー 廿日優勝戰
鞍中校庭で開催

【鞍山】全日本中等學校ラ式ラグビー大會滿洲州外豫選大會に於て奉中、新鞍、撫順等を一蹴し州外の霸權を獲得して凱歌を奏した鞍山中學校は、州內豫選大會に於て優勝した大連育成軍を迎へ二十日午後一時から同校庭に於て全滿の…

東邊道各學校 復舊狀況

【奉天】東邊道各縣における治安維持回復と共に滿洲國當局に於ては各學校の復舊に努力しつゝあることは既報の通りであるが現在まで復舊した學校は初等學校約八割中等學校は開校準備中である、全部の開校を見るまでには尙數ケ月を要するであらうと

東邊道各縣で 和平大會
宣傳ビラ十萬枚撒布

【奉天】東邊道各縣に於て開催される二十日の和平大會に滿洲國協和會より滿洲文宣傳ビラ十萬枚を撒布することゝなり各地に駐屯してゐる宣撫員に對し夫々發送した、當日は各縣の學生も參加し演說會、旗行列、提灯行列等の大デモを舉行することゝなつてゐるが之と共に飛行機から數十萬枚のビラを撒布すると

營口健康週間

【營口】本社及滿鐵地方部主催の…

護身用の拳銃 携帶を許可

撫順警務騎馬隊 匪賊と遭遇交戰
隊員一名戰死を遂ぐ

落花生品評會 褒賞授與式

赤十字救護班 取扱患者數

郵鐵梅等策動

金州農作物作況
蔬菜以外は概して不良

鞍山政治工作 講演會

土井本通譯 殺害さる

人質拉去犯人 餘罪發覺

旅順放送

銃器保管令

遼陽に於る 健康週間

大石橋特產 出廻狀況

撫順輸入組合 歲末大賣出し

店の品を盜む

各地片々

沿線往來

會と催し

滿洲日報
(明治四十年十二月二十五日 第三種郵便物認可)

聯盟理事會の形勢は 來週中に見當つかん
支那、第一日に態度表明

【ジユネーヴ十九日發】支那代表部は我意見書に對應すべき何物も提出せず、總ては廿一日の理事會における松岡代表の演說修了後顧維鈞代表の行ふべき演說においてその態度を表明することゝなつた、今次の理事會は眞先に松岡代表が演說せしめる形勢あり、廿一日の會議後意見書の研究を名目に二三日休會する模樣である、而して理事會の形勢も其後二、三回の會議の樣子で大體來週中には見當がつくであらうと豫想されてゐる

首席全權に松岡氏

【東京十九日發】國際聯盟總會に出席する首席全權に關しては從來の慣例その他の事情から松岡洋右氏起用には種々の議論あつたが、十八日閣議ですべての障害を排除し、松岡代表を首席全權とするに決定、十九日外務省よりジユネーヴの帝國代表部に訓令した

【東京十九日發】廿一日開會の聯盟理事會に對する帝國代表として長岡駐佛、佐藤駐白兩大使及び松岡洋右氏の三氏が出席すべく既にジユネーヴに參集したが、內田外相は此等三代表の頭に不測の行違ひの生ずべきことを恐れ、十八日の閣議で非公式に齋藤首相始め閣僚の諒解を求むる上、松岡代表を我代表部の首席代表たらしむるに決定十九日朝その旨ジユネーヴに訓電を發した

全世界と戰ふも 斷じて讓らず
石原大佐決意を表明

【ジユネーヴ十八日發】陸軍側參與員石原大佐等よりメトロポール大廳間で我代表新聞記者團以下日本人二百餘名に對し一場の講演を爲し

滿洲國の現狀維持を否定せんとするなら、日本は全世界を敵として戰ふも讓らざる確信を有する、これは余の軍事的研究より斷言し得る

と熱烈に述べ、全權團に多大の感動を與へ決意を固めた【寫眞は石原大佐】

松岡全權以下 毎日放送

ジユネーヴ東京間のラヂオ放送プログラムは十九日放送協會に入電があつたが、廿一日(滿洲時間午前五時三十分)より三十分間松岡全權を第一聲に連日同時刻佐藤、長岡、松平各代表の順で放送することゝなつた

松岡代表 英代表と會見

【ジユネーヴ十八日發】松岡代表は午後二時ホテル、ボリヴアジユに英代表サイモン外相を訪問、聯盟關係問題につき懇談し、松岡代表より日本國民の覺悟と滿洲國財政經濟狀態が豫想以上好調を呈してゐることにつき詳細說明し、これに對しサイモン外相も或る程度滿洲問題に關する自己の方針を打明け會談三十分にして辭去した

ソン公使に對し通達する模樣であり、またジユネーヴ駐在のギルバート公使に對してもウイルソン公使を補佐するやう電命する筈だと

各國代表團を組織
外交團と同性質のもの

【ジユネーヴ十八日發】聯盟各國より聯盟代表として該府に派遣されてゐる各國代表は、今回世界各國首都に外交使節が組織して居る外交團と同樣の性質を有する團體を組織する事となり、十八日右組織に關する會合を催した

ろ興味が非常に薄くなつたことは各種事情がこれを證明して居る當地某方面入電によればアメリカは今回の聯盟會議に對しても代表の派遣乃至公式、非公式に拘らずオブザーバーの派遣をも避けるであらうと見られて居る、卽ち國務次官キヤツスル氏の言明によればアメリカ政府は聯盟のリツトン報告書審議期中政府に絕えず情報を供給せしむるためスイス駐在ウイル

オブザーバーを 米國は派遣せず
キヤツスル次官言明

【東京十九日發】過般の大統領選擧以來アメリカの日支問題に對す

新京の警備司令部

新京の治安を完全に維持し日滿議定書に確定された共同警備の實を擧げるため兩國政府はかねて滿洲國軍および日滿兩警務機關を打つて一丸とした警備統帥機關を新京に設置する計畫でこれが具體案を作成中であつたが、今回その成案を得るに至り去る十二日附で橋本憲兵司令官を司令官とし、齋藤大佐を參謀長、三浦憲兵少佐、佐久間滿洲國軍政部顧問、久下沼警視、木村事務官を高級部員とする新京警備司令部が新設され近くこれが構成を發表することゝなつた【寫眞は警備司令部と橋本司令官】

各省豫算

【東京十八日發】閣議にて略定の各省豫算內容左の通り(單位千圓)

商工省
經常部 五、二七五
臨時部 八、五〇三
計 一三、七七八

司法省
經常部 三二、八二六
臨時部 一、六六三
計 三四、四九〇
之れを前年度實行豫算に比すれば

文部省
經常部 一、三三六
臨時部 四六〇
計百七十九萬七千圓を增加
經常部 一二九、二八〇

外務省
臨時部 二三、五四六
計 一五一、八二六
經常部 一六、三四五
臨時部 一〇、〇四五
計 二六、三九〇
內主なるものは
一、滿洲事變費 四、六九〇
一、教化領事分館施設費三二
一、新京に司法領事配置に要する經費 一〇
一、在滿大使館經費 三五〇
一、在滿大使館官舍新築費 二五〇

拓務省
一、移民保護獎勵費 一、九五四
經常部 二五、八八〇
臨時部 二七、八三四
計
內滿洲移民費 三八二

陸軍省
經常部 五、六五三
臨時部 一〇〇、八五八
滿洲事件費 一四五、九九〇
計 二五二、五〇一
で八年度基本豫算額一億九千五百三十八萬千四百七十圓なるを以て結局八年度陸軍豫算は四億四千七百八十八萬二千圓となる
內主なる事項左の如し
一、朝鮮國境守備隊兵舍病室移轉改增築 三〇
(一)軍用自動車獎勵費三一五
帝國在鄕軍人會補助費 二五〇
內外測量費 六三三
傷痍軍人特別扶助金 一、七五八
父母妻子危篤死亡の爲め現役兵に歸省旅費支給 二〇六
在營兵危篤死亡の際支給する家族旅費 五二
(二)兵備改善豫算
一、在滿兵力の充實並に之に伴ふ內地部隊の改變(在滿兵力を充實し之に伴ひ內地留守部隊を縮小し或は飛行部隊の編成を改正する等)
經常部減 九、六九七
臨時部增 二、四四三
滿洲事件費の增 一四五、三九二
差引增 一三八、一三七
二、豫備教育裝備改善に伴ふ新規部隊並に兵器の爲め必要の人員の教育費 九、二九一
三、緊急を要する諸施設の改善
經常部 五、三九一
臨時部 六、二五八
滿洲事件費 四四一
計 一二、〇九二
四、作戰資材の補塡及整備既定の繼續費を繰上げるものとす 八七、八五〇

大藏省
經常部 四三三、一三六
臨時部 四〇、八七七
計 四七四、〇一四
新規要求承認額
經常部 一一一、六三一
臨時部 二八、〇一五
計 一三九、六四六

遞信省
經常部 三〇五、一四〇
臨時部 四四、七九〇
計 三四九、九三〇
新規要求承認額 六八五

閣議決定の 海軍豫算

【東京十八日發】十八日閣議で決定を見た海軍豫算左の如し 圓
八年度豫算經費要求額
經常部 一七八、八二二、四一一
臨時部 一九三、七八三、九二七
計 三七二、六〇六、三三八
右の內新規增加額
經常部 三七、九〇五、六一六
臨時部 一〇八、五二三、九八〇
計 一四六、四二九、五九六
事項中主なるものは左の如し
經常部(單位千圓)
新艦船維持費 一五、一九五
定員增加費 二九〇
航空隊航空兵器費 一五、五九四
臨時部
艦艇製造費追加 一五、〇〇〇
艦船改裝費 二〇、六八八
兵器充實更新費 二一、七一〇
軍需品整備費 五、〇〇〇
滿洲事件費 一五、四七四

農林省豫算
時局匡救費

【東京十八日發】農林省豫算は經常部二千八百九十萬六千圓臨時部

日本大使館の 實現は近い
上京途上 小磯參謀長談

小磯參謀長は有富副官帯同十八日午後三時二十四分發安奉線にて上京した、驛頭に殺垣特務機關長、立川奉天署長の見送りあつたが保々協和會理事は本溪湖まで見送つた、出發に先立ち小磯參謀長は語る

滯京約一週間の豫定で本月末までには歸任する別に滿洲里事件の爲め上京するわけでない、着任以來一度も本省に歸つてゐないしまあ參謀長の歸省さ、全權府の大使館に變ることは間違ひないことでその內武藤全權は大使に就任することゝならう、人員もそのまゝで特務部やその他は變ることはない、通商條約の締結は何時でもやる關稅問題も出來るだけ研究するし稅率引下もよからうし關稅同盟をしてもよいではないか、蘇炳文問題も近い內に片付く監禁されてゐる邦人も駐日トラヤノフスキ領事滿洲里スミルノフ領事兩氏の好意によつて無事だ、地方治安維持に就いては東邊道を始め瀋海、吉海各線吉林、奉天方面の匪賊も續々歸順してゐる有樣だ、滿洲神宮奉建のこともきいたが趣旨は大いに結構だが時期尙早ぢやないかれ、今後百萬圓の金をそれに使ふより他に緊急な用途があるだらう、然し今後將來の問題としては大いに考へるべきことだ【奉天電話】

明年度豫算 次回閣議で決定
十八日定例閣議々事

【東京十八日發】十八日の定例閣議は午前十時五十分首相官邸に開會齋藤首相以下各閣僚出席三土鐵相より

復活要求中昭和十年以降に及ぶ繼續事業あるも、時局匡救豫算は九年度を以て終了する、十年以降に及ぶ繼續事業は財政計畫上避けたく從つてこの種事業は如何九年度を待つて完成しては如何と意見を述べたが異議なく、內務省豫算中十年度以降に及ぶ河川港灣修築事業を內務、大藏兩省間にて決定することゝし高橋藏相より

明年度豫算編成に就き「新規要求復活に關し岡田海相と折衝の結果大體計數は略纏まつたが事業內容に就き多少變更を要するものがある」と報告種々協議の結果明年度豫算の正式決定は來週火曜の閣議に持越す事とし更に內田外相より最近爲替關係により在外大公館等の事務費が嵩むので節約を希望してゐるが何分にも爲替が安いから大藏省も來年度豫算で考慮してほしいと希望藏相考慮を約し散會

八千八百七十三萬八千圓計一億一千七百六十四萬四千圓でこれを前年度實行豫算に比すれば一千九百五十四萬六千圓の增加尙八年度時局匡救豫算は五千六百六十四萬圓でこれにより全國農漁山村に起工される土木事業總工費八千四百八十三萬圓就業人員九千萬人である

明糖脫稅問題

【東京十九日發】明糖脫稅問題に關する司法、大藏、法制局三省の聯合協議會は午前十時より法制局內に開會、大藏省より中島主稅課長、司法省皆川次官、法制局堀切長官以下出席、明糖脫稅問題の法規上の問題につき討議したが大藏省は從來通に公法の缺陷であり、明糖にこれ以上の責任なしとするに對し司法法制局側より種々質問あり午後零時半散會した、本日は大藏省の意見を聽取したのであるが廿五日午後一時半より開會、司法省側の意見を聽取することになつた

法改正に關する次官會議の經過報告あり正午散會した

內務省豫算 原案固執

【東京十九日發】十八日豫算閣議

健康週間 健康で自力更生

臨時財政調査會
次回定例閣議に提出

【東京十八日發】政府は財政建直しのため行財稅制三大整理を行ひ財政の根本方針を樹つべく臨時財政調查會を設けることに內定十八日閣議に齋藤首相から諮つて同意を求める筈であつたが閣議前齋藤高橋兩相懇談の結果內務省の豫算替へが濟んで次回閣議で本極りに確定した後閣僚の諒解を求めても遲くはないとの意見に一致し同案の閣議附議は次回迄延期された

豫算調查會 民政黨設置

【東京十八日發】民政黨は十八日臨時幹部會の結果豫算調查特別委員會を設置するに決したが議會以前にこの種調查を行ふは前例なく民政黨今後の對政府態度微妙なるを示すものと注目されてゐる

財政調査會 政府部內の三案
來週閣議までに成案

【東京十九日發】財政調查會設置に對し十八日の閣議前齋藤首相は高橋藏相に對し非公式にその內意を漏らし藏相の意向を徵したところ、藏相は國家將來の財政改善、稅制整理、惹いては行政整理の必要は素よりである、就いては之を如何にするかの根本方針を審議すべき特別機關の設置には大いに贊成であるが、如何なる組織方法により最も效果を擧げ得るかはなほ篤と考慮の餘地があるので、お互にこの問題について案を練ることにしたら如何との意を表明した、之がため首相は西園寺公訪問歸京後、時機を見て更に藏相と協議し具體的に決定する段取りになつてゐる、目下政府部內で考へられてゐる案は五省會議の如きものにこの審議を附託する案、大藏、內務兩省を中心として財政、稅制の整理に關する根本的調查を行はしむる案、及び大藏、內務兩相を中心として之に關係各省大臣が參加する案の三案を有してゐるので來週の閣議迄に具體案を作り閣僚の承認を求むる模樣である

政府買上產金
アメリカへ輸出

【東京十八日發】政府は廿二日神戶出帆太洋丸で買上げ產金一二五三貫(約一千百萬圓)をアメリカに輸出する

財政前途を 藏相樂觀

【東京十九日發】高橋藏相は二十三億三千八百萬圓の尨大なる豫算に對し九億圓といふ巨額の赤字公債を財源として編成、各方面の非難を受けてゐるが、赤字公債を財源とする編成はなるべく避ければならぬが、財政難は日本のみならず世界各國が我國に比較にならぬ巨額の赤字豫算を作成してゐる事であり、更に產業界の操業や貿易關係その他より見ても歐米各國に比し我國は非常によいのだから、九億圓の赤字公債や百億圓の公債額で悲觀することはない、要はやうにして早く赤字公債の發行の如き必要なき官民協力して努力すれば驚くに足らないと財源の前途を大いに樂觀してゐる

滿洲國財政の 基礎確立す
◇―鈴木財政部最高顧問談

【京城特電十八日發】滿洲國財政部最高顧問鈴木穆氏は滿洲建國新公債その他日本シンジゲート團と打合せの爲め十八日午前十時京城通過東上したが、氏は語る

滿洲國の建國新公債は已に成立しシンジゲート團が之を引受け愈々近く拂込みを行ふことになつた、その方法は第一回の拂込みは十二月、第二回は來年一月第三回は二月と三回に分けて拂込み完了する譯である、要するにこの建國公債が豫期以上に斯くも順調に運ばれた事は滿洲國の財政的基礎が如何に確定されたかを立證するものである又滿洲國の財政は中央銀行の設立によつて最近著しく好轉し來た、目下中央銀行では紙幣の統一に全力を注いでゐるが同行の設立當時各省で發行してゐた舊紙幣だけでもザツと見積額一億三四千萬圓位あつたが、今日までに回收したのは四千五百萬圓に達してゐる全部の回收には二ケ年位を要するであらう、中央銀行の新紙幣は二千三百萬圓程發行してゐる、これに次いで補助貨を作る方針で目下造幣局で鑄造の準備を急いでゐるが、今の處その額は確定してゐないが相當多額に上る見込みである、自分は二十日東京に着いて一週間の滯在豫定である

岡田海相の 辭任期
議會終了後か

【東京十九日發】岡田海相は明年一月一日を以て滿六十五歲の停年に達し現役を退くと同時に海相の椅子をも勇退する決意を爲したので、首相はじめ海軍長老は極力留任

北平の軍事會議
學良歸平しあす開く

【北平十八日發】張學良は漢口において蔣介石等國民政府要人との河北軍事協議を終り本日午後四時十分飛行機で歸平した、右に基く軍事會議は廿日開く豫定である

廢艦比叡は 練習艦に就役

【橫須賀十八日發】ロンドン條約の犧牲となつた戰艦比叡(二七五〇〇噸)は一月より吳工廠で三十六サンチ砲塔取りはづしを行つてゐたが十二月一日より砲術學校練習艦として就役する

日蘇石油販賣 事務所設置

【東京十八日發】ロシア石油販賣權を得た松方幸次郞氏は十八日丸ビル八階に松方日蘇石油販賣事務所を設置し計畫を進めることとなつた

軍縮新提案と 歐洲小國態度

【パリー十七日發】十七日の軍縮會議幹部會で英外相サイモン氏が出した軍縮新提案に對しポーランド、ベルギー、ロシア、スイス、チエツコの各代表は默殺したがヘンダーソン大長のドイツの再參加要請には贊成意見を表した、尙軍縮幹部會としては軍備平等は卽時決定を要する問題だがこれが解決はドイツの參加なくしては不可能だといふに意見一致してゐる

有吉公使歸任

【東京十八日發】駐支公使有吉明氏は廿日夜九時二十五分發で離京歸任する

在滿邦人に對し 滿洲國が課稅說
何等正式交涉を受けず 八田滿鐵副總裁談

新京からの歸途奉天に立ち寄つた八田滿鐵副總裁は滿洲國の課稅問題につき滿鐵公館にて左の如く語る

在滿邦人に對し滿洲國が課稅するやうな話があるが、滿鐵としては未だ正式に何の交涉も受けてゐない、若しそのやうなことがあつても、附屬地內及び關東州內の邦人居留民に對する課稅は法權侵害になるから絕對に承服するわけにはいかない、併しながら法權が撤廢された後なら問題は別だ、そのときは當然稅權を滿洲國政府の手に移るものと思ふ、なほ商埠地や城內の居留邦人に對する滿洲國の課稅については居留民會或は領事館において交涉すべきで、滿鐵としては別に干與すべきところではない、治外法權の撤廢は早晚實現されることゝ思ふがはつきりした時期は判らない

なほ八田副總裁は山崎理事と共に午後一時半總領事館に森島領事を訪れたが午後十時四十五分發列車で南下の豫定である【奉天電話】

で削除されんとした河川港灣修築事業につき內務省は十八日來對策協議中であるが飽く迄原案固執の方針である

兩大使待命決定

【東京十八日發】十八日の閣議で廣田駐露、吉田駐伊兩大使の待命を決定此の結果兩大使は待命となり臨時外務省の事務に從事する筈である

宇垣朝鮮總督 陸相と會見

【東京十九日發】宇垣朝鮮總督は十九日午前十時半荒木陸相を官邸に訪ひ、朝鮮國境警備問題、羅南師團兵備改善問題等につき三十分會見して辭去した

任勸告の結果、首相との間に或種の諒解成り議會終了後圓滿辭職すると觀らる

阿片收買法 改正佈告

滿洲國財政部は十九日佈告第八號を以て左の佈告文を發した

佈告文

本月十六日付敎令第百八號を以つて暫行阿片收買法中第一條を改正せられ阿片禁出期間を大同二年一月十日迄延長せらる、これ法令の普及全からずその趣旨徹底せざる地方あるを慮り、犯意なくして法網に觸るるものをなからしめんがためなり、一般人民よく法の實狀を體し左記各項を遵奉し敢て違反することなかれ

一、阿片所有し所持せるものにして未だこれを提出せざるものは速に縣長、旗長、又は市長の指定する場所又は阿片收買人に洩れなく提出して賣出すべし

二、阿片の提出をなさず又はこれを隱匿し所持するものは假借なく國法に照し嚴罰に處せられ、該阿片はこれを沒收せらる右布告す【新京電話】

社説
在滿邦人正義の聲を高めて
代表部へ後援　歐米へ反省を

本日在滿日本人時局後援會主催にて、全滿日本人時局大會が開かれる。云ふまでもなく、二十一日より開かるゝ國際聯盟に對する全滿日本人の意思を表白して、我國の主張を貫徹せしめんとするのが其目的である。國際聯盟の態度は、滿洲問題の解決によりて日支國交の圓滑を謀り東洋永遠の和平を策せんとするに在ることゝ勿論であるが、其主題として討議さるゝのは例のリットン報告書である。リットン報告書が甚だ杜撰極まるもので、隨處に認識不足を暴露し、決して滿洲問題解決の鍵たるべきものでない事は、從來各方面より指摘された所であるが、歐米人には歐米人に共通の對東洋觀念があつて、吾々から見て認識不足と爲す所も彼等は必ずしも認識不足と思はず、又其提唱する方案も、吾々が不適當と思惟しても彼等は必ずしも不適當と思ふわけではない。隨つてリットン報告書の認識も普通の歐米人よりは精確であり、其方案も歐米人の對東洋觀念に適する點あるによりて、或は之れに贊同の意向を有するものなしとせぬ。

◇

吾々より見れば、滿洲問題は滿洲國の成立によりて既に解決されて居るので、今更解決法を講ずる必要はなく、東洋永遠の平和は立派な理想を抱いて起てる滿洲國を列國擧つて承認し、其の内外政策を扶掖するに若くはない。其の以外の方法は如何なる方法でも却つて事態を紛糾せしめて、東洋の和平を妨害するのである。元來東洋の和平は支那の安定を以て唯一の方策と爲すべきであるが、それは一朝一夕に望むべきでないから、先づ滿洲だけでも安定せしめて、東洋和平の端を此處に開かんとするのは極めて事實に卽した考へ方であつて、滿洲は其獨立國家創立によりて着々安定を得つゝある。之れを破壞して、此地を再び以前の混沌狀態に陷らしめんとするのが甚だ心得違ひであるのは云ふまでもない。而してリットン報告書は此の不心得を主張するものである。

◇

しかも此のリットン報告書が尙歐米人間に興味を持たしめんとするのであるから、吾々は之れに對して極力其の妄を辯じ誤りを匡して東洋の平和を守らねばならぬ。我政府は此見地よりして、早く對策を決し、今や我が代表部はジユネーヴに結束して、歐米人の謬見を打開せんと待ち構へてゐる。我が全國民は一致してその堅決的意思を表白して、政府を後援し、我代表部を鼓舞せねばならぬ。殊に滿洲現地に在住する邦人に於てをやである。されば先日來滿洲各地の邦人は、より〳〵大會を開きて、リットン報告書の不當を決議し、邦人の意思は滿洲國承認を貫徹するより外に何ものも無い事を表白し、內に自ら此の志を固め、外に歐米人の反省を促さん事に全力を竭してゐる。

◇

リットン報告書の謬妄に對して最も憤慨しつゝある者の滿洲國人たるは當然で、既に滿洲國民衆總代表、副代表其他各省各縣、並にハルビン特別區、蒙古各地の代表は、リットン報告書に、新國家の成立が民衆の意思に基かずと獨斷してゐるのを辯駁し、其の反駁書を聯盟方面に發送してゐる。その他蒙古七十萬の民族は別に滿洲國家の創立が彼等の最も欲喜する所たる旨を聲明してゐる。實際、僅々三千幾百萬人中の一千五百人の無責任な投書によりて、建國は民衆の意思にあらずと斷定する如きは、如何なる理論を以てするも支持し得べきにあらず此の、報告書の杜撰極まる事は此一點だけ捉へて見ても明白である。

◇

其他誣妄、誤謬に滿たされゐるは、既に各方面からも論議され吾人も逐一議論してゐるから今更此處に指摘するまでもないが、特に報告書は滿洲を以て列國共同管理の如き形式によりて支配せんとするもの、更に切言すれば歐米の共同管理下に置かんとするものなるを擧げて、極力吾々東洋人の排撃せざる可らざるものなるを指摘せざるを得ない。吾人はジユネーヴに於ける我代表部が既に陣容を整へたるを知り、十分に國意を貫徹するであらうを信ずるものであるが、此際現地に於ける吾々在滿邦人が、其聲を大にし、其勢を張つて、我國民の堅決心を發揚し、以て我代表部後援の意を表示し、之れによりて歐米人の認識不足に反省を促すは、又極めて緊要事たるを信ずるものである。

新に締結すべき日滿通商航海條約
起草方齋藤博士に依囑

【東京十八日發】日滿通商航海に關してわが外務省は日滿議定書の明文により日支通商條約をそのまゝ適用すべく準備して來たが日滿兩國の特殊的關係に鑑み不利不便の點が多いので此際新に日滿

航海條約 を締結する方針でその案文の起草方を關東軍顧問齋藤良衞博士に委囑し、同博士は滿洲で實地調査を遂げると共に滿洲國政府當局とも諸般の折衝をなした上歸京、外務省當局の意嚮を質して直に立案に着手したが、この程大體脫稿したので更に近く軍部その他の關係當局と聯合協議會を開いて案文の整調をなすことになつて居る、斯くて原案決定の上は更に滿洲國當局と折衝を開始する筈であるがその時期は

多分來春 早々となる見込みである、右原案の內容は無論嚴秘に附されてゐるも領事裁判權の全廢、領事使節等の交換、兩國民の渡航、移住、營業等凡ゆる問題に亘り日滿兩國修好上の原則的基準を定めるであらうと見られて居る

二月物十九弗臺實現
危し、大關門割れ
爲替急轉步の續落

【東京十八日發】十八日午前東京爲替市場は前日の上海市場日米裁定引値が二十弗買ひから二十弗二十九仙と恢復したのを入れて稍々落着きを示して寄付いたがニユーヨーク米日爲替が二十弗二十五仙と三十七仙方暴落底意弱含みのため前日に比し一ポイント弱く對米二十弗八分の一賣り同八分の三買ひ唱へとなり二月物は遂に二十弗の大關門を完全に割り十九弗十六分の十五賣り二十弗買ひ唱へとなり期近物の二十弗臺も目前に迫つた尤も正金ではアクセプタンス市場レートより二ポント高さし銀行家の取引にも前日午後に引續き神戶市場に於て一月物二十弗四分の一位には賣り應ずる氣構を示し暴落阻止に大童である

日本の政府豫算が陸海軍軍事費に支出の大なる部分を加へ歲入不足を公債に依つて埋めるといふ政策を執つて居る限り圓爲替は恢るしき回復は望み難いといふのが多數の意見である

大連筋の巨額の圓思惑が上海市場に至大の影響を及ぼした事は事實であり日本政府が大連筋の思惑策動に對して何等かの對策を考慮すると云ふ入報のあつた時には當地にある思惑筋は周章狼狽して賣りの買埋をやつたのであつた

支那人爲替業者は圓爲替は目先で一段安を見すべしとの考へを抱いて居りこの信念に基き引續き賣りに廻つて居る尙支那人の間では圓を買つて金を賣ると巨利を博するといふものがあるそれは日本に於いて安い圓を以て比較的有利に金を買ひ集めこれを大連經由上海へ密輸入するとボロい儲けがあるからである

正金の賣出動

【大阪十八日發】大阪爲替市場正金銀行は續いて挺入れ的賣出動の態度を繼續し近物廿弗八分三を維持し居るも先は半ポイント方引下げ一月物對米廿弗十六分三對英一志二片十六分十三の唱へで一般の買氣强く商談相當出來した模樣で上海引返し氣味なるも賣手逃げ足に相場ノミナルで氣配保合を示した

暴落原因
上海筋の思惑

【上海十八日發】最近の日本爲替の暴落が主として上海に於ける思惑筋の策動によるものと觀られて居る折柄、上海爲替市場當業者の圓爲替前途觀をただすに有力者は何れも先行きに對し何等かの豫測を試みることは極度に回避し殆ど據るべき意見を聞くを得ない然し

天津港揚げに輸入關稅を賦課
鴨綠江製紙の打擊

滿洲國の海關接收以來、國民政府の海關當局は對滿報復關稅を行ふべくその後あらゆる策を弄しつゝあるが、この時に當り安東に工場を有する鴨綠江製紙會社製品に對し突如高額の輸入關稅を天津において賦課した、この擧に對し國民政府海關當局もその根據を何等明示するところなく實行したものであるが、滿洲國の關稅改正後といへども從前通り輸入されてゐたものだけに今回のこの行爲につき頗る非難されてゐる、課稅物品は過般安東積出し大連經由で天津に仕向けられたもので、荷揚げに際し天津海關より輸入稅徵收の旨申達あつたに端を發し、天津總領事の嚴重抗議となつた結果、天津海關では遂に上海總稅務司宛請訓し處決を待つた、然るに總稅務司メーズ氏は過般發表の「大連から來る貨物は輸入稅を徵收すべし」を楯にとり、何等具體的徵收理由を明示せず徵收する旨訓令を爲し來つたが今後益々出貨旺盛を極めんとする鴨綠江製紙會社では相當の打擊あること勿論でこれが對策につき關係各所に折衝方を依賴するところあつた【安東電話】

滿洲國の外交方針
建國以來の經過槪要（3）
滿洲國外交部總務司長　朱之正

我 滿洲國は創建日尙淺く內外多事前途に大なる困難を控へ居るにも拘らず、條理をつくして國際信義を保持し、その負ふべき責任義務を果すため努力して居るのである、既に今日立派な國際間の一獨立國家として聯盟その他において堂々の論議を進めつゝある國家にして、尙且革命外交その他美名にかくれ國際信義を蹂躙し責任を轉嫁して憚らざる實例乏しからざる事實と對照して我新興滿洲國の外交方針は正に世界に向つて誇るべきものにて我光輝ある王道精神は空疎なる理論でなく、これ等實際政策を以て步一步世界の外交場裡へ力强い步みを踏み込みつゝあるのである

斯 く我滿洲國が堅實なる新國家建設への努力を進めて來た經過を輕視して居た隣邦日本は種々考慮硏究した結果、徐ろにその準備を進め大同元年九月十五日遂に正式に我滿洲國を承認すると共に相互に內外の脅威に對し共同して防衞する盟約を結んだ、これは內外の記憶尙餘りに新しく茲に自分が多くを說く必要はないと思ふ、更に日本に次いで我國との關係最も緊密なる隣國蘇聯邦は曩に我國領事の極東蘇領駐在を認め、現に武市には先般我方領事が着任したやうな次第で、今後滿蘇兩國の關係は更に新しき進展を見せるものと期待せられる

茲 に一言したきは吾人は敢て列國の承認を求むるに汲々たるものでないことである、わが建國の精神は王道に立脚して萬民安住の樂土を實現するに存し、これがため國力の充實を圖り、又外國人に對しても友好的且つ公正なる待遇を與ふるに努むること勿論であるが、列國がこれを認めて承認を與ふると否とは、寧ろ第二義の問題である、列國承認の有無に關せず吾人は完全なる獨立國としてその理想の實現に邁進するものにて作爲的宣傳や見えすいた術策を弄して、他國の鼻息を窺ひ好感を持たせんとする如きは、吾人の絕對に採らざる所である、卽ち吾人は飽くまで王道主義による外交方針の完成を期すべきである

以 上は本年三月我滿洲國成立以來今日に至る迄の外交方面に關する重要案件の經過槪要であるが、これ以外我滿洲國に關して目下世上の注意を惹きつゝあるは國際聯盟における問題である、元來我國は國際聯盟の一員でもなく又聯盟に於ける日支紛爭に關してば第三者の立場にあるもので、所謂リットン委員會の報告書の如きも、これに何等の重要性を認めないものであるが、その中には三千萬民衆の意思を無視したる記述を爲し、又我國の獨立と相容れざる解決方法を提示する等非禮の點もあるから茲に簡單なる批評を加へて見やう

卽 ち國際聯盟は曩に調査團を派遣して我滿洲新國家の成立及び現在の實狀について調査をなし旣にその報告書を作成發表したのであるが、調査團は

（一）最初滿洲國の成立に好意を有せざる一派の策動により良からざる印象を受けて來滿したこと

（二）その調査人員が多くは極東の事情に暗く眞實を諒解して居らなかつたこと

（三）期間が少なかつたため十二分の調査を遂げることが出來なかつたこと

の事情により遺憾ながら公正且つ妥當なる結果を得ず、その結論の如きも寧ろこれによつて極東の紛糾混亂を擴大する恐れあるが如きもので、その本來の使命たる東亞の紛爭解決の目的とは相距ること甚だ遠いものであつた

就 中我滿洲國に關する項においては戰亂の本源たる南京政府の或一派及び張家の代辯者等によつて與へられた極めて惡き材料によつて調査を遂げ、而もその報告に對する報告の責任上完成をいそいだため、そこに大なる無理を生じ極めて非公正、不合理なる報告をなして居る、この點に關しては世界各國公平なる論者によつて過ちと誤謬が指摘されつゝある實もあり、且又その報告の如何に拘らず現實において極めて完全なる成長を遂げる一方、國內には正當且つ合法的な外交によつて極東平和延いては世界の幸福增進のため努力しつゝ我滿洲國の存在は到底否むべからざるもので、今後我等の採る唯一の路は、立國の精神如何に一時的な四面の情勢如何に惑はさるゝことなく、內は民生を豐にし王道精神の普及を念として滿洲國の健全なる發展に向つて進むべきである（完）

遼陽燒酎の南支輸出は全く杜絕
支那側の不當課稅で

過般來問題となつてゐる支那側の不當課稅は遂に遼陽燒酎の營口積出、上海、天津、香港、廣東港着のものに對しても賦課せらるゝに至り之が爲め遼陽燒酎の

南支への 輸出は全く絕望に陷つてゐる、元來滿洲土產物に對しては轉口稅のみを課し着港には何等徵稅は課せられなかつたのであるが、過般海關閉鎖以來何港積出しに拘らず之を一切外國品と見做し、加工品、旣成品、卽ち燒酎に對しても輸入稅の五割並に附加稅として輸出稅一擔に付關平銀三十七仙と轉口稅二十三仙との差額十四仙をも重加するに至つたので、遼陽驛發燒酎の南支向は昨今に至り一切杜絕するに至つたのである、これが爲め甚大なる

打擊を受 けた燒酎業者は之が對策について寄々協議の結果不當課稅問題はこと對支關係にかゝり容易に解決の見込がたゝないので應急の救濟策として暫定的に營業稅の減免方を縣長並に奉天稅捐局に陳情したるところ、これは一般的に影響するところが大きく局地的に減免することは不可能との理由で却下さるゝに至つたので燒酎業者は全く全滅の危機に瀕してゐる、依つて營口向燒酎は目下地賣捌のものを少量發送するのみでその他は一切杜絕し、この

打開策と して販路を滿洲國各地に需め僅かに不採算的な賣捌を行つてゐる狀態である、因に遼陽より營口經由の南支向燒酎の輸出年額は左の通りである

年度	額
昭和四年度	二、七五二、〇〇〇斤
同　五年度	一、五六三、一〇〇斤
同　六年度	一、九八、二〇〇斤

【奉天電話】

滿洲國實業團招待懇談會

【東京特電十八日發】滿洲國實業視察團林團長一行十七名の招待懇談會は河田拓務次官外各省事務次官の主催にて十八日正午華族會館に催され朝野各界の有志七十名出席意見の交換を行つたが、席上林團長は

今回の視察により大いに益するところがあつた、卽ち日本內地の實業家が新滿洲國に絕大なる同情を有する事を認識し、且つ內地において羊毛の如き非常に需要あるにかゝはらず滿洲產の良品ある事を知らず、現に閑却してゐる事、その他〻あつて、我々は今回の視察により日滿貿易の上に何等かの貢獻なすべき素地を作つた事をこゝに明言する事が出來る

と述べ一般の注意をひいた一行は三日中歸途につく筈であるが、今夜は滿鐵支社長大灘理事の招待で明治座の歌舞伎劇を見物して上機嫌であつた

蒙古馬の耐久力試驗

十有餘年に亘り蒙古馬の硏究を續けその粗飼、粗管理にして尙極寒極暑に對して驚くべき耐久力を有するに鑑み豫て在滿皇軍及同胞慰問のため來滿中の紡方政氏はその歸途蒙古馬を使用して來る廿五日新京を出發し奉天に出で安奉沿線經由朝鮮を經て九州一圓に亘り長距離持久力試驗をなし一月中旬鄕里に歸着するはずであるが右試驗は將來產馬育成法の改革に資する興味ある企てと見られてゐる

102番の仕事
K・F生

◇いくら電話帳をめくり廻しても番號が見つからない、さうだ、三ケ月前につけた新電話だ、それで私は電話帳表裏に書つけてある番號問合せ……一〇二番といふ局用電話を見て電話局の行屆いた親切に感謝しながらダイアル一〇二を廻します。

◇出て來た交換嬢に町名、氏名、何日架設したおほよその日まで告げて番號を伺ひます、と暫く待つてお答へは「わかりませぬ」

◇二度、三度、八度、九度……幾度問合せを繰返しても電話帳に記載のない番號はきまつてわかりませぬ、時に親切な交換嬢は「電話帳にありませぬからわかりませぬ」と答へて下さいます、これは大連だけではありませぬ、奉天も同樣、わざ〳〵番號問合せのための局用電話に伺つてみて電話帳記載外の新電話の番號は教へていたゞいたことはありませぬ。

◇尤も電話帳にあるものなら一〇二番で親切に教へて下さいます、然し私共は電話帳に在るものをわざ〳〵お上の手を煩はして御訊ねすることは恐縮に存じて居ります、電話帳にない新電話のみ一〇二番に御願ひするのですところがこれがわからないとあつては私共はどちら樣に番號をお訊ねしたら良いでせうか。

日本人時局大會
運動方法其他きまる

在滿日本人時局後援會では十八日午後一時より市役所に於て二十日開催される全滿日本人時局大會の團體運動實行委員會を開き各委員が手分けして勸誘した各團體參加狀況を報告し且つ國際聯盟に對し在滿邦人の確固たる所信を示す最も力强いものとすべく種々協議したが參加團體の運動方法は左の通りである

▲在鄕軍人聯合分會　正午忠靈塔前に集合爆竹を鳴らし祈願祭を執行右終つて市中を行進し氣勢を擧げ會場たる協和會館に入る

▲修養團　午前七時忠靈塔前で祈願祭を執行し、市內十一箇所で傷病兵の慰問金を募集

▲連鎖街　國旗を掲揚し各店舖および街路を裝飾し當日の大會氣分を煽る

▲日の出俱樂部　午後三時、日の丸一對および日の出町區の旗頭として參加者に日の丸の旗を附、行列して忠靈塔に參拜さらに大連神社に參拜し祈願をす

▲大連商業學校　十九日に時究會を開催し「リットン報告書を續る世界の情勢」の講演會を催

▲伏見臺小學校　當番小學校として各學校を代表し大連神社で祭を執行

▲大正小學校　沙河口神社に新願祭を執行し終つて旗行列を行ふ

▲松林小學校　生徒に對し講話を開き午後一時校門を出發し行列を爲しつゝ大連神社に新願を爲む

なほその他の諸團體に於ても示威運動を起す筈である

重要商品輸出入額

【東京十九日發】大藏省發表十一月中旬重要商品輸出入額左の如し（單位千圓）

▲輸出

品目	額
綿絲	四、九六
生絲	一五、五五五

東邊道善後方針
政治工作は着々進捗
金井奉天省公署總務廳長談

奉天省公署總務廳長金井章次[?]氏は東邊道の善後處置について語る

軍の威力によつて東邊道一帶の匪賊は殆んど影を潛めたので目下救濟や善後處置の政治工作を着々進めてゐる、差當り自衞團公安隊の整理編成や道路工事、縣城や土壁の修理工事等に依つて窮民を賑はすやうにしてゐる

救濟資金 融通もやるつもり [illegible]

取消申込

十八日附發行貴紙第二頁御掲載「在連米領事滿鐵へ〔滿洲國の課稅に我意見〕」云々の記事有之候處當領事は着任以 [illegible]

は本日午前市參事會長ベル氏を訪問租界內における除奸團の取締を要請した、これに對しベル氏は誠意をもつて要求に副ふ旨回答した

兩女史滿洲の女子教育視察

外務省文化事業部より滿洲國特に女子教育狀況視察のため派遣されたる日本女子大學社會學部長正田淑子、日華學會主事服部升子の兩女史は去る十四日奉天に到着沿線各地を視察の上來る二十三日午後七時五十分新京に到着の豫定である、新京滯在期間は二日として各機關の視察硏究をなすはず、特に文教部に於て各種の便宜を與へるはず、なほ兩女史は今後ハルビン、チ、ハル、滿洲里等最も危險視されてある奧地の視察をなし一般視察者とその行を異にし決死の覺悟を以て視察眼を働かせたいとのことであつた【新京電話】

▲輸入

品目	額
綿織物	九、三八二
絹織物	一、三九九
棉花	一六、〇八四

尙同旬中の輸出生絲輸入棉花數量（單位百斤）

品目	數量
生絲	一七、七七四
棉花	三二〇、四〇六

市況（十九日）

株式
內地株低落 當市下押す

大阪短期後場寄り大新二圓安、鐘新一圓六十錢安、東新二圓五十錢安を入れ當市延五品七十錢乃至九十錢安、新豆五十錢安、東新二圓九十錢安と下押す

後場

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
新豆 寄	—	—
新豆 引	—	—
錢鈔 寄	—	—
錢鈔 引	—	—
滿興 寄	—	—
滿興 引	—	—
五品 寄	二一六	二一四
五品 中	二一六	二一六
五品 引	二一四	二一七

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品[?]	二三五	二三五	二三五	二三五
新豆	二三〇	二三〇	二三〇	二三〇
錢鈔	一七九	一七九	一七九	一七九
東新	一七九	一七九	一七九	一七九

特產
賣物薄で大豆强調

後場の定期は休日を控え仕手薄ながら賣物薄に强調を辿り豆粕は閑散保合豆油は邦商買に强調を示し高粱は區々保合を入れた

◇定期後場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　五十九車

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲普通大豆（出來不申）

錢鈔
鈔票軟化

[illegible]

商品
麻袋變らず 綿糸期近軟化

[illegible]

奥地市況

[illegible]

山崎領事の手記來る

銃聲、悲鳴の中に恐怖の第一夜

領事館早くも包圍さる

滿洲里事件日誌(一)

去る九月二十七日突如滿洲里で起つた護路軍の兵變とこれに續く邦人の監禁殺害事件は各方面に多大の衝動を與へ爾來二ケ月同地の邦人は過般婦女子が露領マツエフスカヤに避難することが出來たが殘餘の邦人は依然同地に監禁されてをり、しかも同地との通信はロシア側の好意によりモスクワを經て報道されるのみ、監禁されてゐる邦人の消息は斷片的に知るを得たに過ぎず、殊に事件突發直後における詳細な状況は一切不明であつたが十九日マツエフスカヤに在る大谷副領事より新京全權部に達した山崎滿洲里領事の事件經過日誌によつて一切の事情が明瞭となるにいたつた即ちこれによつて事件以後護路軍のとつた行動、邦人が監禁された經緯及びその後の情況が一切明らかとなつた山崎領事の手記左の如くである【新京電話】【寫眞は山崎領事】

九月廿七日(夕刊つゞき)　然るに護路軍側にては既に準備整ひ門前より警察隊の前面まで散兵線敷かれ、警察隊前面の家屋を防壁として既に處々より砲撃す、數回の連絡線を突破し辛ふじて護路軍側の一時發砲中止により警察隊前線の道路近くまで進みたるが、再び護路軍側よりも猛射し到底前進不可能なりしをもつて同書記生は司令部の宇野隊長より再び充分なる電話連絡をとる必要上やむなく司令部に歸來した

騎虎の勢ひ次第に惡化し遂に收拾すべからざるに至るを恐れ遂に全員舉つて本件解決のため戰場に赴くことを中止し、本官のみ人質格にて司令部に殘留することゝなりたるを以て用事濟み次第福間書記生を館務後始末のため歸還せしむべき約束の下に宇野隊長、小原大尉、福間書記生及び吳司令、鈕團長は共に司令部を出たり、途中護路第二防備線にて形勢を觀ふと共に宇野隊長一人のみ歸隊、武裝解除につき館員を說得せしむることゝなり同隊長は戰線を潛り辛ふじて歸隊するを得たり、小原大尉、吳司令の兩名は同道して

先約に基き吳司令の許可を得、兵士二名に護られて途中數ケ所の防禦線を突破し領事館に辿り着きたるも館內寂として聲なく門扉開かず領事館を包圍せる惡化支那兵

のため館前にて數百の狙ひ擊ちを受けたるも危機一髮にて難を免れ約一時間附近の特別警察署に拘禁せられたるがその後兵士の行爲により漸く領事館近くの日本ホテル横道より歸還、連絡をさることを得たり、間もなく約二十分許り遲れて本官も歸館したり、時に午後四時二十八分

せられ室內よりのみ勘定して四十發(外部を通算せば百發以上に上る)の猛射を浴び僅かに六名の警察官をしては本館は守備廣きに失するを以て館內一隅の二階に諸員を

集結し侵入し來る支那兵に對し防禦の決心をなしたり、同時に間庭書記生は中澤巡査と共に電信符合を創作し二階に歸りたるが階上に集るものは館諸員の家族將校夫人を合して三十一名に過ぎずその殆ど婦女子なるのみならず敵襲の拳銃を以てしては到底戰ふこと覺束なきを以て最後の決心をなしたるが形勢觀察に赴きたる周巡査は停車場內(滿鐵)の武裝解除に向ひたる支那兵の發砲に會ひ急遽踵を返し諸所轉々避難し漸く窮地を脫して午後二時半頃歸還し外部の狀況を報じたり、間もなく福間書記生歸還し警察隊の武裝解除を傳へたるを以て

防禦に寸效なきを知りたる松井署長以下六名の警察官は、拳銃を棄て無抵抗主義をとるに至りたり

次で本官歸來すると共に館諸員を督勵し印及び機密書類を燒去す、この際電話は支那側の命令にて連絡出來ず當館周圍にあるこゝ迄て往來自由ならず一歩門外に出れば銃劍を着けたる支那兵のため妨害され全く籠城の實況なるより已むなく密使を

裏門よりソ聯領事館に派し引揚げの交涉を開始したるもソ聯領事館は支那側の歸國許可あり次第何時にても列車の準備をなすと云ふも如上の有樣にて引揚不可能なり、午後五時半將卒數名館內銃器取締のため

來館　各所を檢査す當館警察署員私物拳銃四及び當館備へつけ拳銃五挺計九挺及び同彈丸を

全部の邦人家屋は一物も餘さず掠奪

領事館は猛射を受く

これより先、本官等司令部に向ふや、早瀨何だか雲行き惡しき形勢に鑑み松井署長は福崎巡査に護衞に當らしめたるが既に馬車出發後なりしを以て兩巡査は徒步にて後を追ふたり、更に周巡査をして兵營方面の視察を命じ自轉車にて出發せしめたり、之れより二十分後には領事館は支那兵のために包圍

一先づ領事館に邦人を收容

支那兵領事館で掠奪

九月廿八日　領事館護衞と稱する數十名の支那兵は領事館を包圍し自由外出を妨害し館外に一歩も出さしめず郵便電話の通報は二十七日の事變發生當初より嚴禁せり、午前十一時梁中校來訪、依つて四、五道街方面の居留民並びに警察隊家族の領事館引揚げを實行すべく梁中校に周巡查、白井茂七、木島七助兩氏をつけ支那兵の掠奪暴行する邦人家屋を順次歷訪して收容の任務を遂行し着々護衞不足にて着のみ着のまゝにて領事館に避難せしむ

午後二時十分日本の飛行機館上空に飛來す、當館に集合せる全員中庭に出て國旗を地上に擧げて無事なるを示す、二時半ソ聯領事に對し歸朝の途にある廣田大使をチタより浦鹽にその他邦人旅行者の浦鹽迂廻歸國方を然るべく取計ひ方を依賴す、これより先正午鈕團長來訪に際し小原、宇野兩氏の

交付したり

それより各日本人家屋の銃器檢查を行ひたき旨申出でたるを以て邦人救出並に被害狀況調査の唯一の機會なりとし早速周巡查に依賴し民會長を隨行せしめ一道街、二道街、三道街の邦人家屋の家宅搜索に立ち會ひたるも兵士は多くは現場搜查より掠奪に變じ當時殺氣立つたる兵に對しては拱手傍觀全く蹂躪し樣なく邦人家屋全部一物をも餘さず掠奪されたるが邦人は四道街五道街の居住者を除き殆ど全部館內に收容することを得たるは不幸中の幸なり、周巡查一行はかくて一道街、二道街、三道街の家宅搜

査に立ち會ひたる上司令部に

連行せられ漸く二十八日午前十一時歸還せり、一方警察隊側は宇野隊長の命令に基き全員武裝解除を行はれ警察隊事務所に監禁せられたるが宇野隊長は武裝解除を終るや再び司令部に連行せられ小原大尉と共に本官の退出後約一時間遲れて小原大尉宅に送られ拳銃携帶の嚴重なる兵士數名家內監視の下に同家に一夜を明せり

夜に入るも警察隊巡查は歸來せず且つ四道街、五道街方面には銃聲殊に悲鳴交はり、更に當館の周圍は數十名の武裝支那兵のため包圍せられ、極度の恐怖に全員戰慄裡に一夜を明せり

九月三十日　正午某排長兵二名を率ゐ領事館の武器檢查を申込みたるが三時ごろ吳司令より小原大尉宇野隊長を小原公館より領事館に護送する旨話あり時を移さず護送し來る、吳司令に對し居留民の行方不明者搜查並に拘留者引渡方を書面にて交涉す

動靜並びに當館に護送方を申込みたるところ直ちにブローニング拳銃のサックを外し打ち振りながら館內各室を搜查し間庭書記生官舍にてグローキー及指環、女持時計、帶止め、寶石類等價格約一千圓を强奪し去る、午後四時ソ聯領事より哈大洋三千元を送り來り受領す、內千元を海拉爾出張員に送付方を依賴せり、午後食料品買ひ入れのため支那兵護衞の下に民家より二名を市場に派遣す、夜間蒙滿海少尉が來館、頗る橫柄なる態度にて暴言を吐きたるもこの際手を下すべき方法なく圓滿に取扱ひ歸隊せしめたり(つゞく)

新嘗祭の佳き日に賑かに戶外デー

澄み切つた靑空の下電園で健康週間の大催し

本社の健康診斷並に齒科診斷と共に無料健康診斷を催す……本社主催の健康週間中の大催し物として、來る廿三日の新嘗祭の佳き日を卜して、澄切つた靑空の下、繩薰る電氣遊園に於て、華々しく戶外デーを催すことゝなつた、向ふ約半年の間、閉め切つた二重窓と煖房の溫氣の內に、不健康な蟄居生活を續ける在滿邦人に新鮮な空氣と紫外線に親しむ習慣を植え付けるべく計畫されたものであるが、當日は電氣遊園內に於て本社苦心の變裝者探し、及び寶探し等を行ひ、寶探しは總桐タンスその他二百個の賞品を出し、變裝者探しは一等より五等まで夫々賞金を出す、新嘗祭一日を戶外に於て如何に樂しく過ごすか、本社事業部では連日案を練つてゐるが、詳細の計畫は日を逐ふて發表する筈である、尙當日は旅順に於ても戶外デーが催され、種々興味ある催しが行はれることになつてゐる

新京の健康診斷醫院を增加

二十一日から開始

十八日以來各地に一齊に開始された本社主催の健康週間は新京に於ても甚だ好成績を擧げ殊に健康診斷は新京滿鐵病院に於て之を施行してゐるが同病院は多忙を極めてゐる上に二十日、二十三の日曜、祭日は休診日に當るため健康診斷は結局二十一、廿二、廿四の三日間それも午後一時より一時半まで三十分間の外は行へずこの三十分間では三日間を通ずるも僅々六十人餘の少數に對して健康診斷を行ひ得るに止まり、健康週間催の主旨にも反する憾みあるについて新京滿鐵地方事務所では市內左記の各齒科醫その他開業醫師に健康診斷の施行を依賴したところ直にその快諾を得たので廿一、廿二、廿四の三日間毎日午後一時より二時半まで健康診斷を施行することゝなつた

淸水齒科醫院、安谷齒科醫院、安利齒科醫院、小澤齒科醫院、松崎齒科醫院、早川齒科醫院、堀山產婦人科醫院、杏林堂醫院(小兒、內科)濱田醫院(外科、皮膚科)福島醫院(小兒科、內

健康週間(第一日)

健康週間第一日の健康診斷は市中一般醫院は十八日正午より午二後時まで、大連醫院並に赤十字病院は午後二時より、夫々一齊に開始された、大連醫院始め全市內約八十軒の醫院、並に約六十軒の齒科醫院總動員の下に市民の診斷に應じたが、保健思想徹底した市民は續々最寄の病院を訪れて受診した

大連醫院では特に健康診斷受附室を設けて待ち構へてゐた、受診中の同室を訪ふと旣に數名の受診者が順番を待つてゐたが

◇…或ひは醫員より完全無缺の健康體と折紙を附けられて小躍りして歸つて行くものあり

◇…或ひは輕微な肺尖加答兒の症あるを敎へられ、若し知らずに放置しておいたなれば取り返しがつかないことになつたが今の內なら僅かの治療で全癒するさ敎へられて大喜びで歸つて行くものもあつた

◇…又中には今後更に奧地に進んで事業を起したいと考へてゐるが、自分の體は大丈夫だらうかと健康相談に來るものもあり殊に赤十字病院の如きは小兒科の受診者が非常に多かつたが、矢張り自分の體よりも子供の體が氣になるのは親の愛でせうと醫員も感激し、何れも市民の保健思想が發達して來たからだと醫員も本社係員も大喜びであつた、その他一般醫員、齒科醫院共に相當多數の診斷希望者が來院し

◇…又この處方箋を受けて市內藥局に投藥を受ける市民も多く、伊勢町藥局は第一日だけで數名の無料投藥をなした

かくして健康診斷の第一日は市民の保健思想徹底と理解とを以て豫期以上の成功を贈した

ラヂオの夕

本社主催健康週間の第一日を飾るラヂオの夕は十八日午後六時四十五分より開始されラヂオファンは勿論市民一般に多大の感銘を與へた、先づ小川市長代理の岡野助役はマイクを通じ明るい健康的な聲で開會の辭をのべ本社の企てに多大の贊意を表し次で「乳齒に就いて母の注意」と題し關利重齒科醫が極めて平易に家庭的な講演を試み有意義な效果をあげ引つゞいて大連醫院眼科醫長船川博士は「豫防出來る眼病」と云ふこれ又吾人の日常必ず心得べき注意を促し終るや森本博士は「扁桃腺炎の症狀と手當」について時節柄有益な講演があり、かくてプログラムは愈々興味を加へ、滿鐵音樂會高津敏氏のタクトによつて文部省體育運動化が健康な女性の合唱で見えたところを見せ終るや大連醫院柳原博士によつて梅毒に對する一般市民に是非心得ればならぬ注意があり、最後に當夜の呼物であるラヂオドラマ「靑空」が巧に放送されドラマ中の「健康第一外へ外へ」の唱歌も健康週間を意義あらしむるに頗る效果的、かくて九時十分前本社佐賀藥業局長はこのラヂオの夕を意義あらしめた、各講演者に對し更に健康週間に後援される力强い市民各位に對し謝意を表し閉會の辭となし九時十五分、すこぶる成功裡にラヂオの夕を閉ぢる

奉天の健康診斷

健康第一をモットーに健康增進を目的とし第二回全滿健康週間は滿鐵地方部及び本社主催の下に十八日から全滿鐵病院において一齊に開始されたがこれと共に奉天においても滿洲醫大醫院においてこの健康週間期間(日曜祭日を除く)每日午後一時より同三時までこの診斷を無料で行ふが希望者は遠慮なく奉天事務所地方課社會係で證明書を貰ひ醫大醫院に行けば外科皮膚科を除く外健康診斷を受けることが出來る【奉天電話】

暴風被害御救恤御內帑金御下賜

畏き兩陛下の御思召

【東京十九日發】天皇皇后兩陛下は十九日正午、十四日夜來の大暴風雨被害御救恤として御內帑金二萬三千圓御下賜あらせられた、內譯左の如し

東京府一千圓、神奈川縣七千圓、靜岡縣七千圓、茨城縣三千五百圓、千葉縣二千五百圓、福島縣二千圓

【東京十九日發】天皇皇后兩陛下は十四日夜來大暴風雨被害大なるを聽召され東京、靜岡、神奈川、千葉、茨城、福島の被害一府五縣に對し御救恤金二萬三千圓御下賜あらせられ十九日一木宮相より各府縣當局へ傳達した

新嘗祭に大連で劍道大試合

有段者の優勝刀爭覇戰及び第四回州內外對抗戰

滿洲劍友會主催の第八回全滿洲劍道三段以下有段者優勝刀爭覇戰及び第四回州內對州外四段以上優勝刀爭覇戰は來る二十三日午前八時半より大連滿鐵道場に於いて擧行するが三段以下爭覇戰は前年度優勝團體滿洲醫科大學以下二十七組の參加あり、醫大一組、若葉一組、旅順A組、大連道場一組等優勝候補に擧げられて居るが混戰を豫想されて居る、又四段以上の州內外戰は全滿の劍豪を網羅し州內軍三年連勝記錄を殘して居るが本年度は州外軍强しと評され雪辱するのではないかと期待されて居る

出場の團體名及び劍士左の如し

▲團體爭覇戰　鞍山體育協會、遼陽體育協會、旅順工科大學、武德會滿洲支部、營口武道獎勵會第一組、營口武道獎勵會第二組、關東廳刑務所、滿洲醫科大學A組、滿洲醫科大學B組、四平街劍道部、安東警察署、親子福醫察署、若葉會劍道部一組、奉天劍道部一組、奉天劍道部二組、瓦房店劍道部、若葉會劍道部二組、遼西劍友會、大連警察團、大連商業學校、撫順體育協會A組、撫順體育協會B組、新京滿鐵支部劍道部、大連道場一組、大連道場二組、沙河口道場、旅順警察署

▲州內外爭覇戰【州內軍】五段渡多江知路(滿鐵)同和田晉(南滿工專)同星野仙藏(大連市中)同高野慶造(大連商業)同中西俊衞(大連二中)同奧川金十郞(沙河口警察)同石橋洌(旅順警官練)同安齋多一(旅順警察)四段永芳繁太郞(大連市中)同赤塚明男(大連市中)同熊本政之(滿鐵)同竹下榮治(滿鐵)同菅原惠三郞(滿洲日報)同畑中中(滿洲ペイント)補缺五段辻丸鉎雄(小崗子警察)五段柴田末藏(普蘭店警察)四段福勇(大連一中)【州外軍】五段渡部行治(大石橋警察)同早田勝介(營口警察)同柴藤勝巳(鞍山警察)同十川彌市(滿洲醫大)同藤中清治(奉天警察)同佐藤重藏(撫順中學)同竹村秀十(撫順警察)同黑田晉二(撫順警察)同横山信太郞(撫順警察)同山口安男

應援團に指揮棒

早大總長授與

【東京十八日發】早稻田大學は樸的野球戰早慶戰の應援も天下に範を示さればならぬと田中總長から應援指揮棒を授けることゝなり第一回授與式が十八日正午大隈講堂で行はれ田中總長代理山本忠興博士から應援部長中村萬吉博士を經て土倉應援團長に授與したが指揮棒の神聖保持は同大學一萬の學生も大贊成である

早大先勝

對慶應第一回戰

【東京十九日發】早慶第一回戰は十九日午後一時三十二分早大先攻にて開始されたが一對零で早大先勝閉戰三時三十二分スコアー、バツテリー左の如し

慶	000	000	000	0
早	000	001	000	1

早大　織田―三浦
慶應　上野、岸本―小川

戰死者追悼

旅順の法要

昨秋の事變と共に出動北滿の野に於て名譽の戰死を遂げた步兵第三十聯隊將士の英靈に對する在旅佛教團主催一周年追悼法要は十八日午後四時から旅順大津町聖德殿に於て開催官民多數參列の下に讀經同聯隊の如く勤修し後佐右大尉の追懷談があり一同當時を追想感激する處が深かつた

線路上に石塊

十八日午後一時三十分ごろ大連基點六キロ五百米周水子沙河口驛間の三叉路約二百米上り線路上に目放の石塊を置き列車妨害を企て、ゐるのを同四十分大連驛着の城子疃發五〇二列車國松機關士が發見同石塊を眞二ツに割つて約二十米で急停車したが乘客、列車には被害はなかつた、沙河口署で目下犯人嚴探中

氷滑聯盟發起

風とゝもに漸くスケートシーズンも迫らんとしつゝあるので十八日午後一時より滿鐵社員俱樂部樓上會議室に大連市役所栗栖昌滿洲體育協會林田學滿鐵體育係高橋俊夫滿鐵運動會スケート部川井忠定山田隆一郞大連醫院より。元奉天醫大ホッケー部選手大賀潔元京城大學ホッケー部選手拓植幸雄大連運動場中川哲藏大連新聞社富吉誠吉滿洲日報立上武三の諸氏參集の上種々協議の結果シーズンより大連にホッケー、フィギュア、スピードの各競技を統轄する統制機關を設けて斯道獎勵の爲に資すると共に右諸氏發起人となつて來週官衙學校會社等の各關係者と種々折衝の上聯盟を組織することゝなつた

艦隊歡迎打合

大連市役所では來る十二月十日入港の練習艦隊歡迎のため十九日午後一時より各關係方面の參集を乞ひ打合せ會を開くと

哀れな少年

水上署に泣つく

十九日朝襤褸の樣に疲れた身體を引づり乍ら水上署に「內地に歸らして下さい」と泣き込んだ少年長崎縣下京町生れ石丸喜八三男錦三郞(一六)で永らく撫順中央大街新井寫眞館に雇はれてゐたが餘り同館の妻女が酷使するので居たたまらず家出したもので金二圓を懷中に鞍山迄汽車で更に鞍山より瓦房店迄は五日半を費やし徒步でたどりつき漸く水

蘇家屯の火事

蘇家屯に新築中の警察署員宿舍より十九日午前六時發火し二棟を燒失し同七時鎭火したが原因は目下不明で損害は約四千圓に上ると【蘇家屯電話】

育成優勝戰へ

來る二十日鞍山に於いて擧行する全國中等學校ラグビー大會滿洲豫選優勝戰に出場する滿鐵育成學校ラグビー部一行は十九日午前九時發はとで遠征の途に就くことゝなつた

黑住敎冬至大祭

市內惠比須町黑住敎大連敎會所では來る二十日午後一時より冬至大祭を執行するが一橙園天香師の說敎、奉納筑前琵琶、宏通流生花盛花會等があると

安樂椅子

死んだ人も知よ細の土井丈太郞君は大連運動界の名物男だつたことは人も知る通りで今から約十年前滿俱野球場で椅子を賣り始めたのがそもそも運動界入りの最初だつた、後野球場の坐蒲團を考案したが恐らくこれは日本球界に於ける最初のものだつたに違ひない。

◇……爾來十餘年或時は野球場に或時は大連運動場に、または星ケ浦の家族會等々に姿を現はして運動會などにはなくてはならぬ存在だつた、何しろ「野球場の主」とまでいはれて居ただけに實滿倶チームの先輩たちの間にもオヤヂ〳〵と可愛がられたものだ

◇……露西亞町にスケート場が出來てからこの方面にも手をのばして現在大連に於けるスケート場は全部オヤヂの手にかかつて居る酒は全然飮まず何か願かけて居たのやら御茶も絕つて居た。

◇……一番愉快なのは仕事の見積りでソロバン一つおくのぢやなく、これ位で出來ませうと胸算用、結局損をしても默々と仕事を續ける、そこに同君のよさがあつたが、愈々目をつむるまでスケート場や野球場の手入を近親のものにたのんだなども面目躍如たるものあり、今後スケート場や野球場に同君のまめな姿を見出せなくなつたのは聊る寂しい

大連市催　滿洲大博覽會宣傳ポスター圖案懸賞募集

本會の目的　滿洲建國を祝賀し併て日、滿兩國の產業貿易の發達の爲

會期　昭和八年自七月二十三日至八月三十一日四十日間

場所　於大連市

ポスター圖案　隨意なるも日、滿親善の偶意あれば尙佳なり

挿入文字　會名、會期及「於大連市」

用紙　新聞全紙大(二頁大)

色掛　八度刷以內のこと

締切　昭和七年十一月三十日(當日發送の日附あるものは有效とす)

懸賞金　一等一人(貳百圓)　二等二人(五十圓宛)

審查　大連市長の委囑する審查員の審査に依る

發表　昭和七年十二月中旬大連新聞及滿洲日報に發表の豫定

其他　當選圖案の採擇及刊行は本會の自由とし、應募圖案は返還せず

大連市催　滿洲大博覽會事務局(大連市役所內)

海と空と（32）

高杉晉一郎作
橋本清史畫

手紙（四）

正子は三越からの歸途、大廣場で電車に乘らうとする時、ふとヤマトホテル前の鋪道に暢の姿を見て、乘るのを止した。電車は過ぎて了つたが正子はそのまゝ躊躇してゐた。呼び止める程暢に親いわけではなかつた。唯兄の親友の義なよく知つてゐる關係から自然と顏を合す事があるだけだつた。然し、暢を認めた瞬間に殆ど無意識に電車に乘るのを止めてゐた自分さうして言葉を掛けるのにはどぎまぎしてゐる自分に氣附くと、彼女は獨りでぽつと赤くなつた。

丁度その時暢の方で彼女を認めて、鋪道の上に立止まつた。彼女は狼狽て、お辭儀をした。暢は會社の歸りらしく折鞄を持つてゐた。

「危い」

と云はれて正子は自分が車道の眞ん中に立つたまゝでゐるのに氣が附いた。彼女は再び顏を赫くして自動車を避けると、小走りに鋪道へ立戾つて改めて挨拶をした。

立つてゐた。そこで一寸氣味不くなると急にぎこちなく頭を下げては失禮しますと別れて了つた。

次の電車が來ると、正子はそれに乘つたが、車內でまだ暢の前での上氣が去らなかつた。どうしてあんなに自分は下手な挨拶しか出來ないんだらう。それよりどうしてあんなに狼狽て、仕舞つたんだらう。車道の眞ん中でお辭儀したまゝ立つてゐたり。自分のその時の姿が暢の前に見えて、思ひ出しの中で彼女は新たに顏を赫らめた。

暢の姿の痩せてゐたのがふと氣に懸つた。御病氣か知らいや必度會社からの御歸りだつたから御病氣ぢやない。御身體が丈夫ぢやないから暑さでお痩せになるんだらう

……そんな事を繰返し繰返し考へてゐるうちに、停留場は幾つか過ぎて、氣の附いた時にはもう自分の降りる一つ手前まで來てゐるのだつた。電車の中には海水浴の仕度を持つた乘客が澤山ゐた。彼女は賑やかな海の樣子などを想像し

のやうに顏を突き合してぽかんとてみた。

電車を降りて、家へ歸ると、母は六疊の部屋で眼鏡をかけて手紙を讀んでゐた。

「吃驚。あら、それ兄さんの御返事でせう」

正子は飛んで行つて母の手から手紙を引張つた。

「まあまあお待ちなさいよ、母さんだつて讀んでもいいだらうぢやありませんか」

母親は年をとるに從つて段々おどけて來る——然し流石に若い時からの苦勞の跡の見える相好を崩して、綱引のやうに手紙の引合ひをして笑つた。貧困を出來るだけ笑つて通して來た母の此頃の笑ひは心からの笑ひだつた。彼女の最近は確に幸福であつた。

「いやいや私が讀んであげるから、母さん、何處まで讀んだの、此處まで?ぢや此處まで私の讀む間待つて、頂戴、ね」

正子は子供のやうにはしやいで手紙を母の手から奪ひあげた。

暢は丁寧に腰を屈めた。

「その後如何ですか。谷君ももう學校はお休みなのぢやありませんか」

「ええ、もう間もなく歸つて來るだらうと思ひます」

正子は少し堅くなつて俯いたまゝさう云つた。何だかぶつきら棒な調子だと自分で感じながらそれ以上云へなかつた。

「さうですか……」

暢は春頃から見るとひどく痩せた顏を暫く考へさせてから言葉をついだ。

「あの、御存じでせうけれど僕が歸つてゐましてね、彼に就いて一寸御願ひしたい事があるんですけれど、谷君が御歸りになつたら何卒遊びにゐらして下さるやうに仰言つて下さい」

「はあ、あの御歸りになつた事だけ兄からの手紙で存じて居りました」

「御挨拶にもあがらないで、困つた奴です。お母さんには、お體りは……」

「はあ、ありがたう御座居ます」

暢も元來言葉少な方ではないので會話は蹴もなく途切れて了つた。二人は自分勝手に云ふ事だけ……

新刊紹介

▲**神國日本**（小泉八雲著、戸川秋骨譯）小泉八雲の名は凡そ文學書を讀むものに知らぬものはない、彼れは英國人でありながら日本人より以上に日本を知つて居り研究してゐる、本書「神國日本」は一九〇四年ニューヨークとロンドンのマクミラン會社から出版されたものである著者が日本のことについて米國から講演の依頼を受けてゐてそれが果たされなかつた爲めに、その結果としてこの一書となつて現はれたのだといふ、そして著者はこの著書が早く手元に到着することを待ちわびながら間に合はず一九〇四年九月に死んだのである、內容に如何なるものがあるか、摘出すれば難解、新奇及び魅力、古代の祭祀、家庭の宗教、日本の家族、組合の祭祀、神道の發達、禮拜と淨めの式、死者の支配、佛教の渡來大乘佛教、社會組織、武權の勃興、忠義の宗教、ジエジユイト教徒の禍、封建の完成、神道の復活、遺風、近代の抑壓、回想等である（定價一圓八十錢、發行所東京市麴町區一番町五第一書房）

▲**人間論**（土田杏村著）人間はつれに人間自身の生活、即ち人生を考へないではゐられない人間の考へる問題の中にその人生と關係のない問題が存在するであらうか、人間とは何であるか、人間の生活とは何であるか人間の住んでゐるこの世界、この社會の本性は何であるか、人間はその世界や社會の中で何故に行動しなければならないか、またいかなる行動をするか眞に人間的であるか、さうした根本的な人間問題を中心にして我々の考へる如何なる問題も人間的でないものはあるまい、本當において著者はマルキシズムの中核的な思想、存在的哲學、人間學的哲學、知識社會學的思潮などご著者自身の考察の資料によつて說いてゐる（定價一圓、發行所

▲**リツトン報告書全文解剖**（神田正雄著）國際的の問題は次から次へと隨分多い、然し東洋人にとつては日支紛爭する、解決の問題が何よりも重大に感ずる、昨秋九月十八日柳條溝に響いた爆音は張一家軍閥の弔鐘に和したものであり、世界の人が等しく期待したリツトン報告なるものは日支紛爭解決の平和の女神であつた筈である、然るに一度發表されるやその波紋は日支兩國は勿論世界の隅々まで大渦を捲き起した、海外社長たる著者はあくまで東洋人の立場特に日本人の見地から報告書全文に亘り各章ごとに解剖批判を加へたるものが本書である（定價八十錢發行所東京市淀橋區下落合三丁目一三六七海外社）

第十二回 滿日特選碁戰

先相先先番 三段 渡邊英夫氏
四段 長谷川章氏

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

—【5】—

●八一トの八　○八二への七
●八三ヌの八　○八四ルの八
●八五ヌの九　○八六への八
●八七タの五　○八八ヨの四
●八九ルの九　○九〇レの五
●九一ワの六　○九二レの六
●九三トの六　○九四への六
●九五への三　○九六の十二
●九七リの七　○九八ワの十七
●九九トの九　○一〇〇への九

對局者の感想

白曰く　黑が八八から打つて來ないので八八と打つ氣になつたのですが（レの四）に下つて居る方が良かつたかも知れません、中央の石を引出すのでは譯が分らないので、すてる趣向に出たのですが、これで惡くないと思つて居りました

黑曰く　九三は今打つて置かぬと後には（への五）に引かれる恐れがある

けふの放送

大連 JQAK　十一月二十日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後〇時十分、ニュース
▲午後一時全滿日本人對時局大會（協和會館より）
一、講演軍部代表陸軍少將板垣征四郎
二、同滿鐵代表未定
三、同商工代表古澤丈作
▲午後三時三十分、ニュース
▲午後六時十分、ニュース（以下內地中繼六時三十分）
▲小唄（名古屋より）一、たつみやよいとこ二、一人寢の（唄小唄錦など、三味線同錦京、同同錦蝶）三、筆の傘（唄同錦など、三味線同錦龍、替手同錦京）四、主と二人で（唄同錦など、三味線同錦龍、同同錦蝶）五、よひのなぞ、吉田草紙庵作曲（唄同錦花、三味線同錦龍）六、無理な首尾して（唄同錦花、三味線同錦蝶）七、めみゐりめしは（唄同錦花、三味線同錦蝶、替手同錦龍）
▲漫劇（六時五十分大阪より）「呑氣な兵隊さん」今村重三郎、有馬豐三郎
▲掛合義太夫（七時二十分大阪より）「碁盤太平記白石噺新吉原の段」宮城野（豐竹此助）しのぶ（同團司）新造宮里（竹本雛宮之）（同鶴蝶）やりておまさ（同住龍）惣六（同東廣）三味線（豐澤小住）
（以下大連放送局より八時三十一分）
▲落語「太田道灌」櫻川歡助
▲ニュース
▲氣象通報

わかもと

生物ヘーフェ療法の偉力

恐るべき慢性胃腸病の恢復

恐るべきは慢性胃腸カタルである。腸內に發する毒素は血液中に循環して全身を衰弱せしめ、精力を減退し、早老々衰を早め、貧血、神經衰弱、結核病、腦溢血等を誘發する――恐るべきは病魔の深淵、胃腸疾患である。

然るに、喜ぶべし、日進月歩の醫學は極めて容易に此難症を救治する方法を敎へた。――胃腸病專門の泰斗として著名なる巴里醫師會々長ルネ・グートマン博士は、レディース・ホーム・ジャーナル誌に次の如き發表をなした。

『余は腸疾患に惱む患者にヘーフェ菌劑を投與して驚異的な成果を得た。腸內發生物による中毒は、早老、疲勞、悒鬱の最大原因であるが、余は之等に對してヘーフェ菌劑の使用を推奬する。またヘーフェ菌劑は活性力を有する生物學製劑であつて、腸內の廢棄殘滓を透過緩和し、腸機能を賦活するにより、習慣性を與ふる在來の下劑に代へ理想的なる快便を得さしむる』

歐洲に於ける代表的醫學者、墺國維納のアルベルト・ヴエー・バウエル博士曰く『ヘーフエ菌劑は消化作用を促進し、腐敗醱酵を制し、胃腸の諸障害を防ぐ、その効果は組織全般に及び、殊に便祕を永久に癒すにはこれに優るものは無い、これはヘーフエが疲憊せる腸の內壁を強め、機能を振興させるからである』(イースト・テラピー處載)

フランクフルト大學顧問、カルル・フォン・ノールデン博士は、ヘーフエ菌劑を胃腸疾患に處方して驚異的成績を得たる旨を發表した。即ち(イースト・テラピー處載)『ヘーフエは消化器官細胞を賦活する强力なる作用を有し、消化液、胃液のみならず、膵液の分泌をも催進し、且つ强力なる腸管內防腐殺菌の効果を有す』と。

我が國に於て代表的と見做さるるヘーフエ菌劑たる東京帝國大學澤村名譽敎授發見の新藥『わかもと』が、醫科大學、大病院並に一般醫師の處方により、各種の治療に頑强に抵抗した痼疾の慢性胃腸カタル、胃酸過多症、減酸症、胃潰瘍、胃アトニー、胃下垂、胃擴張、常習便祕、慢性下痢、食慾不振の諸症を快癒せしめた實例の多きには胃腸病治療界の注目を惹きつゝある處である。

而して、それが單に胃腸病より發する場合のみならず、結核、熱性疾患、各種傳染病等、胃腸衰弱を伴へる諸症に用ひて、その衰弱を恢復し、全般的の治癒を促進せしむるの特徴は『わかもと』の如き、榮養、消化、殺菌、强壯の綜合的効果を營むに勝れたるヘーフエ菌劑にして初めて可能の効果であらねばならぬ。

結核患者の食慾不振と發熱に

結核患者の食慾不振と發熱は、結核菌の毒素と異常代謝生物の中毒並に刺戟現象に原因するものであることを熟知せる醫家が、結核患者に單なる食慾催進劑及び下熱劑のみを與へて足れりとせざるは理の當然である。――即ち、單なる食慾催進劑は一時食慾を恢復することありと雖も、結核性食慾不振の原因を治癒する作用には乏しく、又單なる下熱劑ではその藥の作用の續く限り體溫は止め度なく降り、その爲往々にして心臟衰弱や虛脫の危險を伴ふ。然るに『わかもと』は結核菌の被膜脂肪物質を溶解して病原作用を喪失せしめ、結核自體を治癒に導くを以て結核に原因する食慾不振、並に發熱は結果的に解消して食慾亢進し、平熱に復歸するに至る。然而、食慾の恢復と發熱の解消は結核を治癒轉歸に向はしめる二大要因として醫家の均しく重視する處である。

特に小兒消化不良に

乳小兒の消化不良は、主としてお乳の過飮、不良牛乳、不消化な食べ物による腸內の異常醱酵や中毒に原因するものであるが、また容易に腸內の有毒菌に侵されて、その症狀を惡化するもので、乳小兒全死亡率の過半數を占める怖ろしい病氣である。ヘーフエ菌劑『わかもと』はこの乳小兒を苦しめる消化不良に對し、最も安全で絕對に副作用を伴はざる理想的な治療劑として、醫家の賞用を博してゐる。『わかもと』を消化不良、下痢、血色惡しき者、發育不良の虛弱小兒等に投與する時は、下痢は良便に代り、血色を增し、衰弱は恢復して、體重增加し、發育の促進する例の夥しきは多くの醫家の經驗する所である。

澤村名譽敎授發見・專賣特許＝新藥

藥價低廉

粉末　三十日量 九八〇瓦　一圓六〇錢　用量一日三・〇瓦

東京市芝公園大門內際
發賣元　榮養と育兒の會
電話芝三三八・二二六五番
振替口座東京一七〇〇番

海外代理店　三井物產株式會社
支店・出張所所在地
奉天・長春・吉林・ハルビン・天津・北京・靑島・上海・漢口・廣東・香港・サイゴン・マニラ・シンガポール・カルカツタ・バタビヤ・スラバヤ・シドニー・メルボルン・孟買・倫敦・紐育・桑港・シヤトル

WAKAMOTO
わかもと
KYOTO-IKUJINO-KAI
SHIBA PARK, TOKYO.

國難日本刀 (159)

高桑義生 作
京極佳夕 畫

風雲けはし(六)

淡路守は、その言葉に、眼をみはつた。

「貴國の婦人は、わたしたちを極端にきらつてゐる。わたしはよく承知して居ります。小松さんもさうです。しかし、あなたの權力が……かの女をわたしに與へる、間違ひはないと、わたしは信じてゐたのです。けれども、もう信じることは出來ません。すべてを、信じることが出來ないのです。先日かの女は承諾したといふ事であつたが、それも嘘だつたのです。わたしをだます僞りの手段です。かの女はわたしに手も與へなかつた……みんなぐるになつて、わたしを騙した、あなたも御存じかも知れない……とわたしは思ふ」

「いや、左樣な事は……」

「まあ、お待ちなさい。わたしのいふ事を、お聞きなさい。それに違ひない。わたしが愚だつたのです、わたしは欺かれたのです」

「いや……」

「それで、わたしが歸つて來ると、かの女はゐない。わたしは信じません。あなた方がかの女を隱した——といはれても……」

「いや、斷じて左樣な事はない」と淡路守は顏をあかくして、力んだ。

「みんなたくんだ事、最初からの計略だといはれても……」

「邪推ぢや。小松の事は、眞實ぢや。櫻井はそのために殺害された……」

「どうかわかりませんね」

ホールがさう信じるのも、理由のない事ではない。戀するもの、戀慕さは、昧のごとく愛する小松ではあるが、かの女の心をよく知つてゐる。たゞ權力が、事情が、結局無理往生に、かれの手にわたる——さう信じた。だから、ホールが歸つて、この上、否も應もない。結極の——最後のどたん場になつて、小松の紛失、ゐない者はどうしようもないといふ。それはみんなで書いた狂言だ。たくんだ芝居だ——と考へた。かれは意地にも、如何な事にも、小松がじぶんの手に戻らぬうちは、銃器彈藥の賣渡しを承諾しない、牢乎たる決心、ても動かなかつた。

首を振つた。否だ。否だ。

「拙者は何としたらよいのぢや、拙者のめんぼく、拙者の責任……」

淡路守は嘆息した。この一外人の力、一個の商人ながら、がんとしておのれの主張をまげない、その強い意志と態度に、あぐねはてた。驚嘆した。おなじわが國の町人は、かれの權力の前に、一も二もなく恐れ入つてしまふのだ。手段も何もいらない。すべては權柄づくで解決してしまふのだ。百年千年の階級的差別が役人の前にはいゝとしてその頤使にあまんじたゐた日本の商人、その習慣から、今、一外人との交渉にかくまで心血をしぼらうとは、難避しようとは、夢にも思ひがけなかつた。威嚇も壓迫も利かないのである。無力だ。

「なさけない、殘念だ!」

心の底からさう叫ぶ。

それに、淡路守はホールから莫大の賄賂を受けてゐた。かやうな難關に乘りかけようと誰が考へようぞ。今は、その金をたゝき返しても——だが、それでおのれの面目が、責任が果されるのではなかつた。幕府は銃器彈藥を必要としてゐる。

日に日に動く風雲、内外の事端——來るべき爭亂にそなへるところは、要するものは、新鋭の銃器である、彈藥である。

「腹切りものだ」と彼は思ふ。

たゞ一人の女、小松を、九天九地をたづねても求めなければならぬ。

外に、わびしい雨聲が聞えた。

本社特選 新棋戰(其九)

角落先 七段△宮松關三郎
三段▲橋爪敏太郎

【圖は三九玉迄の局面】

△宮松氏持駒飛銀桂歩五ツ

▲	△
四八と	同 飛
同成銀	同 玉
二八飛	三八歩
一八飛成	二五桂
一四龍	一二歩
同 香	四一飛
二四歩	

累計百三十手

【土居八段講評】 橋爪君は一四龍と引く必要はない、穩かに一二歩打、四一飛打なら三一香打にて差支ない、本譜の如くしては敵に一二歩を打たるゝ憂へあつて危い。續いて二四歩突きは無理、矢張り三一香と打つて防ぎ二四歩は後の含みに殘して置く處である。

【荻原六段解説】 橋爪氏の四八と、は初め六七歩と打つて同飛も止むを得ないのである、然して二八飛と打つて一八香を取つて自玉を守つたのはこの場合至當である、宮松氏の二五桂は自玉が相當廣くなつたので持飛の力を活用する意味で二五桂と打つたのである、橋爪氏の一四龍は敵の一三銀打を制ぐ意味であるが此處は一二歩を受けて防戰すれば未だ有望の形勢である。宮松氏の一二歩は輕手で橋爪氏の同香も止むを得ないのである。同龍、又は同玉では一三歩を打たれて惡いのである。橋爪氏の二四歩は敵の一一銀打の詰を避けたのであるが三一香と打つ方が順である。

中央映畫館=一周年記念興行

中央映畫館では十九日から開館一周年記念特別興行として松竹下加茂第三回オールトーキー大塚稔監督柳さく子、飯塚敏子主演「ゆふなぎ草紙」及び松竹蒲田作品五所平之助監督林長二郎川崎弘子主演「不如歸」を上映する

檢番美妓の「オンパレード」

果然前人氣を煽る 大檢秋の踊出演者

本社懸賞募集當選歌コロムビアレコード吹込みの「大連シヤンソン」及び「大連行進曲」の振付發表を兼ねた大檢秋の踊りは既報の如く來る廿二、三日兩夜六時から大連劇場にて大檢女紅場並に本社主催にて開催するが、大檢新進花形總出演の濫習會として果然人氣を集中し物凄い前人氣を煽つてゐる、興味の中心であるプログラムは既報の如く長唄素囃子、長唄舞踊、常磐津舞踊、清元舞踊、新舞踊、童謠舞踊、小唄舞踊劇及び華やかな舞臺を飾るレヴユウ二景の新進花形藝妓の熱演が期待され出演者は左の如く決定した(寫眞は大連行進曲のコスチユームをつけた宇女、さてまり)

一、長唄素囃子「操三番叟」▲唄小ゑん、小〇、小六、廣子▲三味線すま子、ぜん、喜作、一菊▲鳴物太鼓百々一、大鼓百々子小鼓歌作、高丸、〇、茶目丸

二、清元舞踊「花籠」▲立方高千代、くに子、小文、八重子▲唄蔦葉、松右衛門、蔦奴▲三味線喜久勇、一菊、蔦子

三、小唄舞踊「風も吹きよで」宇女、百々若、百々丸、美智子

四、新舞踊「花まつり」吉田席花子、北村席高子、八千久席幸子、秋山常子、田中正子、井藤雪子

五、常磐津舞踊「後の月酒宴島臺」▲立方佳代子(角兵衛)音丸(鳥追)▲唄一喜代、梅幸、關彌▲三味線富貴子、英太郎、信千代

六、新舞踊「柳の雨」てまり、百々子

七、童謠舞踊「證城寺の狸囃子」北村席高子、八千久席幸子、吉田席花子、井藤雪子、秋山常子

八、常磐津舞踊「新曲玉川」▲立方茶目丸(殿)六〇(仕丁)、〇(仕丁)八千代(女)三つ豆(女)▲唄歌榮、糸勇、花奴、廣子▲三味線ぜん、すま子、美彌、小桃▲鳴物太鼓百々一、大鼓宇女千代、小鼓小春、松右衛門、高丸

九、小唄舞踊劇「貧大次第で笑つて泣いて」吉田席花子、北村席高子

一〇、新レビユウ「大連行進曲」美智子、てまり、宇女、百々若、タンゴ、宇女千代

一一、新舞踊「大連シヤンソン」▲立方美智子、宇女子、百々春、てまり、歌作、宇女千代、百々丸、宇女春、百々若、タンゴ、百々子、宇女、宇女太郎、百々丸、たから

噂話

日活館蓋明けの初日夜間興行は果然好調で階上階下とも札止めの盛況▲館員一同はバレてから喫茶室に集つてスルメと冷酒で祝盃をあげて大いに前途を祝福▲けふからは中央映畫館が開館一周年記念興行でこれまたロングヒットを狙つてゐる▲昨日歸連した南信次氏は頼りにプレイガイドの背島一郎氏と折衝してゐる模樣▲帝國館の支配人には解説者の櫻井湍君起用に内定したらしいと放送されてゐる▲映畫通信の傳へるところによると惑星立花良介氏が奉山沿線に大農場を經營すると▲福森勾當森川とし子さんが今回市内薩摩町七(大連醫院前和風會隣り)に轉居した

日曜ふろく
まんが

童話　滿洲國の爲に

中溝新一

高粱がまだ刈取られる少し前のことでした。鋸の齒のやうに並んでゐる千山の麓の上石橋子といふ部落に近いところに、ポカンと三軒の百姓家がありました。百姓家といつても赤土色の壁で圍まれた飛行機から見たら土だかお家だか判らないやうな汚いちいさなものでした。

この汚いお家の前の水溜りには鵞鳥やら家鴨やらがなんのくつたくもなく、餌をあさつてをりますが、この一軒から五つばかりの男の子がよちよち出て來ました。見ると、お顔も手も垢で黑光り、殊にお鼻のあたまときたら、まるでお隣の豚のやうです。

「パオテイエン」

突然お家の中でお母さんらしいのがかう聲をかけながら出て來ました。パオテイエンといふのがこの坊やのお名前。

パオ坊には十七になる兄さんがあります。どうしたことか百姓家に生れながら働くことが大嫌ひで一時は奉天へ飛び出して毛皮屋で働いたこともあつたが、いくら働いても大したお金にもならず、働くのもつらいので、二三枚毛皮でも盜んで逃げてやらうと、すきをねらつてゐると、ある日おもてに喇叭を吹いて通る者がある。何氣なく見ると「招兵」と書いた旗を持つた男でした。國難近し、健康の若者はよろしく兵隊になるやう通る人々にすゝめて居ます。

良な人民をいぢめてばかりゐる兵隊なんか誰がなるものか、それよりうんと遊ぶに限る、身體が壯健だから自分もねらはれるんだ——と妙な理屈をつけていつかこの店を逃げ出してしまひました。それから惡い遊びばかりしてゐる中に阿片をのむことを覺へて、すつかりからだをこはしてしまひました血色のよい丸々太つてゐた男も、青ぺうたんのやうに痩細つて、目ばかりふくろのやうに光らせて、野良犬のやうになつて、もう此頃では自分の家に死んだやうに寝たきりです。

ある夜、馬賊の一隊がこの平和な百姓家を襲つてたつた一人の働き手のお父さんを連れて行つてしまひました。

それから幾月か經ちました。

それは恰度暖かい春風が吹くやうになると、常日頃から望んでゐた惡い人達は亡ぼされて、滿洲國が輝かしく生れました。

兄さんはいつまでも病人で居ることがはづかしくなりました。どうかして自分もほかの若い人達のやうに、兵隊になつてほんとうに自分達の國をこしらへる爲めに、また附近を荒し廻る馬賊や匪賊を征伐して、一時も早く立派なお國にしなければならない——と考へると居ても立つても居られなくなりました。

ふらふらしながらオンドルの上に立上つて自分の腕を撫でました。

しかしいくら氣があせつてもこんな痩せツぽちではなんにもなりません。

「しまつた」

といまさら、自分の不健康をくやしがりましたが、どうすることも出來ず、涙がぼろぼろ頰に傳はりました。

そこへ東の方の部落の王老人が現はれました。

「どうした、大の男が泣いてさ」

と親切にきいてくれるので、

「どうか、私を兵隊にして下さい そして惡い馬賊や匪賊をやつつけたいんだが、王さんどうか頼みます」

と一生懸命に申しました。

「お前みたいな病人はどうにもならないが、お國のために働くのなら、今からでも遲くない、養生して立派な身體になりなさい」

とこんな言葉でくどくど兄にさとしてゐると、遙かに物すごい蹄の音、

「やツまた馬賊」

とドキンと胸をおどらせながら家の前に出てみると、勇ましいラツパの音が近づく——白楊林の側から勇ましい日本の兵隊が、日章旗を先登に進んで來ます。

家の中からパオ坊も飛び出しました。手製の滿洲國旗を持つて——。先登の兵隊さんは馬から下りてパオ坊の頭を撫でました。

兄さんは傍へ近づくことも出來ず、痩腕を撫でながら、いつまでも涙ぐんで兵隊さんの一隊を見送りました。

Kiyoshi

こどもの考へもの　第廿一回

幾册あるか　かぞへてください

こゝにご本が立てゝありますが幾册ありますか、よく數へて來る十一月二十七日までに大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄係」あてにハガキでお知らせください、當つた方にはいつもの樣にご褒美を差しあげます

第十九回の答　支那料理屋

皆さんはほんとうに考へることがお上手です、第十九回の考へものは支那料理屋でした、相變らず當つた方が多いので籤を引いて左の二十名にご褒美をあげることにしました、大連市內の方は當籤通知のハガキとご褒美を本社で引かへてください、沿線の方へは直接賞品をお送りします

×　×

なほご褒美の中の森永のミルクキヤラメルやチヨコレートの空箱は是非お菓子屋さんの店頭にある支那事變の「慰問兵士をいただけませう」とかいた箱に投げ入れてください

當籤者

▲大連白石八重子▲同柿久重利▲同堀内利子▲同戸澤敦子▲同東野憲一▲同森田公章▲同堀內公子▲同中村博行▲同宮田實▲同岡行造▲同松本俊男▲同小山內慶子▲安東山本小夜子▲鐵嶺堀江智惠子▲撫順近藤富子▲奉天高野光子▲奉天荒木ミヨコ▲遼陽小笹良三▲旅順後藤照夫▲同神崎弘

不思議なタマゴ　カラのうへに懷中時計の型

イギリスのパートン・マルバスといふところで最近一羽のめんどりが世にも不思議な卵を生みましたその卵のからの上には懷中時計がハッキリとあらはれてゐるのですつまりローマ數字も分や秒の目盛もうきぼりになつてハッキリと現はれてをり、ことに十二時をしめす數字はとてもハッキリとしてゐました、そうして今では大變な噂でそのめんどりは大變高い値段で買手がたくさん出てゐるさうです一體どうしてこんな卵が生れたのでせうか、きつと懷中時計をまるのみしたからだらう……と英國人はお話してゐるさうです

十六年間も眠らなかつた人　ハンガリーの老中尉

ハンガリーのブタペストにカーネリウス・スゼケリー中尉といふ人がゐました、この人は一九一六年にオーストリヤ軍に加はつて歐洲大戰に出征し聯合軍と戰つたのですが、その時頭を負傷してからどうしても眠ることが出來なくなりました、この人は最近四十三歳で死にましたが、丁度十六年間一度も眠らずに生きて來たのです、夜になつて他の人が眠つても自分一人は眠ることが出來ず、一晩中安樂椅子に腰をおろして本を讀んでゐました、だからこの人は十六年間ベットを持たなかつたさうです歐洲全土の有名なお醫者さまにみていたゞいたのですが、どのお醫者さまも眠れるやうにすることが出來ませんでした、今年の夏とうとう死にましたが、これでやつと目をつぶることが出來たのだとブタペストの人々は大變噂をしてゐるさうです

これはたいへん感心なひと　十年以上も貧しい軍人の家や戰死者の家に見舞金

今度の滿洲事變にはいろ／＼の忠君愛國美談がたくさん生れましたそれは兵隊さんのりつぱなお手柄ばかりでなく、日本人だけしか持つてゐない美しい行ひがたくさん一しよに世間に知れました、この中に十年以上も貧しい軍人のお家や戰死した人のお家にお金をおくつてゐた人があります

內地の有名な軍港のある佐世保に住んでゐる江口藏造といふ今年五十二になる人は日露戰爭後から毎年戰死した兵隊さんのお家へ、お見舞金だといつて名前をかくしてたくさんのお金を送つてゐたのですが、これが今度の滿洲事變の戰死者のお家にも送られて來たので佐世保の憲兵隊が送り主をさがしたずね、やつと江口さんを見つけ出し、そのうへ十年以上のながい間の立派な行ひがみんなわかり附近の人々から江口さんは神樣のやうに尊敬されてゐます

コドモマンガ　ボクシングとチョン助　はら・やすたか

シヤボンとネズミ　佐方幸

ケフノヅグワ

火事だ！火事だッ 命がけの消防隊 勇ましいその活躍

さあ火事だ！まつ黑い煙が天をついて魔物のやうな赤い焔の舌がお家も會社も銀行も、町ぢうを舐めつくさうとしてゐます、赤ちやんを抱へたお母さんは大きな聲で助けをもとめてゐる、お父さんは燃えてゆくわが家をぼんやりとたゞ眺めてゐるより仕方がない――若も皆さんがこんな恐ろしい目にあつたとしたらどんなに恐ろしいことでせう

昨年中、大連の火事はおよそ二百回もあつて五十八萬圓からのお寶をむざむざと燒いてしまひました、奉天、長春、ハルビンその他滿洲全體をあはせたら毎年幾百萬圓の損害にもなるでせうそれだけではありません、幾十人の人々が焔の中に包まれて苦しみもがきながら貴い生命を失つてゐるのです

油斷は大敵 注意を怠るな

こんなに恐ろしい火事ももとはといへばほんの僅かな不注意からです「油斷大敵」といふ諺があるでせう、今からもう二十幾年も昔、大阪市の殆ど半分を燒きつくした大火事の火元はたつた一本の煙草の不始末からでした、毎晩毎晩記者はお母さんと一しよに淀川堤にのぼつてまつ赤な空を恐ろしくながめたことを未だに忘れることが出來ません、ついこの間大連浪速町の火事も矢張り煙草の火から出ました、子供の火なぶりからもよく火事を起こします、昨年は四回も子供のいたづらから大變なことになつてしまひました、皆さんは決して火遊びをしたり一人で火扱ひしてはなりません、滿洲はストーヴやペーチカを焚くので冬になるとめつきりと火事が多くなります

火事は初めの五分間

さあ火事だ！ウウーウウー！サイレンが恐ろしく唸りながらポンプ自動車が地響きをたてゝ全速力で驅つけました、ナポレオンは「戰爭は最後の五分間にあり」といひましたが火事はその反對に「最初の五分間」いや初めの一分、一秒が大切です、消防隊のをぢさんは風の日も雪の夜もいつも高い望樓(火の見臺)から火の手のあがるのをみつけるが早いか三十秒たゝないうちにすつかり消防の用意をとゝのへて勇ましくポンプ自動車が飛びだします、ウウーウウーといふサイレンは「さあ火事にゆくのですから道をあけて下さい」といふ知らせの合圖です、人も、自動車も、電車もこの唸り聲をきいたら急いで道をあけてやらなければなりません、火事場についたら大急ぎでホースを取つて水を出すまで三分間、火の手をみつけてから放水までわづかに八分以内のすばしこさです、まるで戰爭以上のあわたゞしさです、一方逃げおくれて火の中にゐる者があれば防熱服や防煙マスクをつけた救護班が猛火の中に飛び込んで救ひ出します、昨年八月大連の火藥庫が燃え出したとき今にも爆發しさうになつた火藥に近づいて危ふいところを消しとめました、爆彈三勇士に劣らぬ勇ましい消防三勇士ではありませんか、ほんとうに消防隊のをぢさんは命がけで働いてゐます

× ×

滿洲で一番大きい火事は昭和三年大連浪速町の「きよもと」といふ飮食店から火が出て勸商場など四十二戸を燒いてしまひました、目拔の場所柄だけに七十五萬圓の損害でした、最近では昨年四月小崗子貨物驛の二十四萬圓、今年は浪速町の火事があります、燃えだした火の勢ひは想像も及ばないほど恐ろしいものです、記録によりますと一分間に本造家屋十六戸も燒けてゆきます、前にお話した大阪市大火事は廣い何十間もの道路をまたゝく間にわたつたり、大きな淀川を越えて對岸の町にまでどんどん飛び火してゆきました

火事にあつたら氣を落ちつけよ おうちで相談して「家庭消防隊」を作れ

それなら、もしも火事に出あつたらどうすればよろしいか？まづ氣を落つけることです、あまりびつくりして鼎や枕をたゞ一つ抱へうろうろしてゐる人をよく見うけます、慌てるのは平常心がけが出來てゐないからで氣の毒でもあるが醜いことです、もしも表から燒けたらこうして逃げる、裏から火がきたらあそこから外に出やう位のことは心のうちで考へておかなければなりません、學校やお役所にゆくと「非常持出」と朱で書いた箱があるでせう、これはもし火事にあつたとき先づ第一に持出す用意がしてあるのです、近頃は大きなビルデングやアパートが多くなつてきました、二階や三階の高い所にゐる人は必ず下の方に避難しなければなりません、大きな建築には大抵普通階段と非常階段が別々のところについてゐますが、若し兩方とも通れなくなつてもあはてて飛び降りると大怪我をします、氣を落ちつけて一番上に逃れてゐると消防隊のをぢさんが自動車梯子をするすると伸ばして助けに來てくれます、すべて平常の心がけが第一です、皆さんは早速お父さんやお母さんと相談して「家庭消防隊」をおつくりなさい

一、お父さん――バケツで水をかける
二、お母さん――消防隊へ電話をかける
三、兄さん――大切な「非常持出」を外に持出す
四、姉さん――近所の家を起して火事を知らせる
五、弟と妹――赤ん坊や小さい子供をつれて知りあひのをぢさんのところへ逃げる

家族の多い少いでもつと都合のよいように役割をきめておきます、こうすればいざとなつても決してうろたへることはありません

寫眞の說明

(1) 高い望樓から双眼鏡で町中をにらんでゐます
(2) 煙の中に飛込む防煙マスク、中央のマスクには話が出來るやうになつてゐます
(3) 救助袋で三階からスルスルと辷り降りるところ
(4) サイレンが唸りをたて、勇ましい自動車ポンプの出動
(5) 見るみるうちに伸びてゆく自動梯に乘つて水をかけてゐます――この梯は七十尺ものびます
(6) 救助幕の上に飛降りました
(7) 火の中に這入つても熱くないお化けのやうな防熱服――石綿で出來てゐます
(8) 高い梯の上で逆立ち――
(9) 燒け落ちる屋根にのぼつて水をかける

手工 小旗が飛び出す 面白い紙鐵砲

けふは皆さんの好きな紙鐵砲をこしらへませう、先づボール紙を二十センチ四角に切ります、ボール紙はそのまゝでもよければ又皆さんの好きな色紙か模様紙を貼つてもよいでせう、それから日滿國旗でも、萬國旗でも皆さんの好きな旗を巾二センチ半、縱二センチの大きさに作り、三十センチ位の長さの糸に糊で好きなだけ張ります 別に丈夫な半紙か色紙二十センチ角のものを三角に二つに切ります そして前の四角なボール紙に前の旗と一緒に貼りつけます、これで袋のやうなものができます、乾きましたらボール紙を丁寧に二つに折り曲げます、これで鐵砲ができました、袋の中に旗を入れ三角の端をもつと強く振りますと大きな音を立て、旗が出ます

カメラから覗いた健康の道しるべ

こどもは裸に

小さい子は一日一二度は必ず裸にしてやりませう皮膚が丈夫になります、餘り寒い居間で風邪をひかぬやう注意が肝要です、下着は清潔なものを忘れないで取替へてやりませう

子供の偏食 家内總がゝりで直せ

食物の好き嫌ひには一家總がかりでなほしませう、脂肪分やお野菜類を攝らない子が非常に多いやうですが、これらのうちには結核豫防や體質向上になくてはならないビタミンが澤山含まれてゐます、子供の偏食禁止にはお父さんもお母さんもみんなで同じものを食べて誘導すれば案外容易になほります

煖房の焚きすぎ禁物

ストーヴやペーチカを焚き過ぎないやう室内の温度は六〇―六五度、就寝中は五十度位が一番適當です、暖か過ぎる室内から薄着一枚で北極のやうな炊事場やお便所に行つたり、一足とびに嚴寒の戸外に出るのは調節機能の虐使です

外出から歸つたら 手を洗ひ、口を嗽げ

外出から歸つたら含嗽と手を洗ふことを忘れぬやう、滿洲は空氣が乾燥してゐて悪い病原菌が塵と一しよに浮游してゐます、含嗽は食鹽水か又は二パーセントの硼酸水がよろしい、手洗には清水でも結構ですが一パーセントのリゾール水がよろしい

窓を開けて換氣しませう

大切な空氣のお掃除をするため一日三回以上五分間づゝ居間の窓を開けませう、この時の注意は一方のみでなくなるべく向ひ合せの窓をあけるとよく換氣します、極寒いときは十分以上も開けて置くと室内の器物までも冷てしまつて却てよくありません

一日に一回は必らず外出

食物よりも大事な榮養をとるのだと心得て少くとも一日一回は必ず外出しませう、この時はなるべく煤煙の少い朝の十時すぎから正午前後がよろしい、風邪の氣味だつたり氣分の悪いときは勿論控へねばなりません

落語 茶釜（ちやがま）

柳亭燕橘

一席申し上げます。酒は百藥の長とか申しまして、結構なものには違ひございませんが、餘り飲み過ぎると、お身體の爲に宜しくございません「酒のみは奴豆腐に能く似たり、始め四角で末はグヅ／＼」能く往來へころがつて、犬と頬りに話をしてゐる人などがありますが、餘りみッともいゝものではありません。

熊「お早うございます」

○「お早う、誰だい――オヤ／＼熊さんぢやないか、サア此方へ上んなさい、お前何んだつてな、噂に聞くところ又此頃仕事を怠けちやつてゐるさうだが、怠けちやいけないよ。サテ此方へお出で」

熊「旦那一つ引取つてお貰ひ申したいんで」

○「何を引取るんだい。藪から棒で分らないが」

熊「何にも云はれえで默つてお御引取りなすつて、家風に合はれえもんですかられ」

○「家風に合はれえから引取つてくれといふと、内儀さんを引取つて呉れといふのかい」

熊「早く云へばそんなものだ」

○「運く云つたつて同じぢやアないか、又かい、お前といふ男はどうも呆れ返つた男だれ。夫婦喧嘩をしちやア、やゝもすると引取つてくれ引取つてくれと俺のところへ持ち込んで來る。宜いよ、引取つて上げるから、連れてお出で」

熊「ぢやア何んですかい、どうしてもお前さんは引取ると云ふんですかい」

○「だつてお前さんが引取つてくれといふんぢやないか」

熊「けれども、マア、何んですさう急に引取られえでも宜しうございます」

○「それぢやア、何しに來たんだか譯が分らないぢやアれえか。マア此方へ來なよ。能く物を考へて見なよ。お前は何だよ。昨夜飲み過ぎて――嘘が吐きれえ。隠したつて分るよ。お前の顔に出てゐる顔を撫でたつて消えやアしない。今朝起きたが宿醉で工合が悪いから、迎へ酒をしようと思つたが、前の晩の失策があるから、内儀さんが飲ませれえ。そこでお前さんが何か内儀さんのアラを探し出して、横面の一ツも殴つて、夫れから、夫婦喧嘩になつて、俺のところへ、やつて來たんだらう」

熊「アレッ！旦那見てましたれ」

○「見てゐやアしないが、チヤンと分る」

熊「どうも驚きましたれ、序に夫ぢやア運勢を見ておくんなせえ」

○「馬鹿にするな。併しどうだ、譯つたらう、ナニ、ソックリだ。宜くないよ。お前さんが悪い、自分の家で好きな物で飲んでゐるなアあ悪かアないが、お前さんは酒を飲むと、どうもだらしがなくなる表へ出て飲む、それは男は交際だから、決して飲んで悪いとは云はれえが、氣をしめて飲んだら宜いだらう餘り醉ばないやうに飲んでりやア雑刻もしれえ、さうすりやア、お前さんのお内儀さんは、夫な兎や角云ふやうな女ぢやアないんだ」

熊「ヘイ」

○「少しは化ろよ」

熊「エ、ツ！」

○「化けろつてんだ」

熊「何に化けるんで」

○「何に化けろつて、分られえ奴だな、斯うするんだ、外で一升飲まうと思つたら、五合にして置くんだ。又五合飲むところは三合、三合飲まうと思つたら、一層飲まないで歸るんだ、併少し位飲んだ時は、飲まないやうな顔をして家へ歸る、あゝいふ氣の付く女だから、ハ、ア飲んで來たなと思つたつて、お前さへ亂してゐなけりやア、お膳の上へ默つて居ても、お定まりの德利はのつけて來るだらう」

熊「成る程」

○「それたお前さんなア反對なんだ、つまりだらしがないんだ、酒を飲んでも確かりしてゐる、之れを化けると云ふんだ」

熊「アツ、成程、違えれえ。之れア巧いこた数はつちまつた。旦那が化けろ／＼といふから、私は面喰つちまつた、化けると云やア旦那、昔何んですつてれ、上州館林の茂林寺といふ寺で狸が文福茶釜に化けたつてえことを聞きましたが、あれや本當にあつたことなんですかれ」

○「そんな事は知らないよ」

熊「狐が化けるつてえが、本當に化けるんですかれ」

○「まア化けるかも知れないな、昔から種々な話も傳はつてゐるからな」

熊「矢張り藪の中か何かで化けるんですれ」

○「何處で化けるか、まだ狐の化ける處を見たことがないから、知らないな」

熊「狐について、何ですかい、化けたつて面白い話があるんでかい」

○「それは幾つもあるな、先づ大きなところでは金毛九尾白面の狐といふのがあるな、之は唐土の妲妃となつて殷の唐王を誑かし、天竺に渡つて華陽夫人となつて班足太子を誑かし、又我が國に渡つては玉藻前となつた。一天萬乘の矢君を誑かさんとしたが、安倍の晴明の爲に見現はされ、那須の原といふ處へ祢つて、石になつたといふ。之を殺生石と云つて、古蹟が今でもあるが、之はマア作り話だな」

熊「ヘエー、まだありますかい」

○「人皇九十六代後醍醐天皇が、お七才の時に、菰を御見物遊ばして在らせられると、一人の童子來つて、明日は雨が降ると申上げた、野干は雨を知ると云つて菰を持つてお打ちになると、之れが大きな野干になつた」

熊「ヘエー、誰か頭を火傷したんで」

○「誰も火傷なんぞしやしない」

熊「それでも藥罐になつたと云つたぢやアありませんか」

○「さうぢやアない、狐のことを野干といふのだ」

熊「ヘエー、狐が野干なんで、ぢヤア幾は幾許ですか」

○「馬鹿なことを云へ」

熊「どうも有難うございます、お蔭で物知りになりました、今迄藥罐と云ふなア、湯沸しと禿頭ばかりだと思つてたら、狐の事もヤカンと云ふんですかい」

○「マア、宜いや、之れから餘り夫婦喧嘩をするなよ」

熊「ヘエ、有難うございます。左様なら――どうも驚いたれ、彼奴は厭な奴だけれども、穏んなことを知つてゐやがる。扨て困つたな今直ぐ歸ろてえと、嬶め二つ打殴つて飛出して來たから、まだ怒つてやがるに違ひれえ、日の暮まで何處かで、つないでゐなけりやアならねえ――オヤ／＼何だ、誰か大きな聲で喚鳴つてやがるぜ、あゝ牛公の家だ。やア野郎喧嘩をしてやがる。巧え處へ出會したもんだな。牛公め野干の化けることを知られえんだ、一ッ野干を振り廻してやらうかな――オイ／＼何だなんだ、喧嘩なんぞをするない、外見れえぢやアれえか、汝能くれえぞ、内儀さんを殴るなんてえのはどうも宜しくれえ」

牛「オヤ、熊ちやアれえかお前に夫婦喧嘩の仲裁をされやうとは思はなかつた。だが殴りやしれえ」

熊「殴られえ、夫りやアいけれえ一ッ位殴りれえ」

牛「何を云つてやがるんだ、けしかけてやがる」

熊「何しろそれア宜しくないな。お前は何んだらう、昨夜、飲み過ぎて、今朝宿醉をしてゐるんだらう」

牛「俺は酒は大嫌えだよ」

熊「默つてろ。俺が話をしてやるから、汝、今朝迎ひ酒をしやうと思つて、向ふを見ると魚屋に鮪の中あぶがある」

牛「お前の云ふ事は皆な違つてゐるよ。俺ン所の向ふは魚屋ぢやアれえ、八百屋だ」

熊「少しまづかつたな、だがマア宜い、魚屋にして置け、刺身を一人前取つて、一杯飲まうと思つたが、嬶がどうしても承知をしれえ癪に障つてゐるし、何かアラを探し出して、一杯飲まうと思つて、四方を見廻すと、お神酒德利が片ッポだれえや」

牛「お神酒德利はちやんと揃つてゐるよ」

熊「仕方がれえな。宜いから化けろ」

牛「ナニ」

熊「何でも宜いから化けろよ、五合飲まうと思つたところを、一升飲みやア醉つぱらつちまア、三合にして置きやア、醉はれえや」

牛「當然だ」

熊「當然だけれどもよ、狐の化けるのを知つてるか」

牛「知られえな」

熊「知らなけりやア教へてやる、昔けれども之ア少し難しいんだ、隱居が驚いて打倒れたんだ、夫から狐がもろこしの團子を喰つて、天竺德兵衛が半鐘を叩いたんだ、だから我が朝にて玉轉がしが流行る。それからまだあるんだぞ、人形が九十六錢で、お團子天皇樣が七ッ列んで、煙草を召上つてゐたんだ、それから柄杓を取り上げるとやかんが飛んで終つた」

牛「間抜けなことをしちまつたな、湯が入つてたのか」

熊「分られえ男だ、野干といふのは、湯沸しのことぢやアれえ。狐のことを野干といふんだ」

牛「何だか知られえが、俺ン所の喧嘩は、お神酒德利や、藥罐ぢやアれえ。俺ン處の嬶は平常無精で仕方がれえ、だが、今月産月なんだ、それを俺が無理に働けといふ譯ぢやアれえのに、ドタバタしやアがるから、産が重くなるつて叱言を云つたんだ」

熊「ア、左樣か――さう云や茶釜が眞赤に錆てる。扨ては茶釜から起つた喧嘩だらう、茶釜から見ると、あゝ狸が化けたんだ」

細長い鼻

佐方幸

「ハイ旦那樣お火を？」

「馬鹿！あわてるナ、それは煙草ぢやあない、わしの鼻ぢやあないかッ！」

嘘の様な話は大き過ぎる

大汽船を載せて急行列車が馳る

大西洋―地中海の航路短縮

佛國技師の大計畫

○…**皆**さん、お話が餘り大きすぎるからつて嘘だと思はないで下さい、考へれば確に嘘のやうな大きなお話ですがこれから世界一の大きな汽船をそのまゝ陸の上を運んで行く、一大急行列車のお話をしやうといふのです、と申したゞけでは本當とは思へますまいが、この急行列車を作る技師の名前もその汽車が走るところもハッキリわかつてゐるんです、その上もうどん／＼計畫が進められてゐるのです。

○…**こ**の嘘のやうな大計畫を考へた人はフランスのマールといふ技師で大西洋から地中海に入るにはどうしてもポルトガルとスペインの海岸をまはらればなりませんがこんな遠まはりをしないで大西洋からすぐ汽船を大きな汽車にスッポリと乗せフランスを横切つてドン／＼走り地中海へ汽船を運んだなら時間も短くなるし、距離も縮まるし、どんなに便利だらうといふのがこの計畫のそもそもの始まりなのです

○…**も**つとも大西洋と地中海とをどうにかしてつゞけたいといふ考へは古くからフランスにはありましたがこれは主に運河の計畫でした、しかしフランスのマルセーユのある地中海とボルドーのある大西洋とを大きな汽船が通れるやうな運河を造るには大變な費用と大變な年月をかけねばなりません、そのためいつも實行することが出來なかつたのです、ところが今回マールが發表した計畫では全く運河は不必要なものになつてしまひました、そのうへ費用も運河を造る半分ですむし陸上に鐵道をしいて行くだけですから月日も非常に短くてすむといふのです

『車輪のうへの運河の閘門』

コンクリート造りで長さ六百五十呎の大タンク

◇…**さ**て、それではこの嘘のやうな驚くべき大急行列車の説明をいたしませう、この汽車は汽車といふよりも鐵道線路の上に乗つかつた大きな貯水タンクといつた方がいゝのです、このタンクの中に汽船をフウワリと浮べて線路を走るのです、それで考案者マールはこのタンク汽車のことを「車輪上の運河の閘門」といふ名で説明してゐる位です

◇…**こ**のタンク列車は、今フランスで一番大きいといはれてゐるイール、ド、フランスといふ汽船を二倍にした位の大きな船でも樂に浮べるほどの水を貯めてゐます、そうしてこのタンク列車は十個の車輌があつて、その一つ／＼に十二の車がつくやうに考察されてゐます、タンクはコンクリート造りで、長さが實に六百五十呎と計算されてゐます、この鐵道の設計地點は地中海岸はグラウドヴアンドル、大西洋岸はヴエルダン岬です、この間の距離は全長三百哩であります、さうしてこの兩終點には陸と海の連絡にインクラインが水の中までのびてゐます

船、陸に上がる仕掛

◆…**今**ここに大西洋から地中海に向つて運びたい船があるとしますそうしますとタンク列車の一つはインクラインを下つて車が海の中にかくれるまで進んで行きます、そして車の前の戸を開けますと海の水がドン／＼タンクの中に入つて一ぱいになります、そうしてまつてゐた船は靜かにタンクの中に入りますとすぐタンクの戸はピッタリと閉つてしまひます、これで船は汽車につみ上げられたことになるのです、次にこの變てこな列車は船と水とをつんだまゝグン／＼インクラインをのぼつて行きます、一度地上に出るとこの車は電氣モーターで走り出すのです、船を積んだこの列車が走る速さは運河を船が進む速さよりはるかに速いのです

◆…**さ**うして列車が目的地たとへば地中海岸に到着すると又インクラインを用ひて反對の方法で海へと下されてタンクの戸が開くと船はもう地中海にポッカリと浮び上つてゐる……といふわけなのです

幸

今週の歴史

十一月二十日……夕張炭坑爆發死者十名（昭和五年）

同二十一日……將門下總に叛く（天慶二年）一休禪師遷化（文明十三年）富士紡爭議解決煙突の超人降る（昭和五年）

同二十二日……畿内東海大地震（元祿十六年）歐洲に大暴風、風速七十八哩と稱さる（昭和五年）

同二十三日……諸外國公使參內して東幸を賀す（明治元年）女流作家樋口一葉歿す、享年二十五才（明治二十九年）

同二十四日……源實朝宋人に大船を建造せしむ（建保四年）征空一萬七千キロ女流鳥人ブルース夫人立川着（昭和五年）

同二十五日……今上天皇攝政に就かせらる（大正十年）陸軍木炭自動車運行の試驗を行ふ（昭和五年）

同二十六日……國學者上田秋成歿す（文化七年）伊豆地方に大地震、死者二百五十九名を出す（昭和五年）

一年前

十一月二十日　大凌河方面より双陽甸、石山站、羊圏子方面まで嚴重な塹壕を築造してゐた錦州東北軍は早朝より遼河方面に積極的行動に出でその主力は溝帮子に進撃す▲鈴木美通少將引率の主力部隊は二十日午前六時二十分奉天に到着す

同廿一日　本日の國際聯盟公開理事會は日支事變に關し調査委員を現地に派遣を決定し、ブリアン氏の手で調査委員任命の手續きをなした▲蔣介石は張學良に對し、速かに滿洲に出動し日本軍に占領された領土を回復すべく軍事行動を開始せよとの密電を發す

同廿二日　午前十一時二十分吉敦線蛟河驛附近駐屯の吉林官兵五十名が突如兵變を起し、停車場を襲撃し、折柄來合せた列車の乘客その他現場の百四十八名より金品を強奪して逃走した▲上海における各大學生をもつて組織されてゐる救國學生會は代表を南京に送り、速かに武器を支給せよ、然らば北上して先づ學良を討ち、餘勢を以て東北に進撃し、失はれたる土地を奪回すべしといふ決議文を蔣介石に手交した

同廿三日　昂々溪附近の戰鬪において壯烈なる戰死を遂げた歩兵第二十九聯隊の將士の葬儀が午後三時よりチチハル領事館裏山本人墓地に於て行はれた、多門第二師團長以下の將星參列したが、一望千里の北滿曠原にのぼる香煙に參列者一同涙をのんだ▲國際聯盟秘密理事會はドラモンド氏起草の支部に對する混合調査委員會派遣の決議案に異議なく、零時十分閉會した

同廿四日　遂次東方に移りつゝあつた錦州方面の支那軍は、正規兵に公安隊服を着せて今朝來滿鐵沿線附近に現れ、殊に別動隊數千名は溝帮子西方に陣取つて沿線襲撃の氣勢を示す、ために我が守備隊は高瑣山に司令部を置いてこれに對抗す▲午後十時十分一千名の匪賊は突如敦化を襲ひ掠奪暴殺をほしいまゝにし、縣城を占領せんとす、我が在留邦人は全く死地に陷り、救援を待つとの急電頻りに長春に入る

同廿五日　敦化の急報に接した吉林長官熙洽氏は直に三百名の救援隊を送り、午前零時より匪賊と大激戰を交へ、數時間の後これを擊退す▲錦州方面の形勢極度に險惡化し、住民は續々天津方面に引揚げを開始したので、英國天津駐屯軍は唐山地方へ出動の準備を開始す

同廿六日　香椎天津軍司令官は支那側の陳謝を認容し、租界の自由交通を許し兵力を撤退したるところ、支側軍大部隊は午後八時半突如先づ我が軍の左翼に對し、次いで全正面に對し砲兵機關銃を以て猛射を開始す、我が軍はこれに應射せずその不法を責め、射擊中止を警告せるに拘らず、依然支那軍は砲擊を續く、我が軍は今や忍ぶ能はず租界居留民保護のため自衞權を行使應戰を開始し、ここに第二回天津事變突發す

朝晝晩

大連技藝女學校專攻科　清瀧昌子

	朝	晝	晩
日	味噌汁（豆腐）納豆、オロシ大根	マント、炒肉カナガシラ煮附	天婦羅（鮪、人參、薩摩芋）味噌汁（鮪大根、カナガシラ）
月	味噌汁（天婦羅）福神漬	昆布甘煮、天婦羅カナガシラ煮附	鯖ソフライ酢の物（鮪人參大根）
火	味噌汁（豆腐）小鳥賊櫻漬	小鯛甘露煮メンタイ	鮪照燒、大根オロシ吸物（小鯛、白菜）
水	味噌汁（白菜油揚）ヒジキ甘煮	鮪煮附、馬鈴薯人參、昆布甘煮	味噌汁（鮪、白菜）菠薐草胡麻和、炒肉
木	味噌汁（豆腐）燒海苔	トースパン（ジャム）小鯛甘露煮、野菜ソーテー	すき燒牛肉、玉葱、葱、燒豆腐、支那ソーメン
金	味噌汁（大根）納豆、オロシ大根	カレヒ鹽燒小鯛甘露煮	味噌汁（鰆）甘藷胡麻和、鯖フライ、馬鈴薯附合
土	味噌汁（ワカメ）小鯛甘露煮	鯖煮附馬鈴薯、人參附合	吸物（カナガシラ三ツ葉）炒肉

★坊ヤノカンガヘ★